

ハ推定額デアリマスルガ、是ハモウ此ノ通りデアリマス、遞信省カラ出シテ居リマスル豫算ハ實際支拂ヲ要スル金額デアリマス、サウ致シマスト斯ウ云フ問題ガアルノデス、例ヘバ恩給ノ主ナル問題ハ遺族扶助料ノ問題デアリマスガ、扶助料ノ裁定ガ遲レマス爲ニ、例ヘバ昭和十四年ニ死亡シタモノヲ今假ニ裁定致シマスト、郵便局ト致シマシテハ、昭和十四、十五、十六年分、斯ウ云フヤウナノヲ今年一緒ニ支拂ハナクテハナラヌ、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、隨ヒマシテ其ノ反対ニ事變當初ニ於キマシテハ私ノ方デ裁定致シマス金額ハ多クアリマスケレドモ、豫算ノ方ハ却テ少イ、ソコニ食違ヒガ起ルノデアリマス、詰リ何年分力固マツテ豫算ニ現在丁度現ハレテ居ル、是ガマア一番大キナ數字ノ違フ原因ダラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○宇賀委員 能ク分リマシタ、併シ大體恩給方年々増加シテ行ク、且又是ハ十四年、十五年、十六年ト云フ風ニ戰爭ガ進ンデ來ルニ從ツテ恩給額ガ増加シテ來ルコトハ、是ハ當然ノコトデアリマス、今後ノ増加趨勢ヲ考ヘテ見ルト、ヤハリ少クモ一箇年六千万圓位ノ増ノ趨勢ヲ續ケテ行クノデハナイカト私共ハ思ツテ居リマスガ、恩給局ノ方デハドノ位ナ數字デ行クト思ヒマスカ、茲ニ二分七毛ト云フヤウナ數字ガ出テ居リマスガ、是ハ將來下ンナ數字ニ變ツテ行クグラウト云フ御見込デアリマセウカ

○平木政府委員 其ノ問題ハ實ハ非常ニ推定ノ困難ナ問題デアリマシテ、先づ第一ニ問題ハ、一體斯ウ云フ事變ガドレダケ續クカ、是ガ先づ第一分リマセヌ、第二ニ問題ハ、遺族扶助料デ、詰リ戰死者ガ今

後ドレダケ出ルカ、此ノ推定ガ付カヌト其ノ數字ハ出テ參リマセヌ、其ノ次ニハ増加恩給、其ノ他支給サレル所謂傷病者ノ數、是ガドノ位出ルカ、斯ウ云フ數字ニ加ヘマシテモツト大キナ問題ハ、軍人デ恩給ニナルモノ、是ガ一體ドノ位出ルカ、是等ノ數字ヲ綜合シテ見マセヌト、ドノ位植エルト云フコトハ分ラヌ問題デアリマス、ソレデ大體ドノ位ト言ハレマシテモ、今ノヤウナモノガドノ位ニナルカト云フ見當ハ付キニクイモノデアリマスカラ、何トモ申上ゲラレナイノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

ドモ、何カ其ノ邊ノコトニ付テ、恩給局ノ當事者ト致シマシテノ御考ヘヲ伺ヒタイト思フノデアリマスガ、恩給亡國ト云フヤウナコトヲ一面ニ於テ其ノ當時言ハレテ居ツタコトヲ記憶シテ居リマスガ、私ハ決シテサウ云フ觀念ハ持ツテ居リマセヌ、國家ノ爲ニ自分ノ大事ナ精力ヲ盡シテ、サウシテ比較的安イ俸給ニ甘ンジテ、自分ノ財產モ作ラズニ精神ヲ傾倒シタ者ニ對シテ恩給ヲ下サル、私ハ又今度ノ戰爭ノヤウナ場合ニ於テ身命ヲ抛ツテ國家ノ爲ニ盡シタノデ恩給ヲ下サル、或ハ戰死者ニ於キマシテハ遺族扶助料ヲ下サルト云フヤウナコトデアリマスカラ、寧ロ私共ハサウ云フ點カラ考ヘテ、恩給亡國ト云フヤウナ言葉ヨリモ、寧ロ恩給興國ト云フ言葉ヲ御用ヒニナツタ方ガ結構デハナイカ、斯ウ私共ハ思ツテ居ルノデアリマスガ、併シナガラ國費ト云フモノハ中々臨時費デ唯一時出セバ宜イト云フモノヂヤナクシテ、ソレガ長年ノ間續イテ行ク支出ニナリマシテ、其ノ増加ノ趨勢ハ、今御話ヲ承リマシタ通りニ、ドウ云フ風ニナルカ分ラスト云フヤウナコトニナリマスト、私共一寸推算致シマシテモ、先ヅ年ニ六千万圓位ヅ増加シテ行クヤウニ思ハルノデアリマスガ、是ハエライ間違ヒラシテハ罷リナラスト思ツテ私御尋ねシタノデアリマスガ、是ハ難カシクテ到底幾ラト云フヤウナコトハ仰シャエルコトガ出來スト云フコトデアル、ソレモ御尤モダト思ヒマスケレドモ、先ヅ今ヨリ少クナクナルト云フヤウナコトハ到底考ヘラネイ、年々ノ増加率ト云フモノハ現在ヨリ必ズ多クナツテ行クコトガ豫定サレルノデアリマス、サウ致シマスト、國家ガ當然

出サナケレバナラヌ費用ト致シマシテ、國債ノ利息ヲ拂ヒマスルトカ、或ル一定ノ約束ヲシテヤツタ法律ニ決マツテ居る支出デ、政府モ増減スルコトノ出來ナイ費用ト云フヤウナモノガ段々ト多クナツテ來ル、勿論恩給モ其ノ一ツダト思ヒマスケレドモ、斯ウ云フ場合ニ於テハ、ヤハリ何ト力恩給局ノ當事者ニ於キマシテモ、何處カ減スペキ餘地ガオアリニナルナラバ、サウ云フ方面ヲモウ少シ御考ヘニナルコトガ當然デヤナイカト思フ、勿論今日茲ニ要求ニナツテ居ル恩給ノ増加ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、私共當然ナコト致シマシテ、洵ニ結構ナ案ダト思ヒマス、此ノ中ニアル數字ハ此ノ通り承認シテ結構ダト思ヒマス、私共ハ中々能ク苦心ヲシテ御作リニナツテ居ルコトハ認メルノデアリマス、其ノ結果トシテ、割増ヲスル爲ニ無理ヲ生ジマスルカラ、所々ニ寧ロ餘リ上リ過ギテ權衡ガ取レナクテハ困ルカラ、引下ダナケレバナラヌト云フヤウナ規定ヲ御作リニナリマシタ程、下級者ノ方ニ重ク意ヲ用ヒタコトハ、私ハ是ハ時宜ヲ得タル點ト思ヒマス、併シナガラ是程御考ヘニナツテ、一年ニ少クモ恩給法改正ノ結果二千五百万圓モ増加シテ行ク、將來ノ増加ノ趨勢ニ於テハ計算ガ一寸出來ナイト云フヤウナ場合ニ於テハ、私ハ第五十八條ノ第四項ノ規定ニ付テ何カ當事者トシテ御考ヘアツテ然ルベキモノト思ヒマスガ、其ノ邊ノ御研究ヲナスツタ結果ガオアリナラバ承リタイ

シテ、此ノ頃ノ恩給増加ハ、國家興隆ノ一
徴候ダト考ヘテ居リマス、併シナガラ恩給
ノ増加致シマスニ付キマシテハ、其ノ根本
ニ於テハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、
唯漫然ト此ノ増加ヲ見送ツテ居ルベキデナ
イト云フコトハ當然デアリマス、併シ是ハ
總理大臣ガ本會議デ申述ベラレマシタ通り
ニ、此ノ對策ニ付キマシテハ、先般調査會
デ配付ニナリマシタ恩給法改正立案要綱ニ
モ政府ニ於テモ此ノ對策ヲ考究申デアルト
云フヤウニ書イテアリマシテ、其ノ通リノ
御答辯ガ總理大臣ヨリアツタ譯デアリマス
ガ、是ハ總理大臣カラ申シマシタヤウニ、
決シテ恩給全廢トカ云フ問題デハ勿論ナイ
ガ、部分的ニ其ノ時代々々ノ情勢ニ應ジテ
必要ナル改正ヘ致サナケレバナラヌ、斯ウ云
フ風ナ趣旨ヲ總理大臣ガ申述ベラレタノデ
ゴザイマス、隨ヒマシテ今申述ベラレマシ
タ所ノ高額所得ノ問題モ、勿論其ノ中ノ一
ツノ問題トシテ政府ニ於キマシテ考究サレ
テ居ルモノト考ヘテ居リマス、其ノ下調べ
ト申シマスカ、サウ云フ意味ニ於キマシテ
私共ノ所ニ於キマシテモ色々々問題ヲ色々
ニ角度カラ色々研究シテ居ル譯デアリマス
○宇賀委員 研究中ダト云フコトナラバ是
ハ致シ方アリマセスカラ、大臣オイデノ時
法ト云フノガアリマシテ、是ハ第五條ニ政
府ハ一億圓ヲ出資スルト云フヤウナコトヲ
一所ノ政府ノ法案中、十六ニ南方開發金庫
監事、理事ト云フモノガ出來テ居ル、又帝
國礦業開發株式會社ノ改正法案が出て居ル
是モヤハリ政府ガ出資シテ居ル、又帝國燃料
公司ノ政府ノ法案中、十六ニ南方開發金庫
監事、理事ト云フモノガ出來テ居ル、又帝
國石油株式會社ト云フモノガ出來テ居ル、
皆政府任命ノ當事者ヲ任命スル、其ノ他務
一人、副總裁一人、理事三人以上、監事二
人以上、一部ハ政府任命、アトノ者ハ主務
大臣之ヲ命ズルト云フヤウナ規定ガアル、

又日本銀行法案ガ出マシテ、ヤハリ之ヲ見
マシテモ、第五條ニ五千五百万圓ヲ政府ガ
出資スルト云フコトガ書イテアリ、第十六
條ニ總裁、副總裁、理事、監事云々ト云フ
ヤウナコトガ書イテアル、ソレカラ戰時金
融金庫法ト云フモノガ今度出來ルコトニナ
リマシテ、之ノ第五條ニ、二億圓ヲ政府ガ
出資スル、サウシテ第十三條ニハ、總裁、
副總裁、理事、監事幾人、政府任命、主務
大臣任命ト云フコトニナツテ居リ、重要物
資管理營團ト云フ、一つノ會社デモナケレ
バ法人デモナイ、合ノ子ミタヤウナモノガ
アリマスルガ、是モヤハリサウ云ツタヤウ
ナコトニナリマスルシ、ソレカラ又國民醫療
法ノ中ニ日本醫療團ト云フモノガ出來マシ
テ、之ニ政府ガヤハリ一億圓出資スル、總
裁、副總裁、理事、監事、主務大臣任命ト
云フヤウナコトニナツテ居ル、食糧管理法
ガ出來マシテ、サウシテ是モヤハリ十六條
ニ相當ノ理事長トカ副理事長トカ云フヤウ
ナ方ガ任命サレルコトニナツテ居ル、是等
ハ新シク今度出來ルノデアリマスガ、其ノ
外茲ニ出テ居リマスルモノノ中デ、國民更生
金庫ト云フモノガアリマシテ、茲ニ理事長、
社デアルカラ、是ハ少クトモ五萬圓位ノ收
入ハオアリニナルダラウト思フ、其ノ他マ
ダ澤山アリマス、何トヤラ營團、何トヤ
ラ株式會社、何々金庫上云フヤウナ、舉
レバ數限リモナイ、之ヲ將來ニ今ノ國家
ノヤリ方ヲ通ジテ行キマスルト、官有民
營ト言ヒマスルカ、官有官營ハヤラナイ、サ
ウ云フヤウナ趨勢ヲ以テ行キマスルト、將
來スウ云フ營團トカ、金庫トカ、或ハ何ト
ヤラ會社ト云フヤウナモノデ、政府ガ出資

出資ヲナサラウト云フコトニナツテ居ル、
又中支那振興株式會社ト云フモノが出來テ
居ル、其ノ他勸業銀行トカ、北海道拓殖銀
行トカ、或ハ政府ガ出資ハシナクテモ、政
府ノ任免權ノアル所ノ理事者ト云フ者ガ、
先ツ私共ガ眺メタ所デハ、役人ヲ辭メタ人
ト云フヨリモ、罷メセサセソコヘ祭リ込マ
セルト云フヤウナ人が大分多く居ル、是ハ
私ハ惡イコトデハナイト思ヒマス、官廳デ
用ガナクナツタカラ民間ヘ所謂廢馬ヲ拂下
スルト云フコトハ、是ハ洵ニ惡イコトデア
ルケレドモ、マダ働キ盛リノパキ／＼シタ
潑刺タル意氣ノアル人間ヲ斯ウ云フ所ヘ送
リマシテ、サウシテ仕事ト云フモノハ官吏
獨善デヤルベキモノデヤナイ、一億一心ニ
ナツテヤルベキモノダト云フコトヲ御示シ
ニナルコトハ洵ニ結構ダト思ヒマスガ、斯
ウ云フ所ヘ行ツタ人ノ狀態ヲ見マシテ、私
ハ是ハ月給幾ラ御貰ヒニナルカソソンナコト
ハ知リマセスケレドモ、日本銀行總裁ナド
ト云フモノハ、私共ノ知ル所ニ於テハ、今
度ハ違フダラウト思ヒマスガ、今マデニ於
キマシテハ何十万圓ト云フ收入ヲ一箇年戴
イテ居ルヤウナ者モアル、少クトモ北支開
發會社ナント云フモノハ三億五千万圓ノ會
社デアルカラ、是ハ少クトモ五萬圓位ノ收
入ハオアリニナルダラウト思フ、其ノ他マ
ダ澤山アリマス、何トヤラ營團、何トヤ
ラ株式會社、何々金庫上云フヤウナ、舉
レバ數限リモナイ、之ヲ將來ニ今ノ國家
ノヤリ方ヲ通ジテ行キマスルト、官有民
營ト言ヒマスルカ、官有官營ハヤラナイ、サ
ウ云フヤウナ趨勢ヲ以テ行キマスルト、將
來スウ云フ營團トカ、金庫トカ、或ハ何ト
ヤラ會社ト云フヤウナモノデ、政府ガ出資

スルト云フモノハ非常ニ多クナルダラウト
思ヒマスガ、斯ウ云フ所ニオイデニナル方
ハ、是ハ少クトモ一万圓位ノ收入ハ大抵ノ
御方ハアルラシク思ハレル、中ニハ今言フ
通り數十万圓ノ收入ノアル者モアル、之ヲ
リマシテ、之ノ第五條ニ、二億圓ヲ政府ガ
出資スル、サウシテ第十三條ニハ、總裁、
副總裁、理事、監事幾人、政府任命、主務
大臣任命ト云フコトニナツテ居リ、重要物
資管理營團ト云フ、一つノ會社デモナケレ
バ法人デモナイ、合ノ子ミタヤウナモノガ
アリマスルガ、是モヤハリサウ云ツタヤウ
ナコトニナリマスルシ、ソレカラ又國民醫療
法ノ中ニ日本醫療團ト云フモノガ出來マシ
テ、之ニ政府ガヤハリ一億圓出資スル、總
裁、副總裁、理事、監事、主務大臣任命ト
云フヤウナコトニナツテ居ル、食糧管理法
ガ出來マシテ、サウシテ是モヤハリ十六條
ニ相當ノ理事長トカ副理事長トカ云フヤウ
ナ方ガ任命サレルコトニナツテ居ル、是等
ハ新シク今度出來ルノデアリマスガ、其ノ
外茲ニ出テ居リマスルモノノ中デ、國民更生
金庫ト云フモノガアリマシテ、茲ニ理事長、
社デアルカラ、是ハ少クトモ五萬圓位ノ收
入ハオアリニナルダラウト思フ、其ノ他マ
ダ澤山アリマス、何トヤラ營團、何トヤ
ラ株式會社、何々金庫上云フヤウナ、舉
レバ數限リモナイ、之ヲ將來ニ今ノ國家
ノヤリ方ヲ通ジテ行キマスルト、官有民
營ト言ヒマスルカ、官有官營ハヤラナイ、サ
ウ云フヤウナ趨勢ヲ以テ行キマスルト、將
來スウ云フ營團トカ、金庫トカ、或ハ何ト
ヤラ會社ト云フヤウナモノデ、政府ガ出資

長ノ御話ニモアリ、又宇賀君ノ意見ニモ恩給與國ト云フヤウナ話ガアリマシテ、私ハドウモ恩給與國ト云フコトヲ其ノ儘信ズルト云フ譯ニモ行キマセヌガ、兎ニ角サウ云フ人ニ相當上ゲテ、其ノ人等ノ今マデノ功勞ニ報イル、或ハ老後ヲ安定セシメルト云フ、コトモ結構デアルガ、併シ今申ス通りノ性質カラ考ヘテ、而モ今後益恩給ハ増加ノ傾向ニアル、勿論總理大臣ノ御話ニモアツタ通り、部分々々或ハ、其ノ場合其ノ場合デソレハ考ヘモアリマセウガ、現在ノ受恩給者ノ中ニハ少シ減ラサナケレバナラヌモノモアルト思フ、是ハ實際ニ應ジテ調節シテ、實際ニ即シタヤウニヤラナケレバナラヌ點ガ細カイ點ニハアルト思ヒマスガ、リ今ノヤウナ豫算ノ組ミ方ダケデ行クノ併シ殖エテ來ル、サウ云フ場合ノ恩給ヲ支給スル財源ト云フモノニ付テ、今後モヤハテ特殊ノ考案ヲスル必要ガアルノデヤナカラウカト思フノデスガ、之ニ付テハ御考ヘガカ、或ハ茲ニ何等カ恩給ト云フモノニ對シカ、或ハ茲ニ何等カ恩給ト云フモノニ對シカ、基金トデモ申シマスカ、サウ云フ〇平木政府委員 只今ノ御質問ハ恩給ノ財源トシテ何ト言ヒマスカ、特別會計ト申シモノヲ作ツタラドウデアラウト云フ風ナ御意見グト承リマシタガ、恩給基金ヲ作ル場合ニ、假ニ一般會計ノ金ヲ以テ基金ヲ作りマスルナラバ、國トシテハ實ハ同ジニナル譯デス、ソレデ此ノ問題ニ付テハ前カラ私ノ所ニ色々ナ問題ヲ方々カラ言ツテ來ラレル方ガアルノデアリマスガ、例ヘバ事變其ノ他デ向フノ方ノ資源カ何カ

今後色々々研究シテ見タイト思ツテ居リマス、先刻モ一寸申述ベマシタガ、恩給法改正ノ閣議決定ノ要綱ニアリマス、今度恩給法改正法律案ノ要綱ヲ閣議デ決定ニナリマシ、此ノ要綱ハ皆サンノ御手許ニ御配リシテアルト思フノデスガ、其ノ備考ニ「恩給豫算額ノ累増ニ關スル對策ニ付テハ戰爭進捗ノ段階ヲ考慮シ追テ考究スルコト」ト書イテアリマス、累増對策ト云フコトニ付テハ、私共ハ寧ロ減ラストカ何トカト云フコトバカリデナシニ、何カサウ云フ方面デ或ル案ガアレバ、サウ云フ方面モ對策ノ一ツトシテ考ヘタラドウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

戰爭ナドノ恩給ガ付イテ、恩給ヲ三重ニ取
ツテ居ル人ガアル、勿論其ノ人達ハ、取ツ
テ居ルト云フト語弊ガアリマスガ、ソレダ
ケノ功勞ハアルノデスケレドモ、其ノ日常ノ
行動ナドヲ見ルト、色々ナ節ニ於テ、世間
ニ居ルト云フヤウナコトモアル、
カラ人ニ爪彈キサレルヤウナコトモアル、
世間ハ能ク知ツテ居ル、彼處ノ家ハ結構ヤ
ツテ居ル、彼處ノ人ハ此ノ恩給ト此ノ恩給
ト此ノ恩給ヲ取ツテ居ルト云フヤウナコト
ガ話ニ出ル譯デス、サウシマスト、折角此
ノ有難ク戴クモノヲ中心トシテ、其處ニ何
等カ國民オ互ヒノ間ニ妙ナ厭ナ氣分が出來
ル、之ニ付テハ一方、一般世間ノ人間モ、
ソレハ認識ヲ改メナケレバナラヌ、ドウ云
フコトデアルカト云フト、詰リ一方吾々ハ
營々トシテ勤イテ居ルノニ、アノ人ハ恩給
ヲ澤山貰ツテ樂ニヤツテ居ルト云フ義ミノ
氣持ハイケナイト云フ點モアルノデス、サ
ウ云フ風ナ實情ガヨクアチコチニアルノデ
ス、アルモノデスカラ、私ノ言ヒマシタノ
ハ、恩給ヲ戴ク人ニモ、其ノ恩給ノ、戴ク
金ノ出ル所ニ斯ウ云フ特殊ノ何カガ出來テ、
一般會計カラデナクシテ、私ハ今自分ニハ
考ヘハナイノデスガ、ソレカラ戴クオ金ハ
如何ニモ御聖恩ニ依ツテ戴クト云フコトヲ
始終忘レナイヤウナ仕組ニナルヤウナ所カ
ラ、恩給ノ金ガ出テ來ルト云フヤウニスル、
ソレハ國家ノ財政カラ出ルノモ何處ラ出ル
ノモ一緒ダ、海カラ出ルノモ山カラ出ルノ
モ一緒ダト仰シヤルノデスガ、ソレハサウ
デス、ケレドモ物質其ノモノニ依ラズ、同
ジ懷口カラ出テモ、受ケル人ノ感ジガ違フ
ト云フ所デス、サウ云フ點ニ付テ私ハ何ト
カ一ツ御考ヘ願ヒタイ、今仰シヤツタヤウ
ニ、閣議ノ方デサウ云フ風ナ今後ノ増加ノ

○森田委員長　淺井君
○淺井委員　第三十二條ノ改正ノ點ニ付テ
御伺ヒシタイト思ヒマス、此ノ改正ニ依リ
マシテ戰地ト戰地外トノ區別ガ撤廢サレタ
ノデアリマス、其ノ理由ニ付キマシテハ御
説明ヲ承リマシテ其ノ内容ガ能ク判明シテ
マス、次ハ江藤君デアリマスガ如何デスカ
テハ是ダケ御伺ヒシテ置キマス
○森田委員長　ソレデハ今陸軍ノ方ノ政府
委員ノ方へ來テ居ナイノデスカラ後ニ願ヒ
マス、次ハ江藤君デアリマスガ如何デスカ
テハ是ダケ御見エニナリマシテカ
テ……

ト云フ解釋が出來ルカモ分リマセヌガ、或ハ官廳ニ勤メヲ致シマシテ、戰爭ノ仕事ヲ實ハ毎日行ツテ居ルノデアルト云フヤウナ、斯ウ云フ方ノ公務員ノ扱ヒ方、是モヤハリ戰爭ニ從事シナイ公務員ト云フヤウナ御解釋ヲセラレルノデアルカ、或ハ是ハ特別ナ扱ヒニセラレルノデアリマセウカ、其ノ公務員ノ扱ヒ方ニ付テ御尋ネ致シマス

○平木政府委員 戰爭ニ從事スル公務員ト云フコトデアリマスルガ、是ハ言換ヘマスルト、戰爭ニ從事シテ居ル職務、詰リ戰務ノ範圍ト云フコトニナルノデアリマス、戰務ノ範圍ト云フコトニナリマスルト、之ヲ概念的ニ申シマシタナラバ、戰鬪力ヲ構成シテ居ルモノ——戰鬪力構成ニ參與シテ居ルモノ、斯ウ云フ風ニ私共普通概念シタ譯デアリマス、戰鬪力構成ニ參與スルモノト云フノハドウ云フコトカト申シマスルト、只今御述べニナリマシタヤウナモノハ勿論入ルノデアリマス、所謂戰地ニ於キマシテ、今後戰地ト云フ觀念ハナクナルノデアリマスガ、ソレカラ是ハ今度ノ戰争ノ新シイ事態デアリマスルガ、例ヘバ内地ニ於キマシテノ防衛部隊——陸海軍ノ防衛部隊、皆サン御承知ノ通リニ、朝私共ガ寢テ居ル時カラ飛行機デス、隨ヒマシテは戰争ノ戰務加算ヲ付ケ

御述ベニナリマシタ大本營、陸海軍省等ニ勤務シテ居リマスル者デ、特ニ戰務ト關係深イモノデアリマス、是モ概念上カラ申シマスレバ、從來ノ取扱カラ致シマシテモ、戰鬪力構成ニ參與スルモノトシテ從來モ取扱ツテ居ルノデアリマス、例ヘバ大本營或ハ陸海軍省ノ極ク一部ノ人、斯ウ云フ人ニ對シテハ、從來ノ戰爭ニ於キマシテハ、戰鬪力ヲ構成スルモノトシテ、戰爭ガ始マリマシテ或ル期間戰務加算ヲ付ケテ居ツタノデアリマス、是ハ理論上ノ問題トシテハ問題ナカラウト思ヒマス、併シ今度ノ戰爭ニ於キマシテハ大本營、陸海軍省ニ勤務スル者デ、從來戰務ノ加算ヲ付ケテ居ツタヤウナ人デモ、今度ノ大東亞戰爭ニ於キマシテハ、今後特別ノ事情ガ起ラナイ限り、是等ノ者ニ對シテハ戰務加算ヲ付ケナイ、初メカラ付ケナイト云フコトニ陸海軍省カラノ申出ガアリマシタノデ、左様ニ措置スルコトニ現在運ンデ居リマス、隨ヒマシテ今度ハサウ云フ方面ハ付ケナイ、サウ致シマスト結局戰地ニ於キマシテ戰爭ヲヤツテ居ル者、或ハ内地其ノ他ニ於キマシテ防衛部隊ニ屬シテ居リマス者、俗ニ申シマスレバ第一線部隊ト内地部隊トハ一體不可分ノ關係デ、戰鬪力ヲ構成シテ居ル譯デアリマス、斯ウ云フ風ナ第一線部隊ダケニ戰爭ニ從事スルト云フモノハ、今回ノ戰爭デハ限ラレテ居ル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

ノデアリマスガ、此ノ戰地竝ニ戰地外ガ撤
廢サレマシテ、内地モ戰鬪シテ居リマスル
地域モ一様ニナツタノデアリマス、サウ
マツテ參リマシテ若シ内地ニ敵ノ飛行機ガ
襲來シタ、内地ノ方デ警戒ラシテ居リマス
ルケレドモ、不意ニ敵ノ飛行機ガ襲來致シ
マシテ、或ハ現在ノ衛戍地ト申シマスカ、
或ハ軍隊ノ方面ニ於キマシテ臨機ニ活動致
シマシテ、或ハ飛行機ヲ擊退シ、或ハ敵ノ潛
航艇ヲ擊退セセタト云フヤウナ、全ク戰爭
ヲ豫期セザル所ヘ不意ニ敵ガ襲來シタ場合
ニ、戰鬪行爲ラシタ、斯ウ云フヤウナモノ
ノ公務員ガアリト假定致シマシタ時ニハ、
サウ云フモノニハ加算フシナイノデアルカ、
或ハソレモ戰地竝ニ戰地外ガ撤廢サレタ以
上ハ付ケルノカ、戰鬪力ノ構成參與ト云フ
コトガ、ドウモハツキリシテ居リマセヌガ、
戰爭ラシテ居リマス者ハ勿論參加シテ居リ
マスルガ、内地ニ現在居リマスル軍隊、或
ハ其ノ他戰爭ニ間接ニ關係ヲ持ツテ居リマ
スルモノガ、不意ニ敵ノ飛行機、其ノ他ノ
モノノ襲撃ヲ受ケタ場合ニ、應戰的態度ヲ
執ツタ、即チ戰爭ヲヤツタ云フヤウナ場
合ニハ、ヤハリ戰務ニ從事シテ居ル、參加
シテ居ルト云フヤウニ御解釋ニナルノデア
リマスカ、戰地、戰地外ガ撤廢サレタトス
ルナラバ、軍人ナレバ殆ンド金部——内地
ニ居リマスル軍人モ常ニ戰争シナケレバナ
ラスト云フ義務ヲ持ツテ居リマスノデスガ、
是ハ加算ニナルヤウニナリマスカ、其ノ區
別ハドウナリマセウカ——

戰鬪ヲ内地デ行フト云フコトモ考ヘラレナ
イコトハナイノデアリマス、又サウ云フコ
トガ起リ得ル可能性ガアリマスガ爲ニ、今
度ノ改正ヲ致シマシタツノ理由デアリマ
ス、詰リ從來デアリマスナラバ戰地ニ於キ
マシテ、三箇月ノ加算ヲ付ケル、戰地外デ
アレバ、例ヘバ内地ナラバ一箇月ノ加算ヲ
付ケルト云フコトニナル、併シ只今御述べ
ニナリマシタヤウナ敵ノ飛行機ノ襲撃ガア
リマスヤウナ場合ヲ考ヘマスト、是ハ内地
方ハ一箇月デハ足リナイ、或ハ三箇月付
ケル必要ノ場合モナイトハ保證出來ナイ、
或ハ二箇月付ケル必要ノ場合モアリ得ルノ
デアリマス、サウ云フコトヲ豫想致シマシ
テ今度ノ改正ヲシタ譯デアリマス、隨テ今
御述べニナリマシタヤウナ事態ガ發生致シ
マスレバ、其ノ事態ノ状況ニ依リマシテ、
或ハ三箇月ヲ付ケル、或ハ二箇月付ケル、
或ハ一箇月付ケルト云フヤウニ、其ノ状況
ニ依リマシテ適當ニ三箇月以内ノ加算ヲス
ルト云フコトガ今度ノ規定デハ出來ルコト
ナリマシタノハ多分其ノ意味デハナイカト
思フノデアリマスガ、違ヒマシタラ又申上
ゲマス

○淺井委員 御答辯ノヤウナ趣旨デアリマ
ス、其ノ時ニ戰爭ガ起レバト云フノガ一寸
問題ニナリマス、敵ノ襲撃ヲ受ケタ場合ニ
ハ或ハ三箇月以内適當ノ方法ニ依ツテ加算
ヲ見ルト云フコトニナリマセウガ、若シ受
ケナカツタ場合ニハ戰爭ニ參加シテ居ナイ
ト解釈サレル譯デアリマセウガ、併シモウ
準備ヲ致シマシテ常ニ戰鬪行爲ノ出來ルヤ
モ、戰地、戰地外ノ區別ヲ撤廢サレタ以上、
ニナリマシタヤウナ敵ノ飛行機ノ襲撃ガア
リマスヤウナ場合ヲ考ヘマスト、是ハ内地
方ハ一箇月デハ足リナイ、或ハ三箇月付
ケル必要ノ場合モナイトハ保證出來ナイ、
或ハ二箇月付ケル必要ノ場合モアリ得ルノ
デアリマス、サウ云フコトヲ豫想致シマシ
テ今度ノ改正ヲシタ譯デアリマス、隨テ今
御述べニナリマシタヤウナ事態ガ發生致シ
マスレバ、其ノ事態ノ状況ニ依リマシテ、
或ハ三箇月ヲ付ケル、或ハ二箇月付ケル、
或ハ一箇月付ケルト云フヤウニ、其ノ状況
ニ依リマシテ適當ニ三箇月以内ノ加算ヲス
ルト云フコトガ今度ノ規定デハ出來ルコト
ナリマシタノハ多分其ノ意味デハナイカト
思フノデアリマスガ、違ヒマシタラ又申上
ゲマス

○淺井委員 御答辯ノヤウナ趣旨デアリマ
ス、其ノ時ニ戰爭ガ起レバト云フノガ一寸
問題ニナリマス、敵ノ襲撃ヲ受ケタ場合ニ
ハ或ハ三箇月以内適當ノ方法ニ依ツテ加算
ヲ見ルト云フコトニナリマセウガ、若シ受
ケナカツタ場合ニハ戰爭ニ參加シテ居ナイ
ト解釈サレル譯デアリマセウガ、併シモウ
準備ヲ致シマシテ常ニ戰鬪行爲ノ出來ルヤ
モ、戰地、戰地外ノ區別ヲ撤廢サレタ以上、
ニナリマシタヤウナ敵ノ飛行機ノ襲撃ガア
リマスヤウナ場合ヲ考ヘマスト、是ハ内地
方ハ一箇月デハ足リナイ、或ハ三箇月付
ケル必要ノ場合モナイトハ保證出來ナイ、
或ハ二箇月付ケル必要ノ場合モアリ得ルノ
デアリマス、サウ云フコトヲ豫想致シマシ
テ今度ノ改正ヲシタ譯デアリマス、隨テ今
御述べニナリマシタヤウナ事態ガ發生致シ
マスレバ、其ノ事態ノ状況ニ依リマシテ、
或ハ三箇月ヲ付ケル、或ハ二箇月付ケル、
或ハ一箇月付ケルト云フヤウニ、其ノ状況
ニ依リマシテ適當ニ三箇月以内ノ加算ヲス
ルト云フコトガ今度ノ規定デハ出來ルコト
ナリマシタノハ多分其ノ意味デハナイカト
思フノデアリマスガ、違ヒマシタラ又申上
ゲマス

○平木政府委員 御答辯ノヤウナ趣旨デアリマ
ス、其ノ時ニ戰爭ガ起レバト云フノガ一寸
問題ニナリマス、敵ノ襲撃ヲ受ケタ場合ニ
ハ或ハ三箇月以内適當ノ方法ニ依ツテ加算
ヲ見ルト云フコトニナリマセウガ、若シ受
ケナカツタ場合ニハ戰爭ニ參加シテ居ナイ
ト解釈サレル譯デアリマセウガ、併シモウ
準備ヲ致シマシテ常ニ戰鬪行爲ノ出來ルヤ
モ、戰地、戰地外ノ區別ヲ撤廢サレタ以上、
ニナリマシタヤウナ敵ノ飛行機ノ襲撃ガア
リマスヤウナ場合ヲ考ヘマスト、是ハ内地
方ハ一箇月デハ足リナイ、或ハ三箇月付
ケル必要ノ場合モナイトハ保證出來ナイ、
或ハ二箇月付ケル必要ノ場合モアリ得ルノ
デアリマス、サウ云フコトヲ豫想致シマシ
テ今度ノ改正ヲシタ譯デアリマス、隨テ今
御述べニナリマシタヤウナ事態ガ發生致シ
マスレバ、其ノ事態ノ状況ニ依リマシテ、
或ハ三箇月ヲ付ケル、或ハ二箇月付ケル、
或ハ一箇月付ケルト云フヤウニ、其ノ状況
ニ依リマシテ適當ニ三箇月以内ノ加算ヲス
ルト云フコトガ今度ノ規定デハ出來ルコト
ナリマシタノハ多分其ノ意味デハナイカト
思フノデアリマスガ、違ヒマシタラ又申上
ゲマス

○平木政府委員 只今御述べニナリマシタ
第一ノ點ハ、現在内地其ノ他所謂戰地外ニ勤
務シテ居リマスル陸軍ノ防衛部隊、又海軍
ノ防衛部隊、是等ノモノニ對シマシテハ或ル
程度ノ加算ヲ付ケルコトニ今準備ヲ進メテ
居リマス、御承知ノ通リ先刻申シマシタヤ
ウナ航空部隊デアリマストカ、或ハ地上部
隊トカ、海軍部隊トカ、斯ウ云フ防衛部隊
ニ對シテハ、或ル程度付ケルコトニ現在準
備ヲ進メテ居リマス

○平木政府委員 只今一寸私ノ答辯ガ不十
分デアリマシタカ誤解ガアツタヤウニズガ、
請リ參謀本部、大本營ニ居ル者ニ付ケル力付
ケナイカト云フ問題ハ、今法制局長官カラ
御答辯ガアリマシタヤウニ、勅裁ヲ經テ、例
へば現在改正前ノ法律デアリマシタナラバ、
支那ナラ支那ニ勤務シテ居ル、此ノ支那ト云
フ地域ヲ御勅裁ヲ願フ、サウ致シマスルト、
ソレカラ先ハモウ是ハ付ケナクチヤイカヌ
ノデアリマス、唯參謀本部ノ勤務ノ者、或
ハ大本營勤務ノ者ニ其ノ戰務加算ヲ付ケル
方ヲ勅裁ヲ仰グヤウニスルカドウカ下云フ

コトハ、是ハ内閣總理大臣ノ奏請ノ責任ノ問題デアリマス、ソレニ付ケナクチヤイカヌ、シタナラバ、ソレハ付ケナクチヤイカヌ、併シソレヲ致サナケレバ是ハ當然付ケナイ、ソレニ付ケルカ付ケナイカト云フノハ、總理大臣ノ輔弼ノ責任ノ問題デアリマス、其ノ二ツノ問題ニ分レテ居ルノデアリマス、ソレカラ是ハ一寸私先刻申上ゲマシタガ、別ノ問題デアリマスルガ、今度愈付ケルト云フコトガ決ツタト云フコトニナリマスレバ、本人カラ申請ガアレバ内閣恩給局長ハ是ハ付ケナクチヤイケマセス、併シ是日本人ノ方カラ辭退スルト云フ問題ハ勿論アリマスガ、其ノ問題ハ私先刻一寸申上げマシテ却テ混同シテ誤解ガアツタト思ヒマスガ、其ノ問題デナシニ勅裁ヲ奏請スル問題デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○淺井委員 能ク分リマシタカラ其ノ點ハ其ノ程度ニ致シマス、次ニ遺族ノ扶助料ノ問題デアリマシテ、寧ロ是ハ厚生省ノ關係カモ存ジマセスガ、若シ御分リニナルヤウデアリマシタナラバ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ遺族ノ扶助料ヲ支給致シテ居リマスル狀態ヲ見テミマスト、今回ノ大東亞戰爭ニ依リマシテ多クノ譽レノ家ガ出來タノデアリマス、其ノ遺家族ノ方々、或ハ應召サレテ、出征サレテ居リマスル家族ノ人々ノ所謂家族生活ニ對シマシテ、是ハ國ニ於キマシテモ或ハ國ノ指令ニ依ツテ各縣ハ拂ツテ居リマスルガ、私共其ノ内容ヲ見マス、現在恩賜財團ノ軍事援護會ト云フモ各縣ニ支部ガ作ラレマシテ相當ノ努力ハ拂ツテ居リマスルガ、私共其ノ内容ヲ見テミマスト、マダ遺憾ノ點ガ多々アルデハナカラウカド心配セザルヲ得ナイ點ガアリ

マス、デアリマスカラ、是等ノ人々ニ對シニ於テ色々ノ事業ヲ致シマシテ、遺家族ノ方、或ハ家族ノ方々ニ對シマスル仕事ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、所ガ御承知ノ通り色々ノ統制ガ布カレマシテ、資材ノ配給トカ、或ハ販賣ノ方法トカ、或ハ組合ニ加盟シナゲレバ一切ノ生産モ出来ナケレバ販賣モ出來ナインダト云フヤウナ、別ニ統制機關ノ出來マシタガ爲ニ是等折角軍事援護會支部ニ於テシテ居リマスル色々ノ事業ガ支障ヲ來シテ居ル事實ガアリマス、直接軍ノ方ノ色々ノ依頼ヲ受ケマシテ製作シテ居リマスルモノハ、販賣ノ點ダケハ結構デアリマスルガ、其ノ資材ガ手ニ入ラナイ、其ノ軍事援護會ノ支部ノ事業ガ或ル組合ヘ加盟シナケレバ一切ノ資材ノ配給ガ受ケラレナイト云フヤウナ事實ガ起ツテ參リマシテ、折角是等ノ人々ノ爲ニ援護會ノ事業トシテヤツテ居リマス事業ガ停頓シテ居ル事實ガアリマス、デアリマスルカラ此ノ出征軍人ノ家族、或ハ遺家族ニ對シマスル援護ノ方法ト致シマシテ、斯様ナ事業ヲシテ居リマスルモノニ對シテハ、私ハ特殊ノ扱ヒ、或ハ資材ノ配給ハ優先的ニ之ヲスルトカ、或ハ販賣ノ方法ニ付キマシテハ組合ニ加盟ヲシテ貢ハナイト、商業組合、工業組合等ヲ脱シテ、特殊ノ機構ガ出來タ時ニ、ソレニハヤツテ居リマスガ、是等モ特別ノ扱ヒヲシテ貢ハナイト、商業組合、工業組合等ヲスルモノニ付テ、協議致シマシテ、授產場等モ何カ特別ノ取扱ヲ受ケルト云フヤウナ入リ得ナイト云フ結果ガ生ジマスノデ、是等モ商工省ノ方ト協議致シマシテ、授產場等モ何カ特別ノ取扱ヲ受ケルト云フヤウナ場合等ニ付テハ、成ベク特殊ノ扱ヒヲシテマシテ、開業ノ出來マスヤウニ、自活ノ出来ルヤウニ、サウ云フ方面モ便宜ヲ圖ツテ

○會我政府委員 只今遺家族ノ職業問題ニ付テノ御質問ガゴザイマシタガ、只今ノ情勢ト致シマシテハ、全體ニ於テ材料モ乏シタナツ居リマス、其ノ他職業關係ニ付テハ窮屈ニナツテ居リマスノデ、是ハ一般ノ情勢トシテ已ムヲ得ヌコトト思ヒマスガ、併シナガラ只今御心配ヲ戴キマシタヤウニ遺家族ノ方々ニ付テハ特別ニ何ト考へナケレバナラスト云フコトハ政府ノ方ニ於キマシテモ十分考慮致シマシテ、例ヘバ材料ノ配給ニ致シマシテモ折角遺族ノ職業ヲ補導致シマシテ、職業ヲ習ヒナカラ、「ミシシ」ノ配給ガナイ爲ニ職業ガ出來ナライ、自活ガ出來ナイト云フヤウナコトガアツテハイケナイト云フノデ、サウ云フ方面ニ付キマシテハ商工省ト特別ノ交渉ヲ致シマシテ、毎年或ル臺數ハ特ニ遺家族ノ方ヘ配給スルト云フヤウナ方法モ考ヘテ居リマスンテ、又只今ノ製品ノ販賣或ハ材料配給等ニ付キマシテモ、多クハ授產場等ヲ通シテ遺家族ハヤツテ居リマスガ、是等モ特別ノ扱ヒヲシテ貢ハナイト、商業組合、工業組合等ヲスルモノニ付テ、協議致シマシテ、授產場等モ何カ特別ノ取扱ヲ受ケルト云フヤウナ方ニ付テ協議中ナノデアリマス、又遺家

貴フヤウニ色々方法ヲ講ジテ居リマス、其ノ他材料ノ配給等ニ付キマシテハ、特殊ノ材料等ニ付キマシテモ、其ノ場合々々等ニマス、例ヘテ見マスト、軍事援護會ノ支部ニ於テ色々ノ事業ヲ致シマシテ、モウ少シ政府ハ積極的ニ何カ援助スル途ガアルンデヤナカラウカ、例ヘテ見マスト、軍事援護會ノ支部ニ於テ色々ノ事業ヲ致シマシテ、遺家族ノ方、或ハ家族ノ方々ニ對シマスル仕事ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、所ガ御承知ノ通り色々ノ統制ガ布カレマシテ、資材ノ配給トカ、或ハ販賣ノ方法トカ、或ハ組合ニ加盟シナゲレバ一切ノ生産モ出来ナケレバ販賣モ出來ナインダト云フヤウナ、別ニ統制機關ノ出來マシタガ爲ニ是等折角軍事援護會支部ニ於テシテ居リマスル色々ノ事業ガ支障ヲ來シテ居ル事實ガアリマス、直接軍ノ方ノ色々ノ依頼ヲ受ケマシテ製作シテ居リマスルモノハ、販賣ノ點ダケハ結構デアリマスルガ、其ノ資材ガ手ニ入ラナイ、其ノ軍事援護會ノ支部ノ事業ガ或ル組合ヘ加盟シナケレバ一切ノ資材ノ配給ガ受ケラレナイト云フヤウナ事實ガ起ツテ參リマシテ、折角是等ノ人々ノ爲ニ援護會ノ事業トシテヤツテ居リマス事業ガ停頓シテ居ル事實ガアリマス、デアリマスルカラ此ノ出征軍人ノ家族、或ハ遺家族ニ對シマスル援護ノ方法ト致シマシテ、斯様ナ事業ヲシテ居リマスルモノニ對シテハ、私ハ特殊ノ扱ヒ、或ハ資材ノ配給ハ優先的ニ之ヲスルトカ、或ハ販賣ノ方法ニ付キマシテハ組合ニ加盟ヲシテ貢ハナイト、商業組合、工業組合等ヲスルモノニ付テ、協議致シマシテ、授產場等モ何カ特別ノ取扱ヲ受ケルト云フヤウナ場合等ニ付テハ、成ベク特殊ノ扱ヒヲシテマシテ、開業ノ出來マスヤウニ、自活ノ出来ルヤウニ、サウ云フ方面モ便宜ヲ圖ツテ

○會我政府委員 只今遺家族ノ職業問題ニ付テノ御質問ガゴザイマシタガ、只今ノ情勢ト致シマシテハ、全體ニ於テ材料モ乏シタナツ居リマス、其ノ他職業關係ニ付テハ窮屈ニナツテ居リマスノデ、是ハ一般ノ情勢トシテ已ムヲ得ヌコトト思ヒマスガ、併シナガラ只今御心配ヲ戴キマシタヤウニ遺家族ノ方々ニ付テハ特別ニ何ト考へナケレバナラスト云フコトハ政府ノ方ニ於キマシテモ十分考慮致シマシテ、例ヘバ材料ノ配給ニ致シマシテモ折角遺族ノ職業ヲ補導致シマシテ、職業ヲ習ヒナカラ、「ミシシ」ノ配給ガナイ爲ニ職業ガ出來ナライ、自活ガ出來ナイト云フヤウナコトガアツテハイケナイト云フノデ、サウ云フ方面ニ付キマシテハ商工省ト特別ノ交渉ヲ致シマシテ、毎年或ル臺數ハ特ニ遺家族ノ方ヘ配給スルト云フヤウナ方法モ考ヘテ居リマスンテ、又只今ノ製品ノ販賣或ハ材料配給等ニ付キマシテモ、多クハ授產場等ヲ通シテ遺家族ハヤツテ居リマスガ、是等モ特別ノ扱ヒヲシテ貢ハナイト、商業組合、工業組合等ヲスルモノニ付テ、協議致シマシテ、授產場等モ何カ特別ノ取扱ヲ受ケルト云フヤウナ方ニ付テ協議中ナノデアリマス、又遺家

貴フヤウニ色々方法ヲ講ジテ居リマス、其ノ他材料ノ配給等ニ付キマシテハ、特殊ノ材料等ニ付キマシテモ、其ノ場合々々等ニマス、例ヘテ見マスト、軍事援護會ノ支部ニ於テ色々ノ事業ヲ致シマシテ、遺家族ノ方、或ハ家族ノ方々ニ對シマスル仕事ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、所ガ御承知ノ通り色々ノ統制ガ布カレマシテ、資材ノ配給トカ、或ハ販賣ノ方法トカ、或ハ組合ニ加盟シナゲレバ一切ノ生産モ出来ナケレバ販賣モ出來ナインダト云フヤウナ、別ニ統制機關ノ出來マシタガ爲ニ是等折角軍事援護會支部ニ於テシテ居リマスル色々ノ事業ガ支障ヲ來シテ居ル事實ガアリマス、直接軍ノ方ノ色々ノ依頼ヲ受ケマシテ製作シテ居リマスルモノハ、販賣ノ點ダケハ結構デアリマスルガ、其ノ資材ガ手ニ入ラナイ、其ノ軍事援護會ノ支部ノ事業ガ或ル組合ヘ加盟シナケレバ一切ノ資材ノ配給ガ受ケラレナイト云フヤウナ事實ガ起ツテ參リマシテ、折角是等ノ人々ノ爲ニ援護會ノ事業トシテヤツテ居リマス事業ガ停頓シテ居ル事實ガアリマス、デアリマスルカラ此ノ出征軍人ノ家族、或ハ遺家族ニ對シマスル援護ノ方法ト致シマシテ、斯様ナ事業ヲシテ居リマスルモノニ付テ、協議致シマシテ、授產場等モ何カ特別ノ取扱ヲ受ケルト云フヤウナ場合等ニ付テハ、成ベク特殊ノ扱ヒヲシテマシテ、開業ノ出來マスヤウニ、自活ノ出来ルヤウニ、サウ云フ方面モ便宜ヲ圖ツテ

歸還兵或ハ傷病シテ歸ツテ來タ人ガ非常ニ
困ツテ居ルト云フ 實例ガ澤山アルノデアリ
マス、一方ニ於テハ恩給制度ガ漸次整備サ
レマシテ、國家ノ爲ニ努力サレタ方ガソレ
ダケ適當ナル方法ヲ執ツテ戴ケルト云フ際
ニ此ノ人々ガ永年ノ家業ニ、今ノ儘デハ就
ケナイコトニナツテ居ル、ソコデ色々苦心
致シマシテ、大阪ニモソレハ、機關ガアツ
テ其ノ方ニ話ヲシテモ、今ノ組合ヲ作ツテ
居ル幹部ノ人間ガ相當強イ權力ノヤウナモ
ノヲ持タサレテ居ル、隨テ府ノ商工課アタ
リカラ、或ハ軍人援護ニ關スル大阪府ニア
ル色々ナ係ノ人ガ其ノ組合ニ對シテ慾憲シ
テモマダ理事會ヲ開カヌノダ、何ガ斯ウダ
トスツタ揉ンダデ、既ニ昭和十五年ノ二月
頃カラ申込ンデ居ルノガ、今頃ニナツテモ
決シナイ例ガ少クナイ、斯ウ云フ點ニ付キ
マシテ積極的ニ厚生省カラ手段ヲ講ジテ戴
キタイト思フノデスガ、如何デスカ御尋ネ
致シマス

レゾレ通牒ヲ發シテ居ルノアリマス、併シ今御話ノヤウニ商業組合、工業組合ニ後カラ加入スルコトガ中々困難ナ實例ハ多イノデアリマスカラ、只今ノ御話ニ基キマシテ成ベク加入ノ出來ルヤウニ圖リタイト思ヒマス

○曾和委員 是ハ他ノ府縣ノヤウニ比較的單純デ、少ナケレバ宜イノデスガ、大阪ハ非常ニ斯ウ云フ例ガ多イノデス、私ハ此ノ間大阪府ノ商工課ニ行ツテ、アナタハ一體何ヲヤツテ居ルノカト言ツテ來タ位デスガ、一ツ大阪府ノ商工課ニ手嚴シク注意ヲシテ戴キタイ、ソレダケ御願ヒシテ置キマス

○淺井委員 軍人援護ノ事業ニ付キマシテハヨリ以上ノ御活動アランコトヲ御願ヒ致シマス、次ハ恩給金庫ノ利用ニ關スル問題ト、相當ノ利用人員デ貸付ノ金額モ八千萬圓ト云フ多額ニ上ツテ居リマス、實ハ恩給證書ヲ擔保ニ致シテノ金ノ貸付ハ出來ナイク普及ヲシテ居ルカドウカト云フコトガ非常ニ心配デアリマス、ト申シマスノハ恩給團ト云フ多額ニ上ツテ居リマスニ拘ラズ、實ハ依然トシテ民間ニ於テヤハリ貸付ヲヤツテ居リマス、ヤツテ居ルト云フコトハ、恩給ヲ持ツテ居リマスル者ハ、民間ノ方カラ借ナイコトニナツテ居リマスニ拘ラズ、實ハリコトガ至ツテ簡易デ便利デアリマスカラ、自然其ノ方面ニ、所謂暴利ヲ取ラレテ居リマシテモ平氣デソレヲ利用スルト云フコトガアリマス、國家ガ折角恩給金庫ヲ作リマシタ以上ハ、之ヲ成ベク普及ヲシテヤルコトが必要デハナイカ、斯ウ云フヤウナ意味デ實ハ資料ヲ戴イタノデアリマスガ、

此ノ恩給金庫ヲ地方ノ方ニ利用ノ途ヲ普及セセル方法ト致シマシテ、ドウ云フヤウナ方法ヲ執フレテ居リマセウカ、其ノ點ヲ簡單ニ御説明願ヒタイト存ジマス
○平木政府委員 恩給金庫利用普及ノ問題デアリマスガ、是ハ只今御述ベニナリマシタヤウニ、極メテ重要ナ問題デアリマシテ、私ノ方ト致シマシテモ、又恩給金庫ト致シマシテモ、極力色々ノ方法ヲ講ジテ居ルノデアリマス、唯相手ガ全國各地ニ跨ガリ、而モ集團的ニ居ルト云フ譯デハナイノデアリマスカラ、普及ノ實績ガ舉ツテ居ルカドウカニ付キマシテハ非常ニ心配シテ居ル譯デアリマス、ソレデ先づ普及ノ方法ト致シマシテ、支店ヲ作ルノガ一番宜イト考ヘマス、成ベク支店ヲ各府縣ニ澤山作リ、或ハ出張所ヲ作ルト云フコトガ一番宜イコトダト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ一面ニ於キマシテ支店ヲ作ルト云フコトハドウシテモ經費ガ掛リマス、ドウシテモ收支償ハヌ所ニ支店ハ作レヌ、サウ云フ風ナ普及ノ方法ハ講ゼラレナイノデアリマス、餘リ支店ヲ作リマスト利子ガ高クナリ、或ハ安クスルコトガ出來ナイ、斯ウ云フヤウナ問題モアリマシテ、利子ノ問題ト睨合ハセマシテ、中々支店ノ普及ト云フコトモ現在出來ニヤウナ状態ニナツテ居リマス、併シ今後金庫ノ經理ガ許シマス限り、出来ルダケサウ云フ機關ヲ全國ニ普及サシテ行キタイト先づ考ヘテ居リマス、是ガ一番大キナ根本ノ問題デアリマス
ソレカラ次ハ先づ受給者ノ數カラ見マシテモ又現在借リテ居ル人カラ見マシテモ、大部分ハ軍人受給者デアリマス、隨テ軍人ノ方ニ趣旨ヲ徹底サセルコトガ一番重要ニ

ナツテ來タ譯アリマスガ、是ガ爲ニハ各
支店ニ其ノ方面ノ陸海軍軍人會其ノ他連絡
ニ非常ニ易シイ工合ノ好イ人ヲ囁託ニ致シ
マシテ、出來得ル限り各市町村ヲ巡回サセ、
或ハ在郷軍人會其ノ他ト連絡サセ、恩給金
庫ノ事務ノ普及徹底ニ努メテ居ル次第デア
リマス、更ニ又恩給金庫ヨリハ恩給時報ト
云フモノヲ出シマシテ、各方面ニ配付致シ
テ居リマス、尙ホ恩給局ト致シマシテハ恩
給證書ヲ裁定スル場合ニ、恩給金庫ノ業務
案内ヲ入レテヤル、是ハ他ノ所デハアリマ
セヌカラ、サウ云フ便宜モ圖ツテ居リマス、
其ノ他新聞、「ラジオ」等ニ依ツテ出來ルダ
ケサウ云フ風ナ趣旨ノ徹底ヲ圖リ今御述ベ
ニナツタヤウナ恩給金庫ノ不便ノ爲メ、ツ
イ他カラ借リルト云フ問題ノ出來ルダケ起
ラナイヤウニ、今後モ努力シタイト云フ風
ニ考ヘテ居リマス。

ト云フモノ、或ハ官公吏或ハ軍人ナドノ恩給ニ關シマスル觀念ト云フモノガ、或ハ職後ニ於テ生活ノ保障ヲシ、或ハ其ノ勤務中ニ所謂勤續年數ニ應ジマシタ功勞ノ意味ニ依ツテ恩給ヲ支給サレル、其ノ他色々吾等所謂根本觀念、恩給其ノモノノ本質論ニナルト非常ニ難カシイト云フ御話デアリマスガ、第一條ヲ見マスルト恩給トハ斯ウ云フモノダト云フ種類ダケヲ羅列シテアリマス、所ガ第一條ニ依リマシテモ恩給トハ斯ウ云フモノデアルト云フ性質ハ法律ノ中ニ現ハレテ居リマセヌ、デアリマスカラ恩給ニ對スル觀念ガハツキリ致シマセスト、或ハ曾和君ノ御質問ニナリマシタヤウナ色々ノ事態ガ發生スルノデハナカラウカト、實ハ懸念モ致シマス、之ニ關聯ヲ致シマシテ下級者ヲ成ルベク多ク優遇ラシテヤルノダ、今回ノ改正ニ依リマシテモ加算ノ點ニ付キマシテハ下級ノモノヲ重ク致シマシテ、上級ノモノニ低クナツテ居リマス、洵ニ是ハ結構ナ改正ダト思ツテ拜見致シマシタガ、現在ノ公務員ニ致シマシテモ、成ベク下級官吏等ニ付キマシテノ恩給ヲ優遇シテヤル途ハナカラウカ、其ノ優遇ハ單ニ恩給金ヲ増加スルト云フコトバカリデアリマス、例ヘバ現在十五年ニナツテ居ルグラウト思ヒマスガ、官吏ガ十五年勤續致シマシテ、成ルベク下級官吏ニ對シマシテハ年限ヲ早クスル、例ヘバ十五年デアリマスレバ、

判任官以下ノ者デハ十箇年デ宜イト云ツタ
途ヲ開イテヤルコトガ必要デナカラウカ、
殊ニ警察官ノヤウナ、アレ程國家ニ獻身的
ニ働イテ居ル下級ノ官吏ハナイト思ヒマス、
其ノ警察官ノ優遇ニ致シマシテモ、他ノ官
吏同様ニ恩給ノ年限ガ同ジト云フコトニナ
ルト、是ハドウモ餘り國家ノ事業ニ關與致
シタ下級警察官等ハ氣ノ毒デハナカラウ
カ、モウ少シアレグケ犠牲ヲ拂ツテ國家ノ
爲ニ貢獻シテ居ル警察官ニ對シテハセメテ
恩給ニ對シテモ何カ差異ヲ設ケマシテ、之
ヲ優遇シテヤルノダト云フヤウナ道ヲ開ク
コトガ必要デハナカラウカ、要スルニ是モ
恩給ノ本質、或ハ恩給ノ性質ニ依リマシテ
ノ御尋ネデアリマシテ、何カ此ノ下級官吏
ヲ優遇シテヤルト云ツタヤウナ案ヲ御考ヘ
ニナツテ居ラナイデアリマセウカ、現在御
考ヘガナケレバ、將來是等ニ對シマシテ、
何カ國家トシテ恩給法ヲ更ニ改正スルノダ
ト云フ御考ヘガアルカナイカ、此ノ一點ヲ
御尋ネシタイト思ヒマス

ドイ者ノ優遇デアリマシテ、サウ云フ勤務
内容ノ區別ニ依ラズニ、一般的ニ下級ノ者
ヲ優遇シロト云フ問題ニナリマスルト、是
ハ中々ムヅカシイ問題デアリマスルカラ、
現在デハ實ハ其處マデハ行キ兼ネテ居レ
第デアリマス

ソレカラ恩給ノ定義デアリマスルガ、實
ハ此ノ定義トハ中々ムヅカシイ問題デアリマ
シテ、法律上ニ依リマスルト、先づ第一ニ
問題ニナルノハ、恩給ハ權利デアルト云フ
考ヘ方デアリマス、併シ權利デアルト申シ
マシテモ、權利ト云フモノハ一體ドウ云フ風
ニ考ヘタラ宜イノカ、ソレハ自分が貰へバ
自分が勝手ニドンナコトヲシテモ宜イノダ
ト云フ意味ノ權利トハ、私ハ恩給法ニ關ス
ル限リハ言ヘナイ問題デハナイカト考ヘテ
居リマス、殊ニ此ノ權利ト云フ問題ハ、例
ヘバ茲ニ恩給ヲ貰フ順位ガアリマス、遺族
扶助料ナラバ、妻子、父母ト云フコトニ
ナツテ居ル、妻トカ、子トカガ其ノ順位デ
代表シテ遺族扶助料ヲ貰フ場合ニ、決シテ
個人ノ收入トシテ考ヘテハイケナイ、是ハ
恩給法全般ヲ見マシテ當然サウ云フ結論ニ
ナル譯デアリマス、例ヘバ遺族加給ノ問題
デモ遺族ノ員數ニ依ツテ加給ヲ受ケテ居ル
ノデアリマスルカラ、遺族扶助料ヲ妻ガ貰
ツタカラ妻ガ勝手ニシテ宜イノダ、父ノ名儀
デ貰ツタカラ父ガ勝手ニシテ、妻ノコトハ
構ハナイデ宜イノダ、斯ウ云フ譯デハ毛頭思
ナイノデアリマス、隨ヒマシテ、他ノ民法
ノ權利ハドウ云フモノカ私詳シク存ジマセ
ヌガ、ソレハ別ト致シマシテ、恩給法上ノ
權利ハサウ云フ意味ノ權利デナイト云フコ
トハ恩給法全般カラ見テ明カデアラウト思
ヒマス、又他面カラ見マスルト、公務員ハ

在職中ニ月給ノ百分ノ一トカ、二トカ一定ノ納付金ヲ毎月納付致シマス、此ノ納付金ノ制度ヲ布イテ居ル點カラ考ヘマスト、如何ニモ相互保險的ナ性質モ持ツテ居リマス、尤モソレガ全部トハ言ヘマセヌガ、サウ云フ性質モ絶無トハ言ヘナイノデ、ソレヲ無視スル譯ニハ參ラナイ、斯ウ云フ問題モアルノデアリマス、ソレカラ先刻申上ゲタヤウナ恩典、是ハ恩給法ノ性質ノ沿革カラ考ヘテモ、此ノ恩典ノ性質ハドウシテモ拭ヒ去ルコトノ出來ナイ問題デアル、又受給者ノ大部分ハ實ハ之ヲ恩典ト考ヘテ居ルヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、サウ云フ點モ考ヘナケレバナリマセヌ、又此ノ恩給ノ働き、恩給ガドウ云フ役ニ立ツテ居ルカ、其ノ點カラ恩給ヲ考ヘルナラバ、長イ間官吏ラシテ其ノ爲ニ心身ヲ消耗シ、經濟活動ヲシヨウトシテモ活動力ガ非常ニ少クナツタ、隨テ經濟活動力ノ損耗ニ對スル保障トモ云フカ、斯ウ云フコトヲ能ク學者ハ言フノデアリマスガ、サウ云フ點カラ申セバ、確カニサウ云フ働きモ持ツテ居ルヤウデアリマス、左様ナ色々ナ要素ヲ持ツテ居リマスノデ、恩給トハ是ダト云フ風ニ簡單ニ言ヒニクイヤウナ複雜ナ内容ヲ持ツテ居ルト云フ風ニ私寶ハ考ヘテ居ルノデアリマス

斯時ニハ、サウ云ツタ機構上ハ事務ニモ、又評議員ト云フモノト兩方ニ足ヲ掛ケマシテ、其ノ間ノ運營ヲ旨ク執ツテ行クヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス○大内委員簡單ニ聽キマスカラ、一ツ簡潔ニ御返事願ヒマス、要點ダケ伺ヒマス、政府ハ凡ユル機會ニ南方開發ニ當ツテ經濟力ノアル企業家ノ熱意ト、創意ヲ遺憾ナク發揮セシメテ開發スルト云フコトヲ言ハレテ居ル、其ノ南方開發ト云フコトハ、統制會ヲ通ジテ企業家ガサウ云フコトヲスルヤウニナルノデアルカ、南方開發ト統制會トノ關係、斯ウ云フコトニ付テ御所見ヲ伺ヒタイ○神田政府委員簡單ニ御答ヘ致シマス、南方開發ノ方針ニ付キマシテハ、既ニ企畫院總裁カラ豫算總會ニ於キマシテ詳細ニ述べラレテ居リマスノデ省キマスガ、統制會トノ關聯ニ於キマシテハ、此ノ南方開發ニ取敢ヘズ向ヒマス企業者ノ選定ト云フコトニ付キマシテハ、統制會ガ重大ナル發言ヲ持ツ譯デアリマス、統制會ノ意向ト云フモノヲ大部分汲入レマシテ、多少ソレニ他ノ政府ノ要望等モ加ハリマシテ修正スルコトモアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ統制會ノ意向ト云フモノニ重點ヲ置キマシテ考ヘラレル、斯ウ云フコトニ相成リマス

○大内委員次ニ統制會ハ政府ノ產業ニ對スル立案企畫ニモ緊密ナ連絡ヲスル、尙ホ更ニソレノ實施ニ當ツテ、或ハ生産、配給、資材ノ問題、資金ノ問題、企業ノ整備ノ問題等、色々ナ問題ノ實施ニ當ツテ、政府ノ權限ヲ之ニ移譲スル、斯ウ云フコトデアリマルガ、斯ウ考ヘテ間違ヒナイカドウカト云フコトガ一つ、ソレカラ物價ノ問題ハ潔ニ御返事願ヒマス、要點ダケ伺ヒマス、テ居ル、其ノ南方開發ト云フコトハ、統制會ニハ興ヘテ居リマセヌ、物價ノ問題ニ付テ居ル、其ノ南方開發ト云フコトハ、統制會ヲ持ツテ企業家ガサウ云フコトヲスルヤウニナルノデアルカ、南方開發ト統制會トノ關係、斯ウ云フコトニ付テ御所見ヲ伺ヒタイ○神田政府委員簡單ニ御答ヘ致シマス、南方開發ノ方針ニ付キマシテハ、既ニ企畫院總裁カラ豫算總會ニ於キマシテ詳細ニ述べラレテ居リマスノデ省キマスガ、統制會トノ關聯ニ於キマシテハ、此ノ南方開發ニ取敢ヘズ向ヒマス企業者ノ選定ト云フコトニ付キマシテハ、統制會ガ重大ナル發言ヲ持ツ譯デアリマス、統制會ノ意向ト云フモノヲ大部分汲入レマシテ、多少ソレニ他ノ政府ノ要望等モ加ハリマシテ修正スルコトモアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ統制會ノ意向ト云フモノニ重點ヲ置キマシテ考ヘラレル、斯ウ云フコトニ相成リマス

○大内委員次ニ統制會ハ政府ノ產業ニ對スル立案企畫ニモ緊密ナ連絡ヲスル、尙ホ更ニソレノ實施ニ當ツテ、或ハ生産、配給、資材ノ問題、資金ノ問題、企業ノ整備ノ問題等、色々ナ問題ノ實施ニ當ツテ、政府ノ權限ヲ之ニ移譲スル、斯ウ云フコトデアリマルガ、斯ウ考ヘテ間違ヒナイカドウカト云フコトガ一つ、ソレカラ物價ノ問題ハ潔ニ御返事願ヒマス、要點ダケ伺ヒマス、テ居ル、其ノ南方開發ト云フコトハ、統制會ニハ興ヘテ居リマセヌ、物價ノ問題ニ付テ居ル、其ノ南方開發ト云フコトハ、統制會ヲ持ツテ企業家ガサウ云フコトヲスルヤウニナルノデアルカ、南方開發ト統制會トノ關係、斯ウ云フコトニ付テ御所見ヲ伺ヒタイ○神田政府委員簡單ニ御答ヘ致シマス、南方開發ノ方針ニ付キマシテハ、既ニ企畫院總裁カラ豫算總會ニ於キマシテ詳細ニ述べラレテ居リマスノデ省キマスガ、統制會トノ關聯ニ於キマシテハ、此ノ南方開發ニ取敢ヘズ向ヒマス企業者ノ選定ト云フコトニ付キマシテハ、統制會ガ重大ナル發言ヲ持ツ譯デアリマス、統制會ノ意向ト云フモノヲ大部分汲入レマシテ、多少ソレニ他ノ政府ノ要望等モ加ハリマシテ修正スルコトモアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ統制會ノ意向ト云フモノニ重點ヲ置キマシテ考ヘラレル、斯ウ云フコトニ相成リマス

○大内委員次ニ統制會ハ政府ノ產業ニ對スル立案企畫ニモ緊密ナ連絡ヲスル、尙ホ更ニソレノ實施ニ當ツテ、或ハ生産、配給、資材ノ問題、資金ノ問題、企業ノ整備ノ問題等、色々ナ問題ノ實施ニ當ツテ、政府ノ權限ヲ之ニ移譲スル、斯ウ云フコトデアリマルガ、斯ウ考ヘテ間違ヒナイカドウカト云フコトガ一つ、ソレカラ物價ノ問題ハ潔ニ御返事願ヒマス、要點ダケ伺ヒマス、テ居ル、其ノ南方開發ト云フコトハ、統制會ニハ興ヘテ居リマセヌ、物價ノ問題ニ付テ居ル、其ノ南方開發ト云フコトハ、統制會ヲ持ツテ企業家ガサウ云フコトヲスルヤウニナルノデアルカ、南方開發ト統制會トノ關係、斯ウ云フコトニ付テ御所見ヲ伺ヒタイ○神田政府委員簡單ニ御答ヘ致シマス、南方開發ノ方針ニ付キマシテハ、既ニ企畫院總裁カラ豫算總會ニ於キマシテ詳細ニ述べラレテ居リマスノデ省キマスガ、統制會トノ關聯ニ於キマシテハ、此ノ南方開發ニ取敢ヘズ向ヒマス企業者ノ選定ト云フコトニ付キマシテハ、統制會ガ重大ナル發言ヲ持ツ譯デアリマス、統制會ノ意向ト云フモノヲ大部分汲入レマシテ、多少ソレニ他ノ政府ノ要望等モ加ハリマシテ修正スルコトモアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ統制會ノ意向ト云フモノニ重點ヲ置キマシテ考ヘラレル、斯ウ云フコトニ相成リマス

○大内委員次ニ統制會ハ政府ノ產業ニ對スル立案企畫ニモ緊密ナ連絡ヲスル、尙ホ更ニソレノ實施ニ當ツテ、或ハ生産、配給、資材ノ問題、資金ノ問題、企業ノ整備ノ問題等、色々ナ問題ノ實施ニ當ツテ、政府ノ權限ヲ之ニ移譲スル、斯ウ云フコトデアリマルガ、斯ウ考ヘテ間違ヒナイカドウカト云フコトガ一つ、ソレカラ物價ノ問題ハ潔ニ御返事願ヒマス、要點ダケ伺ヒマス、テ居ル、其ノ南方開發ト云フコトハ、統制會ニハ興ヘテ居リマセヌ、物價ノ問題ニ付テ居ル、其ノ南方開發ト云フコトハ、統制會ヲ持ツテ企業家ガサウ云フコトヲスルヤウニナルノデアルカ、南方開發ト統制會トノ關係、斯ウ云フコトニ付テ御所見ヲ伺ヒタイ○神田政府委員簡單ニ御答ヘ致シマス、南方開發ノ方針ニ付キマシテハ、既ニ企畫院總裁カラ豫算總會ニ於キマシテ詳細ニ述べラレテ居リマスノデ省キマスガ、統制會トノ關聯ニ於キマシテハ、此ノ南方開發ニ取敢ヘズ向ヒマス企業者ノ選定ト云フコトニ付キマシテハ、統制會ガ重大ナル發言ヲ持ツ譯デアリマス、統制會ノ意向ト云フモノヲ大部分汲入レマシテ、多少ソレニ他ノ政府ノ要望等モ加ハリマシテ修正スルコトモアルカモ知レマセヌガ、大體ニ於テ統制會ノ意向ト云フモノニ重點ヲ置キマシテ考ヘラレル、斯ウ云フコトニ相成リマス

今御質問ノ御趣旨ノ如ク私モ考ヘルノデ、
是等ノ方々ニハ專ラ此ノ會長トシテノ仕事
ヲシテ戴クト云フコトデ、從來關係ヲサレ
テ居リマシタ少クトモ鐵銅ニ關スル限リニ
於キマシテハ鐵銅ノ事業、或ハ石炭ノ事業ト云フヤ
ル限りニ於キマシテハ石炭ノ事業ト云フヤ
ウナコトニ關聯シテノ、從來ノ業務ハ廢メ
テ戴キマシテ、之ニ專務ニナツテ戴イテ居
ルノデアリマス、併シナガラ他ノ公務上ノ、
公ノ仕事トカ或ハ其ノ他特殊ノ關係デ、此
ノ統制會長トシテ職責ヲ盡シテ行ク上ニ於
テ、支障ノナイ又ソレニ多クノ禍ヒヲ持タ
ナイト云フヤウナ點ニ付テ、兼職ヲサレテ
居ル方モアルト思ヒマスガ、少クトモ本體
トシテノ職務ハ廢メテ居リマスガ、其ノ他
ノ職務デモ、十モ二十モ關係シテ居ルト云
フコトニナレバ、ヤハリ是ハ專心出來ナイ
コトニ事實ハナルノデスカラ、是ハ將來成
ベクサウ云フ職務ヲ廢メテ貰フヤウニ御努
メ願ヒタイト思ヒマス

ヌシ、又其ノ元ノ親會社ト言ヒマスカ、元ノ會社モ左様ナ氣持デモウ歸サヌ、是ダケテ何カ特別ニ命令ハ出サレヌカモ知レマセヌケレドモ、訓令カ何カデ以テ左様ナ職員トシテ決心ヲ促ス、斯ウ云フコトニ對シハナイカト思フノデスガ如何デスカ
O 岸國務大臣 統制會ノ職員ニ付テノコトデアリマスガ、是ハ各方面カラ統達ノ士ヲ集メルト云フ形デ、隨テ從來民間ノ重要會社ニ於テ經驗ヲ積ミ、色々練達シテ居ル人ヲ簡拔シタモノガ多イノデアリマス、而シテ統制會ノ職責カラ考ヘテ、又其ノ使命ヲニ立タナケレバナラヌ事柄ハ、今御話ノ通りデアリマス、私共モ其ノ事柄ニ關シテハリ務ハドウアラウトモ、統制會ノ職員ニナツタ以上ハ、統制會ノ職員トシテ公正ナ立場ヲ指摘ニナツテ居ルヤウナ懸念ガ、ソレデハ率キテ行クヤウニト云フコトヲ申シテ居リマスシ、又會長初メ首腦部ニ於キマシテモ、其ノ心構ヘデ訓練ヲ致シテ居リマス、唯設立尙ホ日淺イ現狀ニ於キマシテ、今御指摘ニナツテ居ルヤウナ懸念ガ、ソレデハ全然ナクナツテ居ルカト申シマスト、尙ホ今後ノ訓練ニ俟ツベキ所ガ少クナカラウト思ヒマスノデ、其ノ點ニ付キマシテハ、十分統制會ノ首腦部トモ政府ニ於キマシテ連絡シマシテ、此ノ統制會自體ノ職員トシテ公正ニ職責ヲ果シシテ行クヤウニ指導致シタシイ、斯ウ思ヒマス
O 大内委員 最後ニ統制會ノ經費ノ問題ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、昨今國策會社ノ人件費ガ大變多イト云フコトデ、非常ニ論

議サレテ居リマスガ、此ノ統制會モ亦同ジヤ
ウナ非難ヲ受ケルノデハナイカト私ハ思フ
ノデアリマス、資料ニ依ツテ見マスト相當
ノ豫算ニナツテ居リマシテ、一箇月多イノ
ハ二十七万圓、最モ少イノデ十万圓、唯一
ツ自動車統制會ガ五万三千圓バカリニナツ
テ居リマスガ、他ハ悉ク一箇月十万或ハ二
十万圓内外ノ經費ニナツテ居ルヤウデアリ
マス、是ハ大體人件費ニ使ハレルノデセウ
ガ、多過ギルヤウナ氣ガスルノデス、會長
ガ十何万圓トカ、或ハ次長ガ六万圓トカ幾
ラトカ、理事ガ何万圓トカ云フ譯デアル、斯
ウ云フコトハ國策會社ト同ジヤウナ議論ガ
ニ居ルト思ヒマスガ、是ハ統制會社トシテハ感
心出來ナイ、併シ人ヲ遇スル途モ自ラアル
カラサウ冷遇ハ出來ナイガ、現在マデ會社
ト云フモノニ開キガアツタ時代ハ何デモナ
イノデスガ、現在ノヤウニ赤字ニナルカト
云フ場合ニ相當ノ負擔ヲスルコトハ非常ニ
ヤウニ生產會社デ生產「コスト」ト販賣値段
ト云フモノニ開キガアツタ時代ハ何デモナ
イノデスガ、現在ノヤウニ赤字ニナルカト
云フヤウナ經費ヲ、今度ハ統制會ニ取ラレ
ル、斯ウ云フコトニナツテ來マスト勢ヒ生
業組合デヤツテ居ツタ仕事ノ五倍、六倍ド
苦シイノデス、或ル生產會社ナドハ從來工
業モアルト思フノデアリマスガ、モウ少シ
シテ値上問題ガ起ツテ行ク、斯ウ云フコト
云フヤウナ經費ヲ、今度ハ統制會ニ取ラレ
ル、斯ウ云フコトニナツテ來マスト勢ヒ生
産「コスト」ガ上ツテ、結局赤字、即チ結論ト
シテ値上問題ガ起ツテ行ク、斯ウ云フコト
ニナルト低物價政策ニ背反スル、斯ウ云フ
虞モアルト思フノデアリマスガ、モウ少シ
人件費ヲコソナニ掛ケナクテモ宜イデハナ
イカト云フ風ニ考ヘルノデス、是ハ色々理
由モアルデセウガ少シ掛カリ過ギルヤウニ
考ヘテ居リマス、是等ハ無論商工省ノ御承
認ヲ得テ居ルコトハ云フマデモナイノデス

ガ、モウ少し考へヤウガナイモノカドウカ、之ニ對スル御意見ハドウデスカ
○岸國務大臣 統制會ガ出來マシタ爲ニ此ノ職員ノ人件費デアルトカ、其ノ他事務費等ガ加算シテ、是ガ結局各會員ノ生産上ノ「コスト」ニモ影響スルト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、是ハ十分考ヘナケレバナラス問題デアリマシテ、吾々トシテハ極力此ノ事務的ナ經費、人件費等ニ付キマシテ合理的ナ調整ヲスル見地カラ、之ヲ監督シテ居ル次第デアリマズ、唯鐵鋼統制會ノ會長初メ役員、首腦部、職員等ニ付キマシテハ、此ノ統制會ノ趣旨カラ鑑ミマシテ、其ノ業界ニ於テ相當ナ仕事ヲサレテ居リ、又其ノ途ニ達シテ居ラレル有力ナ人々ヲ連レテ來テ、サウシテ其ノ統制會ト云フモノヲ運用シテ貰フト云ノガ、統制會ノ本旨デアルト思フノデアリマス、例ヘバ辭メテ遊ンデ居ラレルヤウナ方、其ノ他仕事カラ離レテ居ラレルヤウナ方ヨリハ、寧ロ現實ニ其ノ業ニ於テ相當有力ナ立場ヲ持ツテ居ラレル方ヲ成ベク首腦部トシ行テキ、又職員等ニ付キマシテモ、サウ云フ見地カラ之ヲ選任致シマス關係上、而モ今マデノ關係ヲ離レマシテ公正ナ立場デ、總テノ權限ヲ行使シテ貰ハナケレバナラナイト云フ實情カラ見マシテ、勿論是ハ公ノ性質ヲ持ツテ居ル職務デアリマスルシ、又之ニ興カラレル人ハナインデアリマスケレドモ、併シナガラハナインデアリマスケレドモ、併シナガラヤハリサウ云フ有能ナ人ヲ、而モ現職ヲ辭ニ多クノ報酬ヲ之ニ期待サレルト云フ事柄相當ナ待遇ヲ致スコトハ當然デアリマシテ、シニ監督ノ最モ重點ハ、統制會ノ會長若シ

クハ職員トシテ立派ニ其ノ職責ヲ盡シテ貰ヘルカドウカト云フ點ニ、非常ナ大キナ監督ナリ指導ノ中心ガアルベキモノデアリマス、唯御説ノ通り徒ラニ此ノ俸給、人件費等ガ嵩ミマシテ、是ガ一般業界ノ負擔ニナルト云フヤウナコトニ相成ルコトハ、是ハ飽クマデ能ク注意シテ、サウ云フコトニナラナイヤウニシナケレバナリマセヌガ、一方今申シマシタヤウナ事情モアリマスノデ、或ハ人件費等ガ比較的他ノ團體等ニ比べマシテ割合ニ多イノデヤナイカト云フ御感ジモ出テ參ツテ居ルノデハナイカ、斯ウ思ヒマスガ、サウ云フ事情モアリマスノデ、其ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス
○大内委員 最後ニ一點ダケ御尋ネシマス、御尤モナ御話ダト思ヒマスガ、併シナガラ實際問題トシテ、製造會社ノ生産「コスト」ヲ今切下ゲルコトニ付テハ全ク血ノ出ルヤウナ奮闘ノ致シテ居ツテモ中々出來ナイ、サウ云フ時デスカラ、統制會ニ斯ウ云フ費用ガ掛カルコトニナツ、テ、結局赤字ニナリ、値上問題ガ起ルト云フコトニナレバ、大變而倒ナコトニナルノデスカラ、統制會ノ仕事ハ大半ガ國家ノ事務ヲ委譲シタノデスカラ、人件費ニ何カ補助ヲナサルヤウナ御考ヘデモナイノカ、此ノ一點ダケ御伺ヒシマス

雜ニ重複シテ居ル部分モアリマスルノデ、
統制會ノ設立ト同時ニ、是等從來ノ機構ト
云フモノモ單純化スル事柄ニ隨分努メテ居
リマシテ、從來掛カツテ居ツタ費用等ノ一
部モ、統制會ガ出來タコトニ依ツテ其ノ負
擔ヲ輕カラシメルト云フヤウナ方法モ十分
講ジテ、サウシテ生産會社ニ對スル「コス
ト」ヲ増嵩シナイヤウニ極力力ヲ用ヒタイ
ト考ヘテ居リマス

先づ此ノ意味ハ、今回ノ恩給法ニモアル如ク、戦死者遺族又ハ傷病軍人、所謂増加恩給或ハ傷病年金等ヲ支給サレテ居ル傷病軍人ニモ適用サレルコトハ勿論ト思フが如何デアリマスカ、更ニ國家總動員法ニ依ル徵用令者ノ家族ニモ適用サレルカ否カ、總動員法ニ依ル徵用者ハ今日ニ於テハ家族扶助料マデ貰ヘルヤウニナツタノデアリマス、此ノ徵用者ニ對シテハドウ云フ御考ヘデアリマスカ、之ニ付テ大臣ノ御返答ヲ願ヒタ

策ノ爲メデアルカラ我慢シテ政府ノ指令ニ
従ヘト言ツテ居ル、然ル所、先日ノ大臣ノ
御答ヘニ依ツテ見レバ、應召軍人ノ家族ハソ
レヲ適用サレナイト云フコトニナレバ、茲
ニ重大ナ問題ガ起キテ來ルノデアリマス、
例ヘテ申シマスレバ、其ノ業者ガ洋品業
者或ハ菓子業者デアルトスレバ、其ノ半數
或ハ八八割位ノ應召者ガアルカモ知レマセヌ、
ソレ等ノ家族ガ應召軍人ガアルト云ツテ全
部政府ノ指令ニ從ハナカツタト云フ場合ガ
出タラ、商工省ノ中小商工業者ノ整理統合
政策ハ完成シナイト思フ、若シサウ云フ者
ガ個人々々デ營業フル場合ニ於テハ、將
來ニ於テ統制會社ナリ組合ナリノ物資ノ配
給等ハ、一面轉廢業ニ依ツテ統制サレタ業
者ニ對スルト同時ニ、應召者家族ナルニ依
ツテ残ツテ居ツタ人ニ配給ガ出來ルカト云
フニ、現狀デハ出來ナイデアラウト思フ、
之ニ付テ大臣ノ明確ナ御言明ヲ承リタイ
○岸國務大臣 此ノ問題ハ云フマデモナク、
第一線デ活動サレテ居ラレル其ノ方々ノ留
守ニ自分達ノヤツテ居ツタ仕事、又之ニ依
ツテ一家ノ生計ガ營マレテ居ルヤウナ其ノ
仕事ガ整理統合サレテ、殘シテ置イタ家族ノ
連中ガ途ニ迷フト云フヤウナ事態ガアリマシ
テハ、此ノ非常時局ニ於キマシテ私ハ極メテ
重要ナ事柄デアルト思フノデアリマス、唯
今ノ御質問デ私ノ申上げテ居ル事柄ト多少
食違ヒガアルノデナイカト考ヘラレマスノ
ハ、家族ノ中誰カ一人ガ應召シ、出掛ケテ
居ルト云フ者ハ、悉ク之ニ考ヘテ居ル譯デ
ハナイノデアリマシテ、一家ノ主人、其ノ
人ノ力ニ依ツテ家族ガ養ハレテ居ルト云フ
ヤウナ方ガ應召サレテ戰地ニ出掛け行ツ
テ居ル、其ノ留守ヲ守ツテ居ル人々シマ

シテハ、一家ノ中心ニナル人ガ出掛けテ居ル留守ニ、其ノ仕事ガ整理統合サレルト云フコトニナリマスルト、實際今申シマシタヤウナ意味カラ申シマシテモ、又殘ツテ居ル人々ノ氣持カラ申シマシテモ、是ハサウヌベキモノデハナクシテ、寧ロ應召サレルトカ云フ問題ハ考ヘテ貰フベキデハナイカ、斯ウ云フ考ヘ方カラ、其ノ方針ヲ執ツテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ今全體ノ八割トカ、或ハ半分デアルトカ云フ數字ハ、恐ラク其ノ家族ノ中ノドナタカガ應召サレテ居ルト云フ者ヲ舉ゲレバ、サウ云フ數字ニナルカト思ヒマスケレドモ、私ノ申上ゲマシタヤウナ、一家ノ中心ニナツテ居ル人ガ應召サレテ居ル其ノ家族ノ者ニ付テハ、手ヲ觸レナイト云フコトガ私共ノ考ヘテ居ル趣旨デアリマス、是ガ爲ニ、中小商工業者ノ整理統合ラ政府ガ考ヘテ居リマス方針ニ著シイ支障ヲ來スト云フコトハナイモノト考ヘテ居リマス

○岸國務大臣 御質問ノ場合ハ今應召者ノ場合ニ申上ゲタト同ジヤウニ考ヘテ宜イト
申上ゲマシタ如ク、今日ノ所ソコマデハ考
ヘテ居リマセヌ

○最上委員 商工大臣ニ對スル質問ハ是デ
打切りマス

○森田委員長 次ハ淺沼君

○淺沼委員 行政官廳ノ職權ヲ委譲スルコ
トニ付テ、國家總動員法第十八條ノ規定ニ
基ク法人、是ノ次ニ其ノ他ノ法人ヲシテ之ヲ
行ハシム」ト云フ規定ガアリマスルガ、國家
總動員法十八條ノ規定ニ基ク法人ハ了解
スルコトガ出來ルノデスガ、其ノ他ノ法人ヲシテ
之ヲ行ハシムト云フ、其ノ他ノ法人トハ如何ナル
法人ヲ指スノデスカ

○安倍政府委員 差當リハ國家總動員法十八
條ノ適用ニ依リマス法人モ考ヘテ居ルノ
デアリマスガ、將來ニニ該當シナイ法人、
一例ヲ舉ゲレバ營團トカ、金庫トカ、國策
會社ト云フヤウナ法人ニ付テ、其ノ内容如何ニ
依ツテ考ヘル餘地ガアルト云フコトヲ
見透シマシテ、「其ノ他ノ法人」ト云フノヲ
法文ノ中ニ插入シテ居ルノデアリマス

○淺沼委員 ソコデ商工大臣ニ一、二點質
問申上ゲタトイト思フノデアリマスルナラバ、
自然其ノ委譲ニ伴ヒマシテ商工省自體ニハ
規定ニ基ク法人、例ヘバ重要產業統制會ニ
委譲スルト云フコトニナリマスルナラバ、
行政機構ノ改革ガ行ハレナケレバナラナイ

ト思フノデアリマス、政府ノ行政機構ノ改革ニ關スル方針ハ、本會議ニ於ケル岡田サンノ質問ニ對シマス總理大臣ノ答辯、更ニ豫算委員會ニ於キマスル勝田委員、河野委員ノ質問ニ對スル總理大臣、企畫院總裁ノ答辯デ私共ハ了承ハ付イテ居ルノデアリマス、其ノ政府ノ大體ノ方針ハ總チ戰爭ノ目的完遂ニ集中スルト云フコトニ重點ガ置カレテ機構ノ改革ヨリ運營ニ中心ガ置カレテ居ルヤウデアリマスガ、併シナガラ現實ノ問題トシテ、今マデ商工省デ持ツテ居リマシタ權限ノ中、幾部分デモ是ガ重要產業統制會ニ委讓サレルト云フコトデアリマスルナラバ、ソコニハ必然的ニ機構ノ改革ガ行ハレテ來テケレバナラスト思フノデアリマス、例ヘバ鐵鋼統制會ガ出來ルコトニ依ツテ、鐵鋼局ノ機構ト云フモノハ自然改革サレナケレバナラスト思フノデアリマスルガ、ドウ云フ方向ニ改革サレテ行クノカ、此ノ際伺ツテ置ケバ非常ニ幸ヒダト存ジマス○**岸國務大臣** 御答ヘ申上ゲマス、今御質問ノ點ハ、私モ正ニ同ジ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、統制會ニ相當思ヒ切ツテ官廳ノ權限ヲ委讓致シマスル限り、行政官廳ノ事務ハソレダケ減少スル譯デアリマスカラ、行政官廳ノ機構等ニ付キマシテモ、其ノ權限ノ縮少ニ對應スルヤウナ改正ニ努メナケレバナラスト思フノデアリマス、唯バナラヌ新シイ大キナ重要問題ガ多イノデアリマシテ、此ノ大勢ニ順應スルヤウナ意味モ以チマシテ、今申シタル事務ノ減少ニ伴フ縮小ト、新シイ事態ニ於テ商工省ノ職

○岸國務大臣 現在ノ工業組合、商業組合
○淺沼委員 政府ハ七十六議會ニハ產業團體法ヲ提出セント致シマシテ、之ヲ提出致シマセヌデ、國家總動員法ノ改正ニ依ツテ其ノ目的ヲ達セラレテ、現在統制會ニ對スル勅令ノ決定ヲ見テ居ルト思フノデアリマスガ、其ノ重要產業團體法ニ依リマスナラバ、其ノ中ニハ工業組合、商業組合ト云モノハ共ニ之ヲ吸收サレテ居ルノデアリマス、併シナガラ今重要產業統制令ヲ見マスト、工業組合、商業組合ト云フモノハ下部組織トシテ殘サレテ居ル形ニナツテ居ルノデアリマス、併シナガラ全國聯合體ニ付キマシテハ自然統制會ニ吸收サレルコトニ私ハナラウト思フノデアリマスガ、統制會ノ持チマス國家的任務ト統制會ノ規定ト、商業組合、工業組合ノ發達過程茲ニ持ツテ居リマスル性格、規定等ニ付キマシテハ非常ニ差異ガアルト思フノデアリマス、組織ノ上ニ之ヲ考ヘテ見マシテモ、統制會ハ指導者原理ヲ採用シテ居リマス、工業組合ト商業組合ト云フモノハ指導者原理ヲ採用シテ居ラナインデアリマス、總テ多數決ニ依ツテ議ヲ決シ、役員ハ選舉ト云フ形式ヲ執ラレテ居ルノデアリマスガ、上ハ一本ニナリマシテ指導者原理ヲ採用サレル、下部組織ニ於テハ指導者原理ハ採用サレナイ、斯ウ業組合ノ持ツ性格カラ來マス矛盾ヲ政府ハ一體如何様ニ調整サレテ行クノカ、伺ヒタク思夫ノデアリマス

リマシテ、今御指摘ニナリマシタヤウニ、
統制會ノ機構若クハ運營ノ方針ト、組合ノ
運營ノ方針若シクハ機構トノ間ニハ矛盾ガ
要產業部門ニ於テ縱斷的ニ統制強化竝ニ適
正化シテ參リマス上ニ於テ、是等工業組合、
商業組合等ハ必然ニ此ノ統制會ノ下部機構
トシテ此ノ傘下ニ入ツテ參ラケレバナラ
ナイノデアリマス、サウスルト其ノ矛盾ト云
フモノガ統制會全體ノ運營ノ上ニ色々々ノ支障
ヲ來ス虞ガ今御意見ノ如ク私共モアラウト思
フノデアリマス、隨テ當然工業組合、商業組
合ノ根本ヲ再検討致シマシテ、是が改組ト云
フ事柄ヲ考ヘナケレバナラヌ状態ニ立至ツ
テ居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ工業
組合、商業組合ノ機能ハ大キク分ケマスト、
統制ニ關スル部分ト施設ニ關スル部分トガ
アルノデアリマシテ、或ル組合ノ如キハ施
設ニ關スルモノガ殆ドナクシテ、全部統制
的ナ色彩ヲ持ツテ居ルモノモアリマスシ、
或ル組合ハ施設ガ主デアツテ、統制ノ方ハ
極メテ其ノ方ノ色彩ガ薄イ、又兩方ヲ兼ネ
備ヘテ居ルト云フヤウニ、色々實情カラ申
シマストアリマスガ、要スルニ此ノ機能ヲ
大キク分ケマスト、統制的ノ機能ト施設ヲ
スル機能トニツアルノデアリマス、サウシ
テ統制會ノ下部機構トシテ立ツテ、サウシ
テ重要產業ノ縱斷的ノ統制ヲ行ツテ行クト
云フ上ニ於キマシテハ、所謂是等組合ノ統
制的使命ト云フモノガ此ノ統制會ノ機構及
ビ運營ノ方針ニ合一サレテ行カナケレバナ
ラヌノデアリマス、サウ云フ見地カラ工業
組合、商業組合等ヲ將來再検討シテ是ガ根
本的ノ改正ヲ致ス考ヘデ、目下研究ヲ致シ

テ居リマス、而シテ大體ハ此總動員法ノ體系ニ於キマシテ統制會ト云フモノガ設ケラレテ居リマス、又ソレノ下部機構トシテ色々ノ制度ガ整備サレテ行クモノデアリマスガ故ニ、今申シマシタヤウチ此ノ統制會ノ部面ニ入ツテ行クベキ工業組合、商業組合ノ機能ト云フモノニ付キマシテハ、大體總動員法ニ基キマシテ是等ノ制度ハ整備致シタイト云フ考へ方デ目下研究ヲ致シテ居リマス

○淺沼委員 重要產業統制會が出來マシテ、ソレノ重要產業ニ付キマシテ統制ヲ行ツテ行クト思フノデアリマスガ、鐵、石炭、更ニハ「ゼメント」ト云フ工合ニ出來上ツテ参リマシテモ、ソレ等ノモノガ產業全體トシテ能力ヲ發揮スル場合ニハ統制會ト統制會トノ間ニ於テ、何等カノ連絡ガナケレバ全經濟能力ヲ發揮シテ行クト云フ譯ニ參ルマイト思フノデアリマス、更ニ金融統制會トノ關係ニ於テモ同様ニ考ヘラレルノデアリマスガ、出來上リマシタ統制會ヲ横ニ連絡スルニ付テハドウ云フヤウナ方法ヲ以テヤラレルカ、單ナル協議會的ノモノデヤラレルノデアルカ、或ハ他ノ有機的ナ機構ヲ設置セラレマシテ、ソレニ依ツテヤラレテ行クノカ、サウ云フ點ニ付テ御伺ヒシテ置キタリト思フノデアリマス、加ヘテ勞務ノ關係ヲ統制會デ御扱ヒニナルノデアリマスカ、勞務ノ關係ハドノ程度ニ統制會ニ於テ行ハレルノデアルカ、一つノ統制會ガ勞務ニ關係コトニ付テ強力ナル意見ヲ決メテソレデ行クト云フコトニナルト、全體ノ勞務活動員ノ上ニ重大ナル影響ヲ持ツヤウニナリハシナイカト云フコトヲ憂ヘルノデアリマス、サウ云フ點ニ付テドウ云フヤウナ措置ヲ執

○岸國務大臣 統制會ノ横ノ連絡ノ問題ニ付キマシテハ今御話ノ通り鐵ナラ鐵ノ増産ヲ致スニ付キマシテモ、直チニ石炭ノ問題ガ非常ニ重要ナモノニナツテ來、或ハ「セメント」ノ問題、機械ノ問題ニモ關係ヲ持ツテ來ルト云フヤウニ、横ノ連絡ニ色々ナ關係ヲ持ツテ來ルノデアリマス、ソレ等ハ統制會長ニ於キマシテ、現在ノ機構ニ於キマシテ適當ニ連絡ヲシ、協調ヲシテ行クト云フ考ヘデアリマシテ、特ニ特別ノ機構ヲ現在ハ考ヘテ居リマセヌ、又問題ガ更ニ非常ニ高イ所カラ之ヲ決定シナケレバナラスト云フ場合ニ於テハ、政府ガ其ノ間ノ調整ニ當ル考ヘデアリマス、併シナガラ將來各ノ統制會ガ十分充實發展致シマシテ、更ニ之ヲ横ニ結ブ機構、或ハ其ノ上ニ立ツト申マスカ、上層ノ機構ヲ考ヘル必要ガ生ジテ參リマスレバ、之ニ對シテ適當ナル方法ヲ講ズル、併シナガラ私現在ノ狀況ニ於テハ先ヅ各個ノ統制會自體ガ、ソレ自體トシテ完成サレ、十分其ノ職責ヲ果ス事柄ニ付テ專心シテ貰ヒタイト云フ所ニ重點ヲ置イテ居リマスノデ、其ノ横ニ強力ニ繫グ機關ニ付キマシテハ、現在ノ所ニ於キマシテハ特別ナルモノヲ考ヘテ居ラナイ、必要ガアレバ其ノ必要ノ程度ニ應ジテ適當ナル連絡調整ヲ執ツテ行グ考ヘデアリマス

尙ホ勞働力ノ點ニ關シマシテハ勞務動員計畫ト云フ全體ノ計畫ハ、是ハ云フマデモナク政府ガ立テル譯デアリマスルガ、是ニハ各統制會ガ其ノ計畫ガ立ツ場合ニ於キマシテハ、立案ニ適當ナ形ニ於テ參畫スルコトト相成リマス、唯問題ハ計畫自體ヨリモ其ノ計畫ノ運用ニ際シマシテ、實際ノ勞務

動員ガ生産力擴充ノ必要ノ部面ニ於キマシテ常ニ其ノ進行ニ順應シテ、必要ナ勞働力ガ圓滑ニ供給サレテ居ルカドウカト云フ實行上ノ問題ガ、非常ニ現實ノ問題トシマシテハ、各方面ニ於テ巧ク行ツテ居ラヌト云フ點ガ少クナイト思フノデアリマス、是等ニ關シマシテ、從來ノ唯行政官廳ダケガドウスルト云フコトヨリモ、統制會自體ガ業界ノ實情ニ非常ニ即シテ居リ、又其ノ方面ニ特別ノ經驗ヲ持ツテ居ル譯デアリマスカラ、此ノ統制會ノ活動ニ依リマシテ、現實ノ勞務動員計畫ノ實行ト云フ事柄ニ統制會トシテハ特ニ其ノ機能ヲ發揮スルヤウニ致シテ參りタイ、斯ウ思ツテ居リマス

○淺沼委員 次ニ轉廢業ノ問題ニ付テ少シ御伺ヒシテ見タイト思フノデアリマスガ、中小商工業者ノ整理合同ニ付キマシテ、最近斯ウ云フ議論ガアルノデアリマス、即チ南方ニ於キマスル所ノ戰果ガ非常ニ擴大ヲ致シマシテ、軍政ガ布カレ、軍票ヲ發行致シマシテ、經濟操作ヲヤツテ居リマスルガ、其ノヨトニ關聯致シマシテ、此ノ軍票ヲ裏付ケル爲ニ、更ニハ南方ノ住民ノ必要品ヲ充足セシメル爲ニ、今アル日本ノ中小商工業、平和產業部面ニ於テ全體ノ力ヲ擧ゲテモマダ足リヌ位デアル、隨テ此ノ際今政府ガ行ハントシテ居リマスル所ノ中小商工業者整理合同意ニ付デハ一應考慮ノ要ガアリハシナイカカ、サウ云フヤウナ意味合ト、モウ一つハ業者ノ中ニハ、今暫ク様子ヲ見タラドウカト云フ氣構ヘガアルノデアリマス、併シナガラ私ハ實際現實ノ問題ト致シマシテ、今日本ノ國ニ於テ何ヲ要求シテ居ルカト云フコトニナリマスルナラバ、ソコニ自ラ政府ト致シマシテ、當然中小商工業者ノ整理ヲ

行ツテ、轉業者ヨリ勞務ヲ供出シ、以テ軍需方面ノ生産力擴充ヲ圖ルコトノ緊急ナルハ能ク諒承出來ルノデアリマス、併シナガラ今言ツタヤウナ氣分ガ出テ參リ、或ハ幾分日和ヲ見ルヤウナ傾向ガ業者ノ中ニ現ハレテ來ルノハ何處ニ原因スルカト云フコトニナリマスレバ、從來日本ノ產業ノ進ンデ参リマスル方向ニ對シテ、政府が明確ナル指示ヲシテ居ラナイ所ニ、私ハ缺點ガアルノデハナカラウカト云フ心配ヲ持ツノデアリマス、戰爭ハ國家ト民族ノ躍進ヲスル姿デアリマス、ソコニハ私ハ苦勞ガナイ筈ダト思フノデアリマス、即チ今日苦勞ガアツテモ明日ノ樂シミガアルノデアリマス、私ハ苦シミノ中ニモ樂シミガアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマシテ、中小商工業者ハ將來ドウナルノデアルカト云フコトガ明確ニ分ツテ居ルナラバ、今日ノ苦勞ヲ厭ハナイト思フノデアリマス、併シナガラ產業ノ再編成ニ當リマシテ、日本ノ產業が將來ドウ云フ方向ニ進ムノデアルカト云フ方向ニ付キマシテハ、明確ニ業者ノ隅ニ至ルマデマデノ利己的ナ觀念カラ脱却シ切レズシテ、滲透シ切ツテ居ナイ所ニ、業者ニ一ツノ心配ガ出テ居ルノデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、又反面業者ノ側ニモマダ今マデノ利己的ナ觀念カラ脱却シ切レズシテ、少シ我慢シタラドウニカナラウト云フ心持モアルノデアリマス、私ハ轉廢業ニ付キマシテハ、轉廢業ハ今マデノ轉失業ノ問題トシテ論ゼラレテ居ツタノデアリマスガ、現在ノ段階ニ於テハ失業ト云フモノハナイハ、働く意思ト働く能力ヲ持チナガラ働く場所ノナイ人ニ對シテ失業者ト云フ名ヲ付ケレドモ、失業者ハナイ、失業ト云フモノハ働く意思ト働く能力ヲ持チナガラ働く場

テ居タト思フノデアリマス、併シナガラハ
モ労務ヲ必要トシテ居ルノデアリマシテ、
所謂轉業問題ハアリ得テモ失業問題ハアリ
得ナイト私ハ考ヘルノデアリマス、而モ此
ノ轉業問題ニ付キマシテハ、今私ハ此ノコ
トヲ我ガ國產業ノ再編成ノ過程トシテ、ヤ
ハリ之ヲ把握シテ行カナケレバナラヌト思
フノデアリマシテ、今現實ノ問題ト致シマ
シテハ、戰爭ノ目的遂行ノ爲ニ、軍需品ヲ
充足スル爲ニ勞務ヲ必要トスル、是モ勿論
當面ノ要求トシテ當然デアリマスルガ、此
ノ中ニモヤハリ私ハ日本產業ノ再編成ノ方
向ト云フモノガ芽生エテ居ルノデハナカラ
ウカト云フ考ヘヲ持ツノデアリマス、即チ
輕工業ヲ中心トシタル日本ノ產業ト云フモ
ノハ重工業ヘ更ニ精密工業ヘト移行シマス
ル過程ト云フモノヲ見逃シテハナラヌト思
フノデアリマス、隨テ其ノ間ニ於テ中小商
工業者ハ如何様ナ態度ヲ執ルカト云フコト
ニナリマスルナラバ、自ラソコニ案ガ出テ、
來ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、
即チ轉業者ガ多ケレバ多イ程私ハ日本ノ國
ニ於テハ人的資源豊富ナリト云フ考ヘカ
ラ致シマシテ、日本ノ富ガ増ヌノデアリマス、
スカラ、此ノコトニ付キマシテハサウ心配
シナイ、唯轉業ヲ致シマスル人達ニ對シテ
ドンナ待遇ヲシ、之ヲ劬ツテドウヤルカ
ト云フコトヲ政府ハ考ヘテ行カナケレバナ
ラヌ點ニ、此ノ問題ノ重要性ガアルノデハ
ナカラウカト云フ考ヘヲ持ツノデアリマス、
ソコデ御伺ヒシテ置キタイト思ヒマス、政
府ノ對策ト致シマシテ、先程モ最上君カ
ラ御話ガアツタノデアリマスルガ、大

體ニ於テ政府ニ於テハ實績主義ヲ執ツ
テ居ラレルヤウデアリマス、商工大臣
ハ實績主義ニ付キマシテハ豫算ノ分科
會ニ於キマシテモ、更ニ他ノ委員會ニ於キマ
シテモ、之ヲ修正スル用意ガアルヤウナコ
トヲ言ハレテ居ツタノデアリマスルガ、現實
府縣廳ヲ中心トシテ行ハレテ居リマスル整
理合同ニ付テハ、今實績主義ガ採用サレテ居
ルノデアリマス、弱小ノ業者ガイデメラレ
テ、物ヲ餘計持ツテ居ル方ガ得ヲスルト云
フ結果ニナツテ居ルノデアリマシテ、隨テ
此ノ整理合同ニ付キマシテモ、私ハヤリ勞
務ノ供出ノ爲ニ必要ダト云フコトニナリマ
スレバ、其ノ人間が軍需工業ニ耐エル力耐
エ得ナイカト云フコトガ原則ニナルノデア
リマシテ、實績fang問題ニナラナイト思フノ
デアリマス、廢メル人ガ他ノ働く分野ニ行
ツテ、國家ノオ役ニ立ツカ立タナイカト云
フコトガ根本デアツテ、今マデノ商賣ノ多イ
カ少ナイカト云フコトガ根本ニハナリ得ナ
イト思フノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ
ドウ云フヤウナ御考ヘヲ持ツカ、更ニハ整
理合同ニ付キマシテモ、技術其ノ他ヲ保護
スル上カラ致シマシテ當然廢メテハナラナ
イ、其ノ業務ダケハ場合ニ依リマスト残サ
ナケレバナラヌヤウナ仕事モアラウト思フ
ノデアリマス、サウ云フモノニ對スル對策
ノ整理統合ト云フモノガ可ナリ深刻ニ行ハ
ハドウ云フ工合ニ御考ヘニナツテ居ルノカ
レテ居ルノデアリマスガ、小賣業ヲ非常ニ
業部面ニ於テ非常ニ強ク響クノハ、小賣業者
何等ノ整理統合ガ行ハレテ居ラナイノデア
リマス、中小商業ノ部面カラ申上ゲマスル

10

○岸國務大臣 中小商工業ノ整理統合ニ關シ
シマシテ、從來實績ニ重キヲ置イテ實績主義ニ依ツテ色々ナ案ガ立テラレ、是ガ進メラレテ來タト云フコトハ現實ノ問題トシテ、サウ云フ風ニ進ンデ參ツタノデアリマス、其ノ考へ方ハ實ハ支那事變以來統制ガ強化セラレ、物價統制其ノ他ノ方面ニ於ケル統制ノ強化ニ伴ヒマシテ、中小商工業者ノ扳フ物資ガ段々少クナル、又其ノ賣ル口錢ト云フモノモ薄クナル、隨テ此ノ儘全部ノモノガ少イ物資ニ取ツ擱ツテ僅カノ口錢デ仕事ヲスルト云フコトニナルト、結局中小商工業全體ガ共倒レニナルト云フヤウナ處ガアルカラ、之ヲ合理化シテ、適當ニ整理シテ行クト云フコトニ從來重キガ置カレテ居リマシタ結果、自然實績主義ト云フヤウナ事柄ガ中心ヲ成シテ整理統合ノ案ガ立テラレテ參ツタモノダト思フノデアリマス、然ルニ事變ノ進行、特ニ大東亜戰爭勃發以來、其ノ様相ハ餘程變ツテ參リマシテ、今御意見ニモアリマシタ如ク、私共モ此ノ中小商工業ノ整理統合ノ非常ニ大キナ意味ノ一ツトシ、是非トモ急速ニ完成シナケレバナラ

スト云フ部面ニ於テ、非常ニ人手足りリナ
イ、而モ此ノ人手ヲ從來ノ如ク單ニ農
村カラ出テ來ル所ノ人手ニ俟ツト云フコト
ハ、色々ナ關係デ困難トナツタ現状ニ於キ
マシテハ、ドウシテモ中小商工業ノ部面カ
ラ手助ケヲシテ貰ハナケレバナラナイト云
フ考へ方ヲ取入レテ、此ノ問題ヲ處理致サ
ネバナラナイ、サウ考へテ見マスト、今御
意見ニモアリマシタ通り、轉業サレル人ハ
新タナ方面ニ於テ十分活動シ得ルダケノ能
力ヲ持ツテ居ル人デナケレバナラナイト
云フコトニナツテ來マスノデ、所謂足弱ノ
人ヲ整理シテ行クノデハイケナイ、寧ロ其
ノ業界ニ於テ、精神力ニ於キマシテモ體力
ニ於キマシテモ、或ハ色々ナ其ノ人ノ技能
等ニ於キマシテモ、他ノ必要ナ部面ニ於テ
十分ナル活動ガ出來ルト云フヤウナ人ガ、
其ノ業カラ轉ジテ、新タナ活動部面ニ於テ
働くイテ貴ヒタイ、寧ロ從來ノ仕事ハ之ヲ出
來ルダケ合理化シテ、謂ハバ女デモ子供デ
モ、或ハ足弱ノ人デモ、慣レテ居ルトスレ
バ慣レタ人デ何トカヤツテ行ケル、併シ新
タナ部面ニ於テハ十分ソレニ再出發スルニ、
新シイ活動部面ヲ開クニ足ルダケノ活動能
力ヲ持ツテ居ル人ト云フ見地ヲ取入レテ、
此ノ問題ヲ處理シテ行カナケレバナラナイ
必要ニ直面シテ、私共モサウ云フ見地カラ
府縣モ指導シ、凡ユル部面ヲ指導シテ居
ノデアリマス、併シナガラ是ハ一面官廳ガ
是等ノ方針ヲサウ云フ風ナ心構ヘデ之ヲ指
導スルト共ニ、民間方面ニ於キマシテモ此
ノ趣旨ヲ十分諒解シテ、之ニ協力ヲシテ貰
フ必要ガアリマスノデ、商業報國會等ノ商
業報國運動等ニ於キマシテモ此ノ點ヲ強調
シテ當ルシ、又各組合等ニモ十分徹底スル

ヤウニ努メテ居リマス、現ニ或ル方面ニ於
キマシテハ或ハ商業報國會デアルトカ、挺
身隊デアルトカ云フヤウナ運動組織モ出来
テ居リマシテ、此ノ趣旨ニ基イテノ轉業ヲ
促進シテ行クト云フ機運ガ、各方面ニ起リ
ツツアル事柄ハ、私共非常ニ結構デアリ、
又サウ云フ御協力ノ下ニ之ヲ實施シテ行キ
タイト思ツテ居リマス

次ニ中小商工業ノ整理特ニ中小工業ノ整理
ニ付キマシテ、從來ノ特殊ノ技術ノ保存ト
云フヤウナ問題ヲドウ考へテ居ルカト云フ
御質問デアリマス、此ノ點ハ十分一つ考ヘテ
行カナケレバナラヌ問題デアリマシテ、從
來ト雖モ或ハ七・七禁令ト稱スル贅澤品等ノ
製造禁止ヲ致シマシタ際ニモ、又色々ナ重
要物資、鐵、銅其ノ他ノ重要物資ノ使用制
限ヲ行フ際ニ於キマシテモ、日本獨特ノ技
術デアル、又長年ノ間養ハレタ所ノ技術デ
保存セネバナラスト云フヤウナモノニ對シ
マシテハ、ソレヲ保存スルニ必要ナ資材ヲ
配給スルトカ、其ノ他色々ナ統制ノ或ル種
ノ例外ヲ設ケマシテ、是等ノ保存ニ努メテ
參ツテ居ルノデアリマス、尙ホ其ノ點ニ付
シタコトノ御質問ヲ願ヒマス、政府ノ御答
辯モ成ベク簡単ニ願ヒマス

○森田委員長　淺沼君、成ベク本案ニ關係
シタコトノ御質問ヲ願ヒマス、政府ノ御答
辯モ成ベク簡単ニ願ヒマス

○淺沼委員　只今ノ御懇切ナル御答辯ニ依
リマシテ了承致シマシタ、中小工業ノ整理
統合ノ問題ハ、自然統制會ガ出來上リマス
ナラバ、是等ノ整理統合ノ問題モ統制會デ
扱フヤウナ結果ニナラウト思フノデアリマ
シテ、本案ト關係アリト云フ立場デ伺ツタ
ノデアリマシテ、其ノ點委員長能ク御諒承
願ヒタイト考へテ居ルノデアリマス、併シ
ナガラ是レ以上質問ヲ續ケヨウト云フ氣ハ
ゴザイマセヌ、能ク了承致シマシタ、唯中
小工業ニ關スル問題ハ非常ニ重要ナ問題デ
モ、特ニ保護シテ行ク必要ガアルノデハナ
ソレドヽ整理統合ノ趣旨ニ副ツテ二分ノ一
運轉ニ甘ンジテ居ル狀態デアリマスケレド
モ、特ニ保護シテ行ク必要ガアルノデハナ
イカト思ヒマスソデ、何カソレニ付テノ御
考へガゴザイマシタラ伺ヒタイト思ヒマス
○岸國務大臣　織維工業ニ付テハ原料タル
纖維ノ需給關係ガ、現狀及ビ近キ將來ヲ見
透シテ見テ、中々日本ノ之ニ關スル機其ノ
他ノ機械ヲ動カスニハ達シナイト思フノデ
アリマス、隨テ之ヲ適當ナ形ニ整理統合シ
テ參ルト云フ方針ハ、纖維資源ノ現在及ビ
近キ將來ノ見透シカラ申シマシテ、已ムラ
得ザル所デアリマス、業者ニ於キマシテモ
アリマシテ、政府ノ施策宜シキヲ得ルコト
テ、國家ノ政策ニ協力シテ貰ツテ居ルヤウ
ナ状況デゴザイマス、特ニ現在ノ形ニ於テ
其ノ儘保護スルト云フコトハ難カシカラウ

○森田委員長　次ハ笠井重治君デアリマス
ガ、居ラレマセヌカラ吉田賢一君
○吉田委員　今ノ淺沼君ノ質問ニ少シ關聯
シテ居ルノデスガ、一寸簡單デ宜シウゴザ
モ其ノ世論ニ鑑ミマシテ、相當自戒自肅致ナ
シテ參ツテ居リマシテ、從來ノヤウナ販賣
方法ナリ、或ハ小賣店ニ對シテ相當急激ナ
影響ヲ與ヘルヤウナ販賣方式ト云フモノニ
付キマシテハ、相當自肅的ニ之ヲ改メテ行
ク、現在ノ所ニ於キマシテハ、私ノ方デハ今
之ヲ直チニ整理統合スルト云フ所マデハマ
ダ至ツテ居リマセケレドモ、既ニ賣場ノ
制限ト云フヤウナコトヲ致シテ居リマシ
テ、無制限ニ賣場ヲ擴張スルコトハ勿論ノ
コト、從來ノ賣場ノ内或ル部分ヲ閉鎖スル
ト云フ風ニ致シテ居リマシテ、小賣商トノ
關係ヲ調整スル考へデサウ云フ措置ヲ執ツ
テ居ル次第デアリマス

○森田委員長　淺沼君、成ベク本案ニ關係
シタコトノ御質問ヲ願ヒマス、政府ノ御答
辯モ成ベク簡単ニ願ヒマス

○淺沼委員　只今ノ御懇切ナル御答辯ニ依
リマシテ了承致シマシタ、中小工業ノ整理
統合ノ問題ハ、自然統制會ガ出來上リマス
ナラバ、是等ノ整理統合ノ問題モ統制會デ
扱フヤウナ結果ニナラウト思フノデアリマ
シテ、本案ト關係アリト云フ立場デ伺ツタ
ノデアリマシテ、其ノ點委員長能ク御諒承
願ヒタイト考へテ居ルノデアリマス、併シ
ナガラ是レ以上質問ヲ續ケヨウト云フ氣ハ
ゴザイマセヌ、能ク了承致シマシタ、唯中
小工業ニ關スル問題ハ非常ニ重要ナ問題デ
モ、特ニ保護シテ行ク必要ガアルノデハナ
ソレドヽ整理統合ノ趣旨ニ副ツテ二分ノ一
運轉ニ甘ンジテ居ル狀態デアリマスケレド
モ、特ニ保護シテ行ク必要ガアルノデハナ
イカト思ヒマスソデ、何カソレニ付テノ御
考へガゴザイマシタラ伺ヒタイト思ヒマス
○岸國務大臣　織維工業ニ付テハ原料タル
纖維ノ需給關係ガ、現狀及ビ近キ將來ヲ見
透シテ見テ、中々日本ノ之ニ關スル機其ノ
他ノ機械ヲ動カスニハ達シナイト思フノデ
アリマス、隨テ之ヲ適當ナ形ニ整理統合シ
テ參ルト云フ方針ハ、纖維資源ノ現在及ビ
近キ將來ノ見透シカラ申シマシテ、已ムラ
得ザル所デアリマス、業者ニ於キマシテモ
アリマシテ、政府ノ施策宜シキヲ得ルコト
テ、國家ノ政策ニ協力シテ貰ツテ居ルヤウ
ナ状況デゴザイマス、特ニ現在ノ形ニ於テ
其ノ儘保護スルト云フコトハ難カシカラウ

○吉田委員 ソレハ積極的に御考慮ニナレ
バ色々ナ方法ガアラウト思フノデアリマス、
譬へテ申スト、課税等ノ問題デアリマス、
將來百「ハーセント」運營スル時ガ或ハ來ル
カモ知レマセヌ、今日ハ其ノ過程ニ於テ半
分ト云フヤウナ運營ニナツテ居ルト思ヒマ
スガ、商工省ニ於テ大藏省ト然ルベク御折
衝下サレバ、例へバ過去ノ業績等ニ依リ課
稅モ幾ラカ輕減サレルコトニナルト、將來
復活・スル時ニ非常ニソレ等ノ人ガ助カルノ
デハナイカト云フ商モアルト思ヒマス、或
ハ又勞務者ノ保護ノ方面ニ於キマシテ、其
ノ產業ニ必要ナ凡ユル條件ニ付テ色々ト方
法ヲ御考慮ニナルコトガ必要デハナイカト
思ヒマスノデ、サウ云フ點ヲ希望ダケ申上
ゲテ置キマシテ、出來ルダケ御配慮ニナル
コトガ宜イノデハナイカト思ヒマス
ソレカラ重要物資ノ消費規正ト云フコト
ハ、戰時產業國策ノ中デ最モ重要ナ問題ダ
ト思フノデアリマスガ、一ツノ例ヲ舉ゲテ
他ノ全體ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマス、其ノ例ガ私ノ質問セントスル
事項デアリマスガ、今全國ニ於テ屑「マッ
チ」ト云フモノガ月々五百「トン」バカリ燒
却サレテ居ル實情デアリマス、御承知ノ通
リ今日「マッチ」ハ一人一日四本、一月百二
十本ト云フ規正サレタ配給ヲ受ケテ居ルノ
デアリマス、之ヲ計算致シマスト、五人家
族トシテ一箇月ニ九十本入リノ箱ガ六ツ半
ト云フ配給ヲ受ケテ居リマス、所ガ一箇月
ニ五百「トン」バカリ燒却シテ居ル屑「マッ
チ」ノ經濟的利用價値ハ大體八〇%アルヤ
ウデアリマスカラ、之ヲ積算スレバ五十一万
四千家族ノ使用スル「マッチ」ニ足ルト云フ
量ガ燒キ棄テラレテ居ルノデアリマス、是

ハ小サナコトノヤウデアリマスガ、將來南
方へ色々ノ貨物ヲ輸出シナクテハナラヌ時
デアリマスト共ニ、又他面傷痍軍人或ハ軍
人遺家族等ノ授產事業ノ一ツトイシテモ是ハ
非常ニ面白イモノナノデアリマス、所ガ月
月五百「トン」モ焼却サレテ居ルノデ、是ハ
實ニ惜シイコトモアルシ、殘念ナコトダ
ト思ブノデアリマス、斯様ナ重要物資ノ消
費規正ヲ必要トスル時ニ、斯ウ云フ事實ガ
アルノデアリマスガ、之ニ對シテ商工大臣
ハ何ト御考ヘデアリマセウカ
○岸國務大臣 私事實ヲ能ク承知致シテ居
リマセヌノデ、化學局長カラ御答辯致サセ
マス
○山本(茂)政府委員 只今屑「マッチ」ノ燒
却ニ付テ御尋ネガアツタノデアリマスガ、
現在「マッチ」ノ検査ハ工業組合ニ實施シテ
居ルノデアリマシテ、到底検査ニ合格スル
見込ノナイト云ツタヤウナモノニ付テハ、
業者ガ燃料ニスルトカ、其ノ他色々ノ處理
ヲシテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ヲ御指
摘ニナツタノデヤナカト思フノデアリマ
ス、検査ニ不合格ノ分ニ付テハ、工業組合
ガ浚收シテ不合格品ト云フ銘ヲ付ケテ、之
ヲ商工省ノ指示ニ基イテ適當ナ所ニ賣捌イ
テ居ルノデアリマス、之ヲ輸出品ニスルカ
ドウカト云フヤウナ御尋ネノヤウニ拜承シ
タノデアリマスガ、之ヲ輸出品ニシマスト、
他ノ検査ニ合格シタ優良ナ品物ト混同スル
業者自ラ全然合格ノ見込ガナイトシテ検査
ニ出サナイヤウナモノニ付テハ、ヤハリ燃
料トシテ處分スル以外ニ現在ノ所方法ガナ
ルト云フコトハ如何カト思フ譯デアリマス、
イノデヤナカト私共ノ方デハ考ヘテ居ル

ノデアリマス、検査ニ不合格ニナツテ、不
合格ノ銘ノ付イタモノニ付テハ、商工省ノ
指示ノ下ニ適當ナ團體トカ、或ハ大工場ト
云ツタヤウナモノニ之ヲ賣捌イテ、其處デ
他ノ優良品ト混同スル虞ノナイ方法ノ下ニ
處理スルシカ方法ガナインヂヤナイカト私
共ノ方デハ考ヘて居リマス

○吉田委員 御尋ネ申シタ趣旨ノ言ヒ方ガ
足リナカツタノデ誤解ナサツタヤウデアリ
マスガ、其ノ屑「マッチ」ヲ輸出シテハドウカト
申シテ居ルノデハナインヂアリマス、「マッ
チ」類ハ將來南方ヘ輸出スル重要ナ雜貨ニナ
ルト思ヒマスノデ、國內デ利用價值八割モア
ル屑「マッチ」ガ無下ニ捨テラレテ居ルト云フ
事實ヲ指摘シテ居ツタノデアリマス、隨テ優
良「マッチ」ノ輸出等ニ影響スルト云フヤウナ
コトハ質問ノ要旨モナケレバ、又事實サ
ウ云フ關係ニハナツテ居リマセヌ、商工省
ノ指示デ賣捌カシテ居ルト言ハレマシタ
ガ、是ハ何カノ御間違ヒデハナイカト思ヒ
マス、私ハ現認シテ參リマシタガ、燃料ニ燒
却シテ居ルト云フヤウナコトデアリマシタ
ナラ、是ハ大變誤ツタ報告ヲ商工省ハ御受
ケニナツテ居ルノデアリマス、燃料ニ燒却シ
テ居ルノデハナクテ、唯燒却シテ居ルノデ
ス、是ハ高イ役人ノ方々ハ御使用ニナツタコト
ハナイカモ存ジマセヌガ、一般平民ニ於テ
ハ實ニ重寶ナモノデゴザイマシテ、「マッチ」
ノ軸ノ頭ニ薬ガ付イテ足ガ二本ニナツテ居
ルヤウナモノガ澤山アルノデス、或ハ足ガ
長カツタリ短カツタリシテ居リマス、併シ
薬ガ付イテ居リマスカラ、「マッチ」ノ用ハ
十分ニ足スノデアリマス、斯ウ云フモノガ
少クトモ月ニ五百「トン」ハ唯廣場デ燒葉テ
ラレテ居リマス、是ハナゼソンナコトヲス

ルカト申シマスト、此處マデ申サズシテ大體諒承シテ下サルト思ツテ言ハナカツタノデアリマスケレドモ、實ハソレガ市場ニ出マスト、他ノ普通「マッチ」——優良「マッチ」デハアリマセヌ、普通「マッチ」ノ賣捌キニ影響スルト云フ利害關係ガ伴ツテ居ルラシイノデアリマス、デアリマスカラ小サイヤウデアリマスケレドモ、例ヘバ五百「トント」モ授産事業ノ對象ニデモスルト云フ風ニ御利用ニナツテハドウ、グラウカ、唯問題ノ一ツハ、大藏省ノ方ガ見エテ居リマスカラ御尋ネシマスケレドモ、物品稅トノ關係ガ若干アルノデアリマス、ソレハ商工省ニハ御關係ガナイモノトシマシテ、商工省トシマシテハ私ハ一ツ英斷ヲ以テサウ云フコトハイケナイ、進ンデ利用セヨ、焼却ハ罷リナラヌ、斯ウ云フ風ニシテ戴クコトガ適當デンイカト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ○山本(茂)政府委員 私ノ先程ノ御答へハ少シ御質問ノ趣旨ヲ誤解シタヤウデアリマス、私ガ先刻申上ゲマシタノハ、業者ガ自分デ合格スル見込ノナイヤウナモノハ、私ノ方ノ報告デハ止メテ居ルト云フ報告ヲ受ケテ居ルノデアリマス、只今御指摘ノアリマシタヤウナ事實ガアルトシマスレバ、サウ云ツタモノヲ私ノ方ノ調べニ於キマシテハ不合格品ト云フ銘ヲ打ツテ適當ナ所ニ賣捌クヤウニシテ居ル譯デアリマスガ、御指摘ニナリマシタヤウニ利用ノ出來ルモノガアルトシマスレバ、サウ云ツタモノハ無論發火ノ出來ルモノデアリマスカラ、不合格品ト云フ銘ヲ打ツテ、優良品デナイモノトシテソレノノ賣捌ニ付テハ私ノ方デ適當ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○森田委員長 笠井君

○岸國務大臣　日本貿易會ノ問題ニ付キノ御質問デアリマスガ、是ハ他ノ重要産業部面ニ於ケル統制會ト同様ニ、日本ノ貿易業全體ヲ統制スル目的ヲ以テ設立スル考ヘデアリマス、而シテ現在日本ノ各貿易業者ノ實情ハ御承知ノヤウニ第三國貿易ト云フモノガ杜絶致シマシタノデ第三國關係ニ於ケル貿易ヲ營ンデ參リマシタ者ハ殆ド其ノ商賣ガ現ニ付テ御伺ヒシタイト思フ、伺ヒマスルコトハ日本貿易會ト云フモノガ出來マシテ、公稱資本ガ十八億六千九百九十万七千圓、拂込額ガ十二億七千百七十五万一千圓、斯ウナツテ居リマスルガ、果シテ政府ハ此ノ貿易統制ヲドウ云フ風ナ方針デヤツテ居ルノデアルカ、聞ク所ニ依リマスルト成ルベク貿易業者ノ數ヲ減シテ、サシテ貿易會ニ屬スル者ハ資本金二千万圓以上ヲ持ツタ者ノミニ海外貿易ノ衝ニ當ラセルヤウナコトニスルト云フヤウニ承ツテ居リマスガ、果シテサウデアルカドウカ、又第二ノ點ハ日本貿易會ニ南郷三郎氏以下相當レツキトシタ人々ガ出テ居ルヤウデアリマスガ、是等ノ人々ハ皆貿易ニ關スル人々ト云フノデアルカ、或ハ又此ノ中ニハ役人其ノ他ノ何等貿易ニ關係ノナイ人々モ入ツテ居ルノデハナイカト云フヤウニモ見エルノデアリマスガ、先づ第一ニ之ヲ大臣ニ承リタイト思ツテ居リマス

ニ主眼ガ置カレナケレバナラヌ今日デアリマス、而シテ第三國關係ノ人々ヲシテ或ル程度マデ、將來又第三國貿易ガ起ツテ來ルト云フマデノ間ハ、ヤハリ從來サウ云フ實績ハ持ツテ居ラヌケレドモ、同域ニ於ケル貿易ニ付テ或ル程度ノ介入ヲ認メルト云フ風ニ指導シテ參ル必要ガアルト思フノデアリマス、ソレガ爲ニハ從來ノ第三國貿易ニ從事致シテ居リマシタヨリ多數ノ極メテ小資本ナ、又特ニ設備等ニ付キマシテモ特別ノモノヲ持ツテ居ラスト云フヤウナモノニ付キマシテハ、成ベク之ヲ或ル大キナニ整理統合シマシテ、サウシテ圓域ノ關係ニ於ケル貿易ニ介入セシメント云フ風ニ指導シテ參ルコトガ適當デアル、斯ウ考ヘテ居リマシテ、サウ云フ見地カラ中小ノ貿易業者ノ整理統合ト云フ話ヲ進メテ參ツテ居ルノデアリマス、尙ホ貿易會ニ付キマシテハ會長以下大體ノ銓衡ヲ終ツテ居リマシテ、主トシテ從來ノ貿易ニ特別ノ關係ヲ持ツテ居ラレル方面ノ方々ガ首腦部トナツテ、此ノ貿易統制ノ仕事ヲ進メテ行クト云フ風ニ進行致シテ居リマス

ノ貿易市場ニ乘出サウト云フ準備モ致シテ居リマス、然ルニ我が國ニ於テハ此ノ方面テ居リマス貿易業者ノ損害ト云フモノハ莫大ナルモノガアラウト思フ、而シテ其ノ中大多數ト云フモノハ今日マデ政府ノ援助ヲ得タモノデハナク、又政府ノ激勵ヲ受ケタルモノニアラズシテ、ソレ等ノ人々ノ相當ナル炯眼ト、又努力ト、奮闘トノ結果我ガ國海外貿易ノ市場ヲ開拓シタルモノガ相當ニ多イ、之ヲ東亞ノ方面ニ見マシテモ或ハ蘭印、佛印或ハ南北米方面ニ見マシテモ先ヅ第一ニ行ツテ、少シク仕事ヲ始メテ貿易ニ日本品ヲ扱ツタル後ニ、或ハ三井デアルトカ三菱デアルトカ、大倉商事デアルトカ云フモノガ出掛テ來テ、サウシテ大キナ貿易ノ額ニ上ヅテ居リマス、試ミニ之ヲ小國」パナマ」ノヤウナ所ニ取ツテ見マスト、我が國ハ何等向フカラ輸入ハ致シテ居リマセヌガ、我が國貿易ト云フモノガ此ノ數年ニ於テ一千七、八百万圓、二千万圓丸儲ケデアルト云フヤウナ状態デアリマス、而シテ彼等ハ政府ノ後援ヲ受ケタノデモ何デモアリマセヌガ、今回ノ戰ノ結果トシテ殆ド彼等ノ存在ト云フモノハ全部之ヲ失ツテ居リマス、「バナマ」ニ於テノミナラズ、中南米方面、世界ノ各市場ニ我が國貿易業者ノ中小——先づ中ト言ヒマスルカノ損害ト云フモノハ莫大デアリマス、而シテ政府ハ今回其ノ第三國トノ貿易關係ガ斷ツタルガ爲ニ、今日マデ多大ノ貢獻ヲ致シタルモノヲ整理統合ノ名前ノ下ニ、サアオ前等ハ廢メテシマヘ、一千万圓以上ノ貿易業者

ダケ残スト云フコトハ、是ハ何タルコト
デアルカ、一旦戦争ガ終熄シタル曉ニ於テ、
政府ハ斯ウ云フ風ナ統制會社ノ下ニ、世界
ノ貿易場裡ニ於テ競争ガ出來ルカドウカ、
私ハ絶対ニ出來ナイト思フ、デアリマスカ
ラシテ此ノ點ニ付テハ相當ニ御考ヘヲナサ
ル必要ガアラウト思ヒマス、其ノ被害タル
モノハ簡単ニオ役人ノ諸公ガ御考ヘニナツ
テ居ルヤウナ問題デハナイト私ハ思ヒマス、
今日マデ我ガ國ノ貿易ノ非常ナル額ヲ致シ
タル其ノ反面ニ於テハ、斯カル犠牲者斯カル
努力ヲ致シタル貿易業者ト云フモノガアル
ニモ拘ラズ、之ヲ今整理シテシマツテ、
サアオ前等ハ満洲ニ行ケ、オ前等ハ蘭印ニ
行ケト言ヒマスルケレドモ、ソレニ對スル
所ノ策ヲ一向ニ與ヘナイ、果シテ之ニ對シ
テ政府ハ如何ナル考ヘヲナサツテ居ルノデ
アルカト云フコトニ付テ、殊ニ横濱或ハ大
阪或ハ名古屋ノ如キ市場ニ於テ見マスルト、
殆ド損害ヲ蒙ツタルモノハ皆百万圓以上ノ
貿易業者デアラウト思ヒマス、是等ノ人方
相當ニ今日マデ我ガ國ノ貿易、延イテハ其
ノ裏ニアル所ノ産業ノ伸展ニ貢獻シテ居ル
コトガ多々アラウト思ヒマスルガ、是等ノ
人ヲ救濟スルニ商工大臣ハ如何ナル案ヲ御
持チニナルノデアルカ、此ノ點ニ付テモウ
少シ詳シイ御話ヲ伺ヒタイト思ヒマス

シテ置クト云フコトニ相成ツテ居リマス、尙ほ日本ノ海外貿易ノ過去ノ實績ガ、新タナ市場ガ開拓セラレルニ付キマンテハ、中小ノ人々ガ非常ニ獻の身ヲ努力奮鬥ヲシテ、先づ市場ヲ開ク、ソレカラ段々是ガ大キクナツテ、大キナ業者ガ出掛け行ク、而シテ其ノ間ニ於テ從來勤モスレバ、初メニ苦勞シタ所ノ人々ハ、次ニ來ル大キナ業者ノ爲ニ、其ノ折角奮闘シ苦心シテ開イタ所ノ市場ト云フモノハ取ラレテシマフト云フヤウナ實例ヲ從來私共屢々耳ニシ、又目ニシタ所デアリマス、サウ云フコトニナラナイヤウニ今カラ或ハ各種組合、其ノ他ノ團體ガ出來マシテ、貿易ノ統制ト云フヤウナコトガ行ハレテ來タ譯デアリマス、唯現在ノ狀況カラ申シマシテ、ソレデハ非常ニ近機會ニ是等第三國ヲ相手トシテ居ツタ貿易業者ガ、直チニ仕事ガ開ケルカトスウ申シマスト、中々現在ノ所デハ至急ニサウ云フコトガ出來上ルト期待スルコトモ無理デアリマスノデ、其ノ中間トシテハ、ドウシシテモ是等ノ多數ノ人々ニ將來何時自分達ノ仕事が開ケルカト云フ徒ナル不安ニ驅ラレツツ日ヲ過ゴサシテハ相成ラヌノデアリマシテ、ドウシシテモ之ニ一定ノ希望ヲ與ヘ、又適當ナル生業ヲ興ヘルト云フ事柄ハ、國家ノ現状カラ見テ非常ニ必要デアリマス、ソレニハ從來兎ニ角相當業界デ盡シタ功績モアリ、シテハ、先程モ御覧見ガアリマシタヤウニ、又其ノ方面ニ投ジタル色々ナ資本、其ノ他ノモノアリマスノデ、是等ヲヤハリ適當ナ整理ウト思ヒマス、又新シク働ク方面ニ付キマシテハ、先程モ御覧見ガアリマシタヤウニ、

現在ノ事態ニ於キマシテハ、其ノ人間ガ効
限リニ於キマシテハ、更ニ重要ナ部面ニ於
テ効イテ貰フ所ノ方面ガ多々アルノデアリ
マス、是等ニ付キマシテハ、ヤハリ中小商
工業ノ一般整理統合ノ場合ノ如ク、政府ト
シテハ或ハ更生金庫ノ利用ナリ或ハ其ノ他
之ヲ組織化シテ、適當ナ方面ニ轉出シテ貰
フト云フヤウナコトニ付キマシテモ色々考
慮シテ居ル次第アリマス

○笠井委員 只今大臣ハ考慮ヲセラレテ居
ルト云フコトデアリマスガ、洵ニ結構デア
リマス、併シナガラ貿易方面ノ如キハ、多
年ノ経験ト又多年ニ亘ル世界事情ノ研究ノ
結果得ル所ノ知識デアリマスノデ、之ヲ唯
漫然ト或ハ上海ニ行ケ、満洲ニ行ケト云フ
風ナ今日ノ政府ノヤリ方ト云フモノハ、私
ハナツテ居ラスト思フ、今ノヤウニ唯杜撰
ナ案ノ下ニ之ヲ進行シテ居リマスガ、果シ
テソレガ何年經テバ是等ノ人々ガ救ハレル
ノデアラウカ、又其ノ組織が完成シタ晚ニ於
テ、或ハココ一、二年ノ後ニ蘭印方面ニ
移住スルトカ、或ハ太平洋ノ各方面ノ島ガ
我が國ノ屬領トナツタ場合ニ於キマシテハ、
物資ノ輸入モ相當アリマスルシ、其ノ原料
ヲ以テ他ノ方面ニ之ヲ賣ル場合モアラウト
思ヒマスカラ、其ノ場合ニ於テ現在破壊シ
ツツアル所ノ組織、而シテ新シク確立サレ
シトスル所ノ組織ガマダ生レナイ前ニ、我
ガ國ノ貿易ガサウ云フ風ナ破目ニ陥ラナイ
デアル所ノ横濱デアル、次ハ神戸・大阪、
斯ウナル譯デアリマスガ、今日ニ於ケル横

漢、神戸ノ情勢ト云フモノハ極メテ衰退ノ極ニ達シテ居リマス、即チ是等ノ衰退ハ我ガ帝國ノ衰退ヲ示スコトデアリマスカラ、之ヲ一刻モ早ク回復シナケレバナラヌ、此ノ場合ニ於テ政府ハ唯ソレデハ轉業ラシロト云ヘバヤリマスケレドモ、何等ノ指示モ與ヘテ居リマセヌ、最近聞ク所ニ依リマスト、神戸、大阪、横濱ニ於ケル貿易業者ト云フモノハ寄リ／＼色々ナ話ラシテ居リマスガ、未ダ何等政府カラ指示ヲ受ケテ居ナイ、サウシテ彼等ハ路頭ニ迷ツテ居ル、資本モ段々ナクナツテ來ルト云フヤウナ狀態デアルト思フノデアリマス、此ノ場合ニ私ガ此處ニ大臣ニ伺ヒ、又提唱セントスルコトハ、是等ノ貿易ニ知識ヲ持ツテ居リマス有爲ノ人々ヲ此ノ際第三國ニ送ルコトハ出來ナイカラ、先づ第一ニ「ブリッピン」デアルトカ、或ハ「マレー」方面、又軽テ我ガ手ニ落チントスル蘭印方面ニ向ツテ貿易挺身隊ノ如キモノヲ作ツテ、サウシテ彼等ヲシテ眞ニ國運隆昌ノ爲ニ努力セシメントスル案ガ政府ニ於テナイカ、若シナカツタシリナラバ私ハ是ハ直チニ一ツヤルベキダト思フノデアリマスガ、此ノ點ハ如何デアルカ、即チ貿易挺身隊ノ如キモノヲ組織シテ、知識ヲ持ツタ、經驗ヲ持ツタ人々ヲ今ヤルコトガ必要デハナイカト思フ、如何トナレバ此ノ前ノ歐洲戰爭ノ時代ニ於テハ吾々ハ太平洋ノ平和ヲ維持スル爲ニ努力ヲ致シテ、キマシタ、戰ガ、「ベルサイユ」會議ニ於テサウシテ「ヨーロッパ」ノ商人ガ太平洋ニ來ルコトヲ阻止シテ居ツタ爲ニ、日本ハ蘭印ノ貿易ヲ殆ド獨占ノ狀態ニ七、八年ノ間置キマシタ、戰ガ、「ベルサイユ」會議ニ於テ濟ンデシマフト、其ノ翌年ニ於テハ七、八年掛カツテ蘭印ニ建設シタル所ノ我が國ノ

貿易ト云フモノハ、「ドイツ」其ノ他ノ爲ニ
一掃サレテシマツタ、斯ウ云フヤウナコト
ニナリマスカラ、蘭印ハ直チニ我ガ掌中ニ
入ルグラウト思ヒマス、向フニハ相當ニ、
七、八千人ノ抑留サレタ「ドイツ」人モ居リ
マスシ、是等ノ人ハ直チニ解放モシナクチ
ヤナラスト思ヒマスルガ、先ヅサウ云フ風
ナ關係モアリマスルノデ、此ノ際政府ハ何
カノ形ニ於テ「ツ貿易挺身隊」ノ如キモノヲ
組織サレテ、政府自ラ其ノ衝ニ當ツテ之ヲ
指導サレル御考ヘガナインデアルカドウ
カ、大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○岸國務大臣 南方諸地域ニ對スル邦人ノ
進出ニ付キマシテハ、先般來企畫院總裁ヨ
リモ詳細ニ其ノ方針ヲ申述べテ居リマスガ、
先ヅ第一段ニ考ヘナケレバナラナイノハ、
云フマデモナク是等諸地域ニ於テ多年辛苦
ヲ重ネテ日本ノ商權ヲ擴張シ、其處ニ於ケ
ル活動ノ地盤ヲ築キ上ダラレタ方々ガ、此
ノ戰爭ニ依リ又戰爭前カラノ色々々敵性國
家ノ壓迫ニ依ツテ、現地ニ於テ相當ニ多年
築キ上ダタ所ノモノガ奪ハレ、若シクハ壞
サレテ居ル所ノ人々モ少クナカラウト
思ノデアリマス、是等ノ人々ニ第一段
ニ先づ是等ノ地域ニ於ケルサウ云フ方
面ノ活動ヲ回復シテ貰フコトガ、何ヨリ
第一番ニヤルベキコトデアラウト思フ、併
シ更ニ之ニ對シテ手が足リナクテ、内地カ
テ行ツテ手助ケラシナケレバナラナイ
ト云フ方面ニ對シマシテハ、日本内地
ヨリ一定ノ計畫ノ下ニ、之ヲ進出セルト
云フコトニ相成ル譯デアリマスガ、ソレニ
付キマシテハ是等ノ貿易ニ今マデ經驗ヲ持
ツテ居ルト云フ人々ハ、ナハリサウ云フ方
面デ働く事、從來持ツテ居ル經驗、知

識ト云フモノヲ成ベク活カシテ勵セルト云
フコトハ、御説ノ通り適當ナル仕組デアラ
ウト思フ、唯動モスレバソレガ極メテ亂雜
ナル形ニ於テ——事態ヲ十分ニ認識シ、眞
ニ大東亞共榮圈ノ確立ニ挺身スルト云フダ
ケノ心構ヘヲ十分ニ持ツテ居ツテ戴カナイ
ト、又色々ナ弊害モアルコトト思ヒマスカ
ラ、ソレ等ニ付キマシテハ此ノ事態ノ進展
ニ伴ツテ、政府トシテハ十分御趣旨ノヤウ
ナ點モ頭ニ置イテ、是カラ計畫シテ行キタ
イト思ヒマス

○笠井委員 貿易ノ發展ハ我國產業及び
我國國民ノ生活ニ、重大ナル關係ノアルコ

トデアリマスカラ、戰爭遂行ト同時ニ戰後
ノ經營ヲ考ヘルト云フ點ニ付テハ、大臣ノ
ミナラズ商工當局ニ希望ヲ申上げテ置キマ

ス、此ノ點ニ付テ御注意アランコトヲ希望
シマス、唯統制ノ美名ノ下ニ我國ノ產業
ヲ萎縮セシメルノミナラズ、我國貿易業
者ノ現在ノ地位ヲ打破シテシマツテ、サウ
シテ來ルベキ國際競爭ニ準備ガ出來ナイヤ
ウナコトガアツテハイケマセヌノデ、十分
此ノ點ハ御注意アランコトヲ政府ニ警告申
上ゲテ置キマス

○次ニ大臣ニ御伺ヒ致シタイコトハ、纖維
製品ノ配給統制販賣機構ト云フヤウナコト
ニ付テ伺ヒタイト思ツテ居リマス、去ル一
月二十日ニ纖維製品配給規則ト云フモノガ
突如トシテ現ハレ、サウシテ全國ノ業者ハ
悲鳴ヲ擧ゲテ居リマス、聞ク所ニ依リマス
ト中央ニ配給會社ト言ヒマスカ、機構ヲ設
ケテ、サウシテ生產配給消費ノ方面トノ連
絡ヲ取ルコトニナツテ居ルサウデアリマス、
之ヲ絹及ビ人絹織物ノ方デ見マスルト、中
央ノ機關ガ二千万圓カノ資本ヲ以テヤル、

綿「スフ」織物ノ方面ニ於テモ約二千万圓ノ
資本ヲ以テ之ヲ運營スルサウデアリマス、若

シ違ツテ居リマシタナラバ、其ノ點ヲ直シ
テ戴キタイト思ツテ居リマス、而シテ問題

ハ今日マデ生産地ト又販賣市場ト云フ風ナ
モノトハ、相當ノ關聯性ガアツタノデアリ
マスガ、政府ノ案ニ依ツテ見マスルト即チ

中央配給會社ト言ヒマスルカ、サウ云フ風
ナモノヲ作ツテ、一應ハ生産者カラ配給者

マデ行ク間ニ、中央ノ機關ヲ通ラナケレバ
ナラスト云フヤウナコトニナツテ居ルサウ
デアリマスルガ、其ノ點ハ如何デゴザイマ
スカ

○梶原政府委員 私カラ御答へ致シマス、
纖維製品ノ配給機構及ビ機能ヲ、御話ノヤウ
ニ整備致シタノデアリマスガ、其ノ内容ハ

產地竝ニ集散地ニ於キマス卸ノ段階、ソレ
ヲ產地及ビ集散地ノ現在ノ實情ニ即應致シ

マスヤウナ趣旨ニ於テ、整理統合致シマシ
テ、ソレヲ以テ中央ニ配給統制會社ヲ設立
致スコトニ致シタノデアリマス、資本關係

ハ絹、人絹ニ付キマシテハ二千万圓、綿

「スフ」ニ付キマシテハ三千万圓ヲ以テ運營

致シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリ

マス、一面生產部門ニ於キマシテハ、ソレ

ゾレ產地ニ於テ生產部門ノ整理ヲ圖リマ

シテ、生產地ニ付キマシテハ出來得ル限

リ計畫的ノ指定生產ヲ行フ方針ノ下ニ進

メツツアルノデアリマス、サウシテ其ノ

生産部門カラ出マス所ノ製品ガ、此ノ中

央ノ配給統制會社ノ統制ノ下ニ流レテ參

ツテ、是ガ地方ニ設ケマス地方ノ配給會

社ニ流レテ參ルト云フ仕組ニ致シテ居ル譯

デアリマス、二千万圓、三千万圓ヲ以チマ

シテハ、例ヘバ絹、人絹ニ付キマシテハ、

綿「スフ」織物ノ方面ニ於テモ約二千万圓ノ
資本ヲ以テ之ヲ運營スルサウデアリマス、若

シ違ツテ居リマシタナラバ、其ノ點ヲ直シ
テ戴キタイト思ツテ居リマス、而シテ問題

ハ今日マデ生産地ト又販賣市場ト云フ風ナ
モノトハ、相當ノ關聯性ガアツタノデアリ
マスガ、政府ノ案ニ依ツテ見マスルト即チ

中央配給會社ト言ヒマスルカ、サウ云フ風
ナモノヲ作ツテ、一應ハ生産者カラ配給者

マデ行ク間ニ、中央ノ機關ヲ通ラナケレバ
ナラスト云フヤウナコトニナツテ居ルサウ
デアリマスルガ、其ノ點ハ如何デゴザイマ
スカ

○梶原政府委員 私カラ御答へ致シマス、
纖維製品ノ配給機構及ビ機能ヲ、御話ノヤウ
ニ整備致シタノデアリマスガ、其ノ内容ハ

產地竝ニ集散地ニ於キマス卸ノ段階、ソレ
ヲ產地及ビ集散地ノ現在ノ實情ニ即應致シ

マスヤウナ趣旨ニ於テ、整理統合致シマシ
テ、ソレヲ以テ中央ニ配給統制會社ヲ設立
致スコトニ致シタノデアリマス、資本關係

ハ絹、人絹ニ付キマシテハ二千万圓、綿

「スフ」ニ付キマシテハ三千万圓ヲ以テ運營

致シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリ

マス、一面生產部門ニ於キマシテハ、ソレ

ゾレ產地ニ於テ生產部門ノ整理ヲ圖リマ

シテ、生產地ニ付キマシテハ出來得ル限

リ計畫的ノ指定生產ヲ行フ方針ノ下ニ進

メツツアルノデアリマス、サウシテ其ノ

生産部門カラ出マス所ノ製品ガ、此ノ中

央ノ配給統制會社ノ統制ノ下ニ流レテ參

ツテ、是ガ地方ニ設ケマス地方ノ配給會

社ニ流レテ參ルト云フ仕組ニ致シテ居ル譯

デアリマス、二千万圓、三千万圓ヲ以チマ

シテハ、例ヘバ絹、人絹ニ付キマシテハ、

綿「スフ」織物ノ方面ニ於テモ約二千万圓ノ
資本ヲ以テ之ヲ運營スルサウデアリマス、若

シ違ツテ居リマシタナラバ、其ノ點ヲ直シ
テ戴キタイト思ツテ居リマス、而シテ問題

ハ今日マデ生産地ト又販賣市場ト云フ風ナ
モノトハ、相當ノ關聯性ガアツタノデアリ
マスガ、政府ノ案ニ依ツテ見マスルト即チ

中央配給會社ト言ヒマスルカ、サウ云フ風
ナモノヲ作ツテ、一應ハ生産者カラ配給者

マデ行ク間ニ、中央ノ機關ヲ通ラナケレバ
ナラスト云フヤウナコトニナツテ居ルサウ
デアリマスルガ、其ノ點ハ如何デゴザイマ
スカ

○森田委員長 笠井君ニ申上げマスガ、成

ベク商工大臣ニダケ御質問ヲ願ヒマス、尙

ホ念ヲ入レマスガ、本法ニ關係ノアルコト

ヲ先ニ濟マセテ戴キタイト思ヒマス

○森田委員長 宜シウゴザイマスネ——ソ

レデハ商工大臣ニ對スル質問ハ濟ミマシタ、

恩給ニ關スル質問ニ戻リマス——世耕弘一

君

○世耕委員 最初ニ恩給法ノ問題ニ觸レテ

二、三簡單ニ御尋ネシテ、更ニ中支、北支

開發會社ノ問題ニ二、三觸レテ極ク簡單ニ

御尋ネシタイト思フノデアリマス、勿論要

點ダケ御尋ネ致シマスルカラ、要點ダケ御

答へ願ヘレバ、結構ダト思ヒマス、法制局

長官ガオイデゴザイマスカ

○森田委員長 今法制局長官ガ直グ來ラレ

ルサウデス、恩給局長ガ居ラレマスガ……

○世耕委員 恩給局長ニ御聽キ願ツテ、其ノ範圍デ御答へ出來ナケレバ又後カラ伺ヒマス、私ハ恩給制度ノ根本改正問題ニ付テ實ハ御伺ヒシタイノデアリマス、現在ノヤウナ恩給制度ヲ何處マデモ此ノ通リデ進ンデ参リマスルト、或ル程度恩給ノ整理ト云フ問題ガ出テ來ハシナイカ、ソヨデ私ハ恩給一時金制度、或ハ一時金デハナクシテ、從來ノ通り行フノデアレバ、一時金ニシテ貴フノト、年々戴クノトノ選擇權ヲ其ノ人ニ與ヘルノガ宜イノデハニイカ、サウスルト國庫ノ整理關係ナドモ餘程整理サレテ來ハシナイカ、是ハ外國ノ例モアルヤウデアリマス、サウ云フ點ニ付テ何カ研究サレタコトガナイカ、一面其ノ利便ノ問題デアリマスガ、例ヘバ若イ官公吏ノ人デ、恩給ヲ戴イテモ月十圓トカ十五圓、多テ三十圓、五十圓以下ト云フ人が多イト思ヒマス、ソレヲ戴イテ生活ノ糧ニスルノニハ餘リニ少額デアルカラ中途半端ナ場合ガ多イノデアリマス、サウ云フ場合ニ一時金ヲ戴ケバ又新シイ更生ノ途ガ出テ來ル場合ガ經濟的ニ考ヘテアルノデアリマス、サウ云フ場合ヲ考ヘルノト、モウ一點ハ國庫ノ財政ガ或ル一つノ區切り目ガ付キハシナイカ、此ノ二點ニ付テ先づ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○平木政府委員 現在ノ恩給法ノ年金制度ヲ一時金ノ制度ニ變ヘルカ、或ハ年金又ハ一時金ノ選擇權ノ制度ニシタラドウカ、斯キマシテハ、前カラ色々議論サレテ居ル問題デゴザイマス、此ノ一時金ト云フ制度ノ中ニ恩給ノ豫算額ガ非常ニ多く、國庫ノ負擔ヲ輕クスル形ニ於キマシテ、年金制度ヲ

アリマス、ソレハ只今ノ御質問ノ趣旨デハ
ナイヤウニ思ヒマス、詰リサウ云フ風ナ恩
給ヲ少クスル、官吏ノ待遇ヲ低下スルト云
フ風ナ意味ニ於キマシテハ、一時金ニスル
ト云フ考ヘハ毛頭持ツテ居リマセヌ、是ハ
恐ラク只今ノ質問ノ趣旨デハナイト思ヒマ
シテ、サウシテ一時金ニシタラドウカ、
斯ウ云フ問題グラウト思ヒマスガ、其ノ問題
デアリマシタラ是ハ相當研究スル餘地ガア
ルト思ヒマシテ、從來カラモ色々研究ヲ進
メテ居ルノデアリマス、併シナガラ此ノド
ツチガ一體受給者ノ方ニ宜イカト云フコト
ニナリ、マスト、是ハ非常ニ難カシイ問題ガ
色々アルノデアリマス、例ヘバ現在恩給ヲ
貰ツテ居リマス者ハ、大體軍人、下士官上
リノ軍人デアリマストカ、或ハ戦死者其ノ
他ノ遺族扶助料デ生活シテ居ル者ガ多イノ
デアリマス、斯ウ云フ者ニ一時金ニシマス
ト、成程或ル場合ニハソレヲ元手ニ致シマ
シテ商賣ヲ始メルト云フ者モアリマセウケ
レドモ、多クノ場合ニ於テドウモ長イ間陸
軍、海軍ノ下士官ナドヲヤツテ居ル者ハ、
所謂士族ノ商法ト申シマスルカ、中々商賣
モ面白ク行カヌ場合ガ多イノデアリマス、
サウ云フ方面ニ對シマシテ一時金ニシタ方
ガ宜イカドウカ、是ハ餘程研究ヲ要スル問
題ダト思ヒマス、サウ云フ風ニ考ヘタノデ
アリマス、唯中ニハ特殊ノ才能ヲ持ツテ居
リマシテ、サウ云フコトヲシタ方ガ本人ノ
生活ガ宜ク立ツテ行クト云フ場合モナイト
ハ限リマセヌ、其ノ者ニ對シマシテハ現在
恩給金庫ニ於キマシテ五年分以内ノ範圍ニ
於テ貸付ヲヤルコトガ出來ルト思ツテ居リ

マスカラ、サウ云フ方面デモヤツタラドウデアルカ、全般的ノ問題トシテ一時金ニシタラドウカト云フコトハ、尙ホ相當研究ヲリマス、ナゼカト云フト、恩給ガ隨分質屋クグツタヤウナコトモアルヤウデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ選擇權ヲ持タセル、折角ノ御聖旨ガ之ヲ金融業者ノ爲ニ龍斷サレルヤウチ嫌ヒガ往々アリ得ルノデアリマス、能ク御事情ヲ御調査下サイマシテ、若シソレガ選擇シ得ル方法ガ便ナラバ、サウ云フ方面モ御者慮シテ下サルナラバ、國家的見地カラ見テモ個人的建前カラ見テモ必要デヤナカト考ヘマスノデ、是非是ハ御研究ヲシテ戴キタイト云フコトヲ希望致シテ置キマスソレカラモウ一點法制局關係ノ方ニ伺ツテ置キタインデスガ、ソレハ恩給ニ關スル勅令ノ問題デアリマス、勅令ガ往々ニシテ内規ニ依ツテ實際的ニ變ヘラレルコトガアリ得ルノデス、サウ云フ場合ハドウ云フ風ナ解釋ヲ御持チニナツテ居ラレマスカ、今其ノ事實ニ付テ逐次私ハ説明ヲ加ヘテ行キタイト思フノデアリマスガ、先づ其ノ根本的ノ問題ニ付テ一寸伺ツテ置キタイト思ヒマス

○世耕委員 ソレデハ其ノ點ハ留保致シテ
置キマス、サウシマスト、陸軍ノ方ノ進級
令ニ關スル問題デアリマスガ、現在此ノ勅
令ノ第二條ノ將校ノ進級竝ニ第二十條ノ進
級、第十七條ノ特別進級ト云フモノハ實際
ニ行ハレテ居ルカドウカト云フコトト、若
シ行ハレテ居レバ、其ノ年限ハドウ云フ
ニナツテ居ルカ、竝ニ召集將校ト現役將校
トノ取扱ハドノ程度ニ行ハレテ居ルカト云
フコトモ御尋ネ致シタインデアリマスガ、
ソレハ政府委員オイデノ時ニ御尋ネスルコ
トニシテ其ノ點ハ後廻シニ致シマス、サウ
云フ譯デ陸軍ノ方ハ宜シウゴザイマスガ、
次ハ興亞院ノ方ニ中支、北支ノ……
○森田委員長 興亞院ノ方ハ今直グ見エマ
ス
○世耕委員 ソレデハドナタカ一ツ……
○森田委員長 最上君ハ恩給局長ニ質問ガ
アルノデスカ
○最上委員 皆アルノデスガ、恩給局長ニ
質問致シマセウ
○森田委員長 ソレデハ最上君
○最上委員 私ハ曩ニ宇賀委員其ノ他カラ
質問ガアリマシタ點ニ關聯シテ、第五十八
條竝ニ第五十九條ノコトニ付テ恩給局長ニ
アルカ承リタイ
○平木政府委員 今一寸其ノ方面ノ人ガ居
リマセヌカラ、御傳ヘシマシテ適當ナ機會
ニ御答ヘ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマ
ス

議ニ於テ大體恩給法中ノ改正法律案ノ要綱ヲ發表セラレマシタ、ソレニ依ルト恩給豫算額ノ累増ニ關スル對策ニ付テハ、戰爭進捗ノ段階ヲ考慮シ追ツテ考究スルト云フコトデアリマスガ、ソレハ第五十八條ニ依ルコトト私ハ思フ、例ヘテ申シマスレバ、支給年限ノ制限ノ強化デアルトカ又ハ退職後ノ所得ニ關スル點ニ付テ考慮シテ居ルト思ハレマス、是モ一ツノコトデアリマスレバ、第五十九條ニ付テハ御考ヘガアルカドウカ、五十九條ニ付テハ御考ヘガアルカドウカ、

例ヘテ申シマスレバ、第五十九條ハ「文官ハ毎月其ノ俸給ノ百分ノ二ニ相當スル金額ヲ國庫ニ納付スヘシ、下士官以上ノ軍人ハ毎月其ノ俸給ノ百分ノ一一相當スル金額ヲ國庫ニ納付スヘシ」トナツテ居リマス、私ハ軍人ニ付テハ是レ以上納付金ヲ取ルコトハ如何カト思ヒマスガ、文官ニ付テハ之ヲ改正シテ多少餘計取ツカラドウカト思フノデス、現ニ前ニモ政府委員ノ申サレタ如ク、政府ハ如何ナル御考ヘガアリマセウカ、一つ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

○平木政府委員 第五十九條ノ文官ノ納付金ヲ増額スル意向ガアルカドウカト云フ御考ヘハ持ツテ居リマセヌ、ト申シマスノハ、結局官吏ガ是ダケ出スト云フコトハ、是ハ待遇ノ問題ニモ關係シテ參リマシテ實ハ官吏トシテモ大キイ問題デアリマス、サウ云フ意味合ヲ以チマシテ現在之ヲ増額スル考ヘハ持ツテ居リマセヌ、一體恩給モ本質ト云フ問題ニ入ツテ來マシテ、先刻モ申上ゲマシタ通りニ、恩給ハ恩典カ、

或ハ權利カ、或ハ相互保險ノ性質ヲ持ツテ居ルカ、斯ウ云フ風ナ色々ナ意味ガアルト申上ゲマシタノハ、斯ウ云フ納付金制度ガアル爲ニ相互保險的ナ性質ヲ持ツテ居ルト言ハザルヲ得ナイ立場ニ在ルノデアリマス、然ルニ今後ノ恩給ハドウ云フ風ニ考ヘタルトウ云フモ恩給ト云フモノハ恩典デアル、斯ウ云フ風ナ考ヘニ重點ヲ置クコトガ非常ニ必要ナコトデハナイカト私ハ思ヒマス、サウ云フ點カラ申シマスルト、一體此ノ納付金制度ヲ日本ノ恩給制度ニ採リ入レルガ宜イカドウカ、是ハ今後相當考ヘナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマス、ソレカト云ツテ現在取ツテ居リマスノヲ止メルト云フコトモ、是ハ問題デアリマセウガ、サウ云フ風ナ問題モアリマスルシ、殊ニ是ハ恩給豫算カラ考ヘマスト、極メテ僅カナ金額デ、サウ云フ風ナ點モアリマスルシ、僅カナ金ヲ殖ヤシタ爲ニ、吾々ガ納付金ヲ毎月納メテ居ルカラ恩給ト云フモノハ權利ダト云フヤウナ思想デモ更ニ醸成シマスト、更ニ大キナ損失ガ起リハセヌダラウカ、斯ウ云フソレト共ニ近來地方ニ於テハ女子ニ對スル徵用ガ行ハレタカノ如ク皆噂シテ居ル、又ドウ云フ方針ヲ執ツテ居ルカ、之ヲ差支ヘナイ限度ニ於テ御發表願ヒタイ

○最上委員 第二點トシテハ、是ハ本會議デモ一寸御聽キシタノデアリマスガ、軍事扶助料ノ問題デアリマス——關係ノ方ガ居ラネケレバ、厚生省ノ方ニ御聽キシタイ、ソレハ國家總動員法第四條ニ依ル國民徵用令ノ問題デアリマスガ、是ハ軍事扶助ニモ多分ニ關係ガアリマス、最近、此ノ點ニ付テモ政府ノ御方針ヲ先づ御聽キシタヒタイト思ヒマス

味デ適材ヲ適所ニ使フナラバ、此ノ徵用サレタ人々ノ將來ニ付テモ非常ニ宜イ、然ルニ最近ノ例ヲ見ルト、適材適所デハナクシテ、地理的デアルトカ、或ハ便宜主義ニ依ツテ徵用者ヲ採用スルト云フヤウナ風モ見受ケルノデアリマスガ、政府ハ是等ニ付テドウ云フ手段ヲ執ラレルノデアルカ、又徵用者ノ給料デアリマスガ、徵用サレタ爲ニ、自分ヨリモ色々ノ點ニ於テ技倅ノ劣ツテ居人ガ、徵用サレナカツタ爲ニ非常ナル高級ヲ食ンデ居ルニ拘ラズ、徵用サレタ爲ニ薄給ニ甘ンジテ居ルト云フヤウナ傾向ガアレバ、自然ニソコニ思想上ニ於テ由々シキ問題モ生ズルト思フノデアリマスガ、是等ハ勿論賃金統制令デアルカ、會社經理統制令ニ依ツテ抑ヘラレテ居ルノデアリマセウガ、是等徵用者ニ付テドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居ラレルノデアリマセウカ、御聽キ致シタイノデアリマス。

○塩原政府委員 徵用致シマスル場合ニ於テハ、大體其ノ本人ノ能力ヲ調べマシテ、本人ニ能ク向イタ方ニ之ヲ向ケルト云フノガ原則デアリマス、又實際ニ於テモサウ云フ風ニヤツテ居ルノデアリマス、唯已ムヲ得ナイ場合ニハ、例ヘバ大工ラシテ居ツタ者ガ土工ノ方ニ廻ルコトモアリマスガ、ソレハホンノ例外デアリマシテ、原則トシテハ本人ノ持ツテ居る能力ニ適シタ方ニ使フト云フノガ原則ニナツテ居リマス、ソレカラ徵用者ノ給料ニ付キマシテハ、大體徵用サル前ニ貰ツテ居ツタ給料ニ準ジテ支給スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、「チブス」等ニ羅ツテ死亡シタ場合ニハ家族扶助料ガ給サレルノデアリマセウガ、又勅令ニ依ツテ扶助料ガ支給サレルヤウナ地點ニ於テ腸胱ニ良イ者ハ給料モ宜カツタノデアリマスカラ、ソレヲ十分參酌シテ支給シテ居ルノ

○塩原政府委員 徵用致シマス、御諒承願ヒタイト思ヒマス
○最上委員 學校卒業者ノ採用問題デアリマスガ、是ハ學校卒業者使用制限令ニ依ルモノデナクシテ、其ノ他青少年雇入制限令ニ依ルモノデナクシテ、是等ノモノガ公務上死亡シル場合、遠方ノ鹿兒島或ハ熊本方面カラモ割當テルト云フヤウナ風ガアルノデアリマスガ、是等ニ付テハ其ノ地方々々ニ於テ便宜ニ割當テルト云フヤウナ方法ガ出來マセスデセウカ

○塩原政府委員 青少年雇入制限令ト云フ御話デアリマシタガ、是ハ勞務調整令ト云フモノニ全部改メテ、ソレデ一括シテヤツテ居ルノデアリマスカラ、御承知ヲ願ヒタインデアリマス、國民學校、中等學校ヲ卒業シマシタ者ヲ各方面ニ割當テルト云フモニ付キマシテハ、大體自分ノ生レタ所ニ近イ方面ニ配付スルノガ原則デアリマス、併シナガラ東京トカ大阪、名古屋方面ハ非常ニ澤山必要デアル、地方デハ其ノ割デナガ原則デアリマス、唯已ムヲ云フ場合ニハ、自然ニ遠クノ方カラモ採用スルヤウニナル譯デアリマス、原則トシテ居ルガ、遺族扶助料ガ貴ヘナイト云フテ戰病死シ、サウシテ其ノ遺族が非常ニ困テ居ルガ、遺族扶助料ガ貴ヘナイト云フヤウナ點ノ陳情ガ參ツテ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ長イモノデスカラ、全部之ヲ遺記録ニ止メタイトハ思ヒマセヌガ、極ク簡單ニ速記録ニ止メテ政府ノ御参考ニシタイト思ヒマス

○森田委員長 最上君、ソレハ速記録ニ參考資料トシテ掲載サセマスカラ、朗讀ハ省略願ヒタイト思ヒマズ
○最上委員 ソレデハサウ云フ風ニ御願ヒ致シマス——今丁度企畫院次長ガ居ラレマスカラ之ヲ最後ノ質問トシテ、其ノ他ハ更ニ他ノ機會ニ於テ質問スルコト致シマス、

シタル場合ニ於キマシテ、内地ニ於テハ例ヘバ軍ノ作業廳デアルトカ、或ハ軍ノ管理工場ト云フヤウナ所ヘ大概就業シテ居ルノデアリマシテ、是等ノモノガ公務上死亡シタト云フ場合ニハ、事業主又ハ政府ニ於テ受ケルノデアリマスガ、ソレデモ尙ホ其ナモノニ依ツテ先ツ第一ニ其ノ一定ノ扶助ヲ受ケルノデアリマスガ、ソレデモ尙ホ其ノ遺族ガ非常ニ生活ガ困ルト云フヤウナ場合ニハ、大體軍事扶助ニ似タヤウナ徵用扶助ト云フモノヲヤルコトニナツテ居ルノデアリマス、若シ是ガ外地第一線ノ方ニ行ツテ居ルト云フヤウナ場合ハ、大抵軍屬ニナツテ居ルヤウナ場合ニハ遺族ニ對シテヤハリレデ尙ホ困ル場合ニハ遺族ニ對シテヤハリ軍ノ方ノ一定ノ扶助ガアリマシテ、ソハリ軍ノ方ノ一定ノ扶助ガアリマシテ、ソ二段ニ決メラレテ居ルノデアリマス
○最上委員 大體政府ノ御方針ハ分リマシタガ、私ハ最後ニ、是ハ先日本會議ニ於テ演説ヲシタ新聞ヲ見テ、徵用者ガ戰地ニ於テ戰病死シ、サウシテ其ノ遺族が非常ニ困テ居ルガ、遺族扶助料ガ貴ヘナイト云フテ居ルガ、遺族扶助料ガ貴ヘナイト云フヤウナ點ノ陳情ガ參ツテ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ長イモノデスカラ、全部之ヲ遺記録ニ止メタイトハ思ヒマセヌガ、極ク簡單ニ速記録ニ止メテ政府ノ御参考ニシタイト思ヒマス
○最上委員 ソレデハサウ云フ風ニ御願ヒ致シマス——今丁度企畫院次長ガ居ラレマスカラ之ヲ最後ノ質問トシテ、其ノ他ハ更ニ他ノ機會ニ於テ質問スルコト致シマス、

先般新聞紙上ヲ見マスト、一月二十九日デアリマシタカ、次官會議ノ席上、安倍企畫院次長ハ、南方資源開發指導者ノ鍊成機關、スルコトト決定シタ由ガ新聞紙上ニ現ハレテ居ルノデアリマス、ソレト共ニ總理大臣ハ、昨日ノ貴族院豫算總會ニ於テ、南方開發ニ關スル中央機關設置ヲ考慮シテ居ル云々ト云フヤウナコトヲ述べラレタガ、私ガ企畫院次長ニ御願ヒシタノハ、從來支那ニ關スル政治、經濟、文化等ノ問題ニ付テハ、興亞院ガ鍊成モヤリ、或ハ各種ノ事務ノ處理モシテ居ツタガ、先頃次官會議ニ於テ決定シタノハドウ云フ機關デアリマスカ、ドウ云フ方面ノコトヲ御話ニナツタノデアリマスカ、其ノ點ヲ御聽キ致シマス
○安倍政府委員 御尋ネノ點デアリマスガ、南方進出ニ對スル問題ニ付キマシテハ、屢々云フ方面ノコトヲ御話ニナツタノデアリマスカ、其ノ點ヲ御聽キ致シマス
○最上委員 大體政府ノ御方針ハ分リマシタガ、私ハ最後ニ、是ハ先日本會議ニ於テ演説ヲシタ新聞ヲ見テ、徵用者ガ戰地ニ於テ戰病死シ、サウシテ其ノ遺族が非常ニ困テ居ルガ、遺族扶助料ガ貴ヘナイト云フテ居ルガ、遺族扶助料ガ貴ヘナイト云フヤウナ點ノ陳情ガ參ツテ居ルノデアリマス、是ハ非常ニ長イモノデスカラ、全部之ヲ遺記録ニ止メタイトハ思ヒマセヌガ、極ク簡單ニ速記録ニ止メテ政府ノ御参考ニシタイト思ヒマス
○最上委員 ソレデハサウ云フ風ニ御願ヒ致シマス——今丁度企畫院次長ガ居ラレマスカラ之ヲ最後ノ質問トシテ、其ノ他ハ更ニ他ノ機會ニ於テ質問スルコト致シマス、

機關ヲ設ケルヤウニシタイト云フ御話ガア
リマシタガ、企畫院ノ官制ニ付テ私ハ詳シ
イコトハ存ジマセヌガ、興亞院ノ官制デハ、
支那事變ニ當リ支那ニ於テ處理ヲ要スル政
治、經濟及ビ文化ニ關スル事務ヲ見ルト云
フヤウナ官制ガアル、其ノ他ニ興亞鍊成所
規程ト云フモノガアツテ、色々所定ノ人々

ガ、恐らく總理大臣が答へラレタノハ、南方開發ニ對スル中央機關デアラウト思ヒマス、私ハ經濟上ノ開發デナク、何等カ行政的ノ監督機關ガナケレバ、只今申ス鍼成機關ノ問題ニシテモ、法令上カラ見ルト企畫院デヤルノハドウカト思ハレル節ガアル、ダカラ支那事變ニ於ケル企畫院ノ如ク、南

トハ、去年陸軍大臣ガ御答辯ニナツタ後ノ問題ガマダ残ツテ居リマス、ソレカラ昨年政府委員ニ質問シテ、善處スルト云フ約束ノ問題ガ残ツテ居ル、決シテ祕密ナ事項デモ何デモアリマセヌカラ、其ノ點ヲ御含ミ願ヒマス、何レ適當ナ機會ヲ戴イテ詳シク御尋ネ致シマス

ノ自營事業ノ具體的ノ種類ト云フモノモ、
今日確定致シテ居ル次第デハナイノデアリ
マスルガ、差當リ考へテ居リマスル所ハ、
主トシテ物資ノ流通部ニアルノデアリマ
ス、即チ各種ノ開發會社ノ關係會社ノ必要
ト致シマスル物資ノ購入トカ貯藏、販賣、
斯ウ云ツタヤウナコトヲ開發會社ガ一手ニ

ヲ鍊成スルヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、然ルニ企畫院ノ今日ノ官制ハ私ハ詳シクハ分リマセヌガ、南方マデ舍メテ、南方ノサウ云フヤウナ鍊成ヲヤルヤウニモ解釋サレルノデアリマスガ、ドウデスカ、ソレヲ聽キタインデアリマス

方問題ニ付テハ單ニ南方問題ダケデナク、
大東亞共榮圈内ニ於ケル監督機關デモ設置
サレル御考ヘガアルカドウカ、企畫院當局
ハ如何ナル御考ヘデアリマスカ、御伺ヒ致
シタイ

北支關發會社ノ第三條ノ中デ、増資ニ關スル規定ガアリマスガ、是ハ何程ノ増資ヲナサル見込デアリマスカ、ソレカラ第十四條ノ整理統合シテ自營ヲスルト云フコトガアリマスガ、ソレハドノ部面ヲ整理統合スル御考ヘデアルカ、ソレカラモウ一ツハ政母ヘ其ノ置ニシテ、未だニ付ス（義之七五）

致シタ方ガ、各關係會社ノ事業ヲ圓滑ニ推進致シマス上ニ於テ都合ガ宜シイ、斯ウ云フヤウナ考ヘラ持ツテ居ルノデアリマス、尙ホ其ノ他今後ノ情勢ニ依リマシテハ、或ハ或ル特殊ノ企業ヲ起サナケレバナラヌ、併シナガラ適當ナ企業者モ見付カラナイト

○安信政府委員 和ノ言葉が或ハ足リナカ
ツカカモ知レマセスガ、企畫院自體デサウ
云フ機關ヲ直接ニ作ルト云フ意味デハナイ
ノデアリマス、企畫院ガ大キナ觀點ニ立ツ
テ、綜合的國策ヲ樹立シテ、ソレヲ總理ニ進
言スルト云フ官制ガアリマスルガ故ニ、各
省ノサウ云フヤウナ關係ヲ經タルト云フコ
トハ當然ヤツテ宜イト思フノデアリマス
○最上委員 ソレナラ私ハ、實ハ中央ニ企
畫院デモ擴大シテ何等カノ監督機關ヲ作ル
必要ガアルト思フノデアリマス、從來デモ
大陸ノ支那ノ問題ニ付テ一ツノ政治問題ヲ
ヤリ、一ツノ經濟問題ヲヤルニシテモ、興
亞院ガ或ハ拓務省、商工省、大藏省等、多
クハ十二位ノ各省ノ所管ヲ經ナケレバ一ツ
ノ問題サヘ決定シナイト云フ現狀デアリマ
ス、私ハソレ等ヲ惡イト云フノデハアリマ
セヌ、然ルニ今日ニ於テハ更ニ南方方面ニ
大ナル領土ヲ得ルヤウナ情勢ニナツタノデ
アリマスカラ、是等ノ開發ニ對シテヘ總理大

東亞戰爭ニ於キマラル段階ノ
旗大ブルド
戦ノ下ニ飽クマデ戰抜クト云フコトニ重點
ヲ置イテ進メラレテ居ルノデアリマス、ソ
レニ關シマシテ政府ノ施策スベキ諸般ノ方
策ハ着々關係各省ト申シマスカ、各大臣ト
申シマスカ、眞ニ一元的ナ統制アル方針ノ
下ニ着々進メラレテ居ルノデアリマス、將
來ニ對スル其ノ機構ノ問題ニ付キマシテハ、
是ハ今後ノ情勢ガドウ云フ風ナ形ニ於テ展
開サレルカト云フコトモ關聯ガアリマス故
ニ、其ノ綜合シタ一つノ大キナ省ヲ作ルト
云フ風ナ問題ニ付キマシテハ、今何トモ申
上ゲラレマセヌ、研究中デアリマス。
○最上委員 マダ軍需省其ノ他ノ問題ガア
リマスガ、私ノ質問ハソレヲ殘シテ此ノ程
度デ打切りマス
○森田委員長 世耕君、陸軍ニ關スル質問ハ
此ノ席上デハ答辯ガ出來スト云フ話デアリ
マスカラ、興亞院ニ對スル質問ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○宇佐美政府委員　御答へヲ致シマス、北支開發ノ増資ノ額デゴザイマスガ、是ハ今日マダ確定致シテハ居ラナイノデアリマスルテ、此ノ法律ガ改正サレマシテ、尙ホ其ノ上ニ於キマシテ決定サレルノデアリマスルガ、大體ノ所先ツ今日ト致シマシテハ、一億圓位ノ増資ヲ致シタナラバ宜シカラウカト云フ漠然タル考ヘデ居ル次第デアリマスソレカラ第十四條ノ自營事業ノ點ノ御質問デアツクト思ヒマスガ、是ハ整理統合ノ爲ニ自營事業其ノモノヲ整理統合スル、諸リ自營事業ノ目的タル事業ヲ整理統合シテ、此ノ開發會社ノ自營ニスル、斯ウ云フ趣旨デハナイノデアリマス、北支ノ開發ニ關聯致シマスル諸種ノ企業ノ統制ト云フ上カラ申シマシテ、開發會社が自營ヲ政スノガ適

ガ云ナヤウナ場合ニ寧口臨時即ニ開設會社合モアラウカト考ヘテ居ルノデアリマスソレカラ第三點ハ、政府ノ議決權ノ行使ニ付テノ制限ヲ加ヘアル趣旨デゴザイマス、是ハ政府ト致シマシテ此ノ株主トシテノ權利ヲ行使スルノミナラズ、別ニ此ノ法律ニ基キマシテ十分ノ監督ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、政府ガ株主トシテ多大ノ權利ヲ行使スルト云フ必要ハナインデアリマス、寧ロ政府ノ議決權ト云フモノニ制限ヲ加ヘマシテ、民間ノ専門的意見ヲ十分ニ會社ノ經營ニ反映サセ得ルヤウニ致シ、又他面民間ノ開發ニ對スル出資ト云フコトニモ成ベク都合ノ好イヤウニ致シタイ、斯様ナ考ヘヲ以チマシテ此ノ議決權ノ行使ニ制限ヲ加ヘル、斯ウ云フコトニ致シタ次第デゴザイマス

臣ハ貴族院ニ於テ、經濟參謀本部等ヲ設置ス
ル意思ガアルト云フヤウナ話ヲサレマシタ

○世耕委員 其ノ點ニ付テ一言申上ゲタイ
ノデアリマス、實ハ私ノ質問セントスルコ

當ト思ハレル仕事ヲ自營スルコトニ致シタ
ラ宜カラウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、其

ト、只今ノ株主ノ議決權ノ權利ヲ或ル程度
抛棄スルト云フコトデスガ、私ハアツテモ

差支へナイノデハナイカ、ソレガ爲ニ開發
會社ノ事業ニ邪魔ニナルト云フヤウナコト
ハ私ハナイト思フ、監督ガ嚴重デアルコト
ハ宜イ、唯株主ノ議決權ヲ振廻スカ、振廻サ
ナイカト云フダケノ問題デアリマスカラ、
私ハ此ノ際此ノ條文ハ置イテオク方ガ、本會
社發展ノ上ニ宜イノデハナイカ、又立法ノ趣
旨カラ言ツテモ當然デハナイカト思ヒマス
尙ホ進シテ簡單ニ御尋ネ致シマスガ、
私共戴イタ北支開發會社關係ノ資料ニ依ツ
テ伺ヒマスルト、北支開發會社ノ關係シマ
ス會社ノ中デ二十三社、ソレカラ八鑛業所
ガアル譯デアリマス、其ノ中決算ニ至ラヌ
モノガ十三、無配當ノモノガ五ツアル譯デ
アリマス、此ノ未決算ノ狀況ニアルノハド
ゲ云フ實情デ斯ウ云フヤウナ結果ニナツタ
カ、無配當ノ原因、此ノ點簡單ニ御説明ヲ
願ヒタイト思ヒマス

ス、其ノ他大同炭礦株式會社、井徑炭礦公
司、サウ云フヤウナモノデアリマシテ、マ
ダ本格的ノ會社ニナリマシテ期間ガ短イノ
デアリマス、殊ニ大同ノ炭礦ノ如キハ、目
下新タニ開發ノ施設ヲ致シテ居ル時期デア
リマシテ、本格的ニ十分ノ出炭ヲ見ルニ至
ツテ居ラナイノデアリマス、年々出炭量ハ
増加致シテ居リマスルケレドモ、マダ十分
ニ能力ヲ發揮スル所マデ行ツテ居ラスト云
フ状況デアリマシテ、隨テ配當ガ出來ナイ
ト云フ状況デアリマス、又華北交通會社ニ
於キマシテハ、是ハ御承知ノ如ク北支ノ鐵
道ヲ經營致シテ居ルノデアリマスルガ、此ノ
鐵道ノ經營タルヤ、北支ノ特殊事情、殊ニ
軍事行動等ノ關係モアリ、又開發ノ必要等
ニ依リマシテ、或ル場合ニハ採算ト云フコ
トヲ幾分度外視シテモ事業ヲ行ハナケレバ
ナラヌト云フ、即チ國策的要求数基ク部分
ガアルノデアリマシテ、左様ナ特殊ノ關係
カラ致シマシテ、今日マデ配當ヲ致スニ至
ツテ居ラナイノデアリマス、併シナガラ是
等ノ會社モ次期ノ年度ニ於キマシテハ恐ラ
ク三分乃至五分程度ノ配當ガ出來ルコトニ
ナルノグラウト考ヘテ居ル次第ゴザイマ
ス

ノデアリマス、ソレデ説明ヲ承ツテ諒察ヘ致シマシタガ吾々が見ル所ニ依リマスルト營業成績ノ舉ツテ居ルモノハ電氣關係ノモノ竝ニ鹽業關係ノモノデアリマス、サモアラウト思フ、サウシテ鑛業關係ノモノハ殆ド不成績デアル、今御説ガアリマシタケレドモ、私ハソレハ少シ苦シイ説明デハナカト思フ、鑛業會社ト云フ銘ヲ打ツテ、而モ其ノ國策會社ハ日本内地ニ於テモ失敗シテ居リマス、實例ハ幾ツモ私ハ此處ニ持ツテ居リマスガ、北支ニ於テハ寧ロ日本内地ヨリモ成功シナクテハナラヌト思ハレルヤウナ地方ノ鑛業會社デスラモ、今日未決算、或ハ無配當、斯ウ云フヤウナ狀況ニナツテ居ル、恐ラク北支開發會社ハ此ノ不成績ヲバ此ノ儘ニ眺メタル譯ニ行カヌカラ、ソコデ此ノ法案ニ現ハレテ來タ整理統合デ、今度自分で經營シナクテハナラヌト云フコトニナツタ、結論ヲ言ヘバ尻拭ヒデス、御説明ヲ聽イテ居ルトサウ云フ感ガ深イ、其處マデ突込ンデ聽イテ見ナクテモ凡ソ六感デ推察ガ出來ル、ゾコヘ更ニ一億圓ノ金ヲ持出シテヤラナケレバナラヌト云フコトハ、時局柄果シテ適當ナリヤ如何、モツト良イ旨クヤリ直ス、再出發スル爲ニ整理統合シテ北支開發會社自身經營ノ衝ニ當ルンダ、斯ウ言ツテ戴ケバ吾々ハ安心シテ一億ノ增资ニモ御賛成ガ出來ル、又議決權ノ縮小ノ問題モ、ソレドヘ經濟界ノ微妙ナ動キガアル

○宇佐美政府委員　北支ニ於キマスル各種ノ會社ノ事業ニ付キマシテ、只今非常ニ不^{ルト思ヒマス、此ノ點ハ細カイコトハ宜シ}
成績ノヤウナ御話ガアツタノデアリマス、^{ウゴザイマスカラ、其ノ肚構ヘダケヲ御聽キスレバ結構デアリマス}
殊ニ礦業——石炭等ノ會社ニ於テ非常ニ不^{成績ノヤウナ御話ガアツタノデアリマス、}
之ニ付キマシテハ私寶ハ成程色々御批^{判モアラウカト思ヒマスガ、何ニ致シマシ}
テモ、創業勿々ノコトデアリマシテ、現ニ^{私モ現地ニ參ツテ狀況ヲ見タノデアリマス}
私モ現地ニ參ツテ狀況ヲ見タノデアリマス^{ルガ、事變後新タニ開發ノ爲ニ設備ヲ致}
シテ居ルノデアリマシテ、サウシテソレ^{ガマダ今日十分ニ動ク所マデ行ツテ居ラヌ}
ト云フヤウナモノモアルノデアリマス、併^{シ昭和十六年度ニハ動カナクテモ、頻リニ}
今建設中デアリマシテ、十七年度カラハ十^{分ニ動ク、斯ウ云フ風ナ狀況ニナツテ居ル}
ノデアリマス、ソレデ是ハ建設ガ遅レテ居^{ル、開發ノ設備ガ遅レテ居ルト云フノデハ}
ナク、現ニ開發ノ施設ヲ一生懸命ニナツテ^{推進致シテ居ル其ノ途中ニアルノデアリマ}
アルモノガ多々アリマス、ソレデ斯様ナ狀^{態ニアリマスル會社ノ配當ガ未ダ出來ナイ}
ト云フコトヲ以テ直チニ事業ノ成績ガ上ラ^{ナイト云フコトヲ結論スルノハ、聊カ如何カ}
ト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナ^{譯デアリマスルカラ、今日御審議ヲ願ツテ}
テ居リマスル自營事業ト云フモノハ先程申^{居リマスル改正法律ニ依リマシテ開發會社}

上、ダシタヤウナ趣旨デアリマシテ、決シ
テ現在開発ノ子會社ガ經營致シテ居リマス
事業ガ不成績デアルカラ、ソレヲ統合シテ
開發自身ガ經營ヲ致ス、サウ云フ所ニ持ツ
テ行カウト云フ趣旨デハ實ハナイノデアリ
マス、此ノ點ヲ御諒承願ヒタイト思フノデ
アリマス

ソレカラ尙ホ斯様ナ成績ノ上ラナイ事業
ノ爲ニ一億圓モノ増資ヲ致シテ、更ニ金ヲ
注ギ込ムコトハドウカト云フ御話ガアリマ
シタガ、此ノ度ノ一億圓ノ増資ハ、曩ニ提
案理由ノ御説明ノ中ニモゴザイマシタ通
リ、現ニ北支ニ於キマシテ軍ガ持ツテ居リ
マスル各種ノ鐵道資材及ビ設備ト云フモノ
ヲ速カニ華北交通會社ノ資本ト致シテ、之
ラ合理的ニ運營シテ行クト云フ必要ガアル
爲ニ、此ノ度ノ増資ト云フコトニ相成ルノ
デアリマス、即チ増資ト申シマシテモ、政
府ノ現物出資ヲ致シテ、之ヲ華北交通ノ資本
ニ付キマシテ軍ガ持ツテ居リマス、其ノ點ヲ御諒
承願ヒタイト思ヒマス

○世耕委員 一應諒承致シマシタ、只今御

説明ノヤウナ内容ヲ北支開發會社ガ持ツテ

居ルコトハ、實ハ私モ承知致シテ居リマ

ス、軍事的關係、治安關係、色々ナ關係ヲ

考慮ニ入レテ尙ホ成績ガ上ラナイデヤナイ

カト云フ御話ヲ實ハ申上ゲタ積リデアリマ

ス、ソレハナゼカト云フト、北支開發、中

支振興ニハ國家トシテ非常ニ無理ナ註文ヲ

出シテ居ル筈ナノデス、其ノ無理ナ註文ヲ

ドレダケ果シテ吳レタカト云フト、不滿カラ來

タ營業不振ト云フ譯デスカラ、其ノ點誤解解

マス、此ノ點ヲ御諒承願ヒタイト思フノデ

アリマス

ソコデ最後ニ御尋ネ致シタインハ、北支
ダケデ六億、アト一億七千万圓、約八億バ
カリノ此ノ國策會社ガ、何年計畫デ鐵石
炭、其ノ他ヲ國策ニ副フヤウニ充シ得ル計
畫ヲ御持チニナツテ居リマスカ、其ノ點ヲ
總括デ宜シウゴザイマスカラ御尋ネ致シタ
イ

○宇佐美政府委員 鐵ト申シマシテモ鐵鑛
石ノコトト存ジマスガ、鐵鑛石、石炭、斯
様ナ物ニ付キマシテハ、政府モ又開發、振
興爾會社ノ當局モ、又其ノ關係會社モ、最
モ力ヲ入レテ居ル所デアリマシテ、現ニ既
ニ北支及ビ中支カラノ供給量ト云フモノヲ
日本ノ物動ノ中ニ組入レマシテ、年間ノ計
畫ヲ立テ、サウシテ此ノ計畫數量ノ供給ニ
缺カナイヤウニ、非常ナ努力ヲ致シテ居リマス
サウシテ十六年度ノ如キニ於キマシテモ、日本
ノ必要ニ對シマシテ多大ノ貢獻ヲ致シテ居ル
次第アリマス、サウシテ其ノ實績ハ計畫數
量ニ殆ド達シテ居ルト云フ狀況デアリマシ
テ、其ノ成績ハ他ノ地方ヨリモ支那ノ方ガ
遙カニ宜シイト云フ狀況ニアルノデアリマ
ス、今後ノ點ニ付キマシテハノ目下此ノ十
七年度カラ先五箇年ノ生產擴充計畫ト云フ
モノヲ立テマシテ、之ニ付キマシテハ固ヨ
リ日本、滿洲、支那、此ノ全般ノ必要ニ依
テ確定シナケレバナラヌノデアリマスカラ
、當局ニ於キマシテ、企畫院ヲ中心トシ
テ種々審議ヲ致シテ居ル次第デアリマス、
此ノ計畫ヲ作リマシテ、之ニ依ツテ生產擴
充ヲ實行致シテ行クト云フ考ヘデヤツテ居
ル次第アリマス

○宇佐美政府委員 先づ鹽ト棉花ノ關係ノ
御尋ネデゴザイマスガ、此ノ兩物資モ御承
知ノ如ク日本ニ取リマシテハ極メテ重要な
モノデアリマスカラ、此ノ生産擴充ト云フ
コトニ付キマシテハ、吾々モ亦現地ニ於テ
モ十分努力致シテ居リマス、サウシテ其ノ
增產計畫ト申シマスモノハ、只今申上ガマ
シタ北支生產擴充五箇年計畫ノ一部面ト致
シマシテ、其ノ計畫ノ中ニ入レテ居ルノデ
アリマス、隨テ中央ニ於テ決定シテ載キマ
シテ、之ヲ實行シテ行キタイト云フ考ヘデ
居ルノデアリマス、就中棉花ニ付キマシテ
ハ、現下ノ情勢上極メテ重要なモノデアル
コトヲ感ジマシテ、此ノ增產ニハ非常ニ力
ヲ致シテ居ルノデアリマス、鹽ノ方ニ付キ
マシテモ、例ヘバ六年ニ於テ北支ガ日本
ニ供給致シマス鹽ノ計畫ト云フモノニ對シ
テ、一時天候等ノ關係デ十分ニ供給數量ヲ
確保スルコトガ出來ナイヤウナ狀況ニナリ
マシタノデ、興亞院ニ於キマシテハ、現地
ニ於テ非常ナ努力ヲ致シマシテ、特別ナル
措置ヲ講ジマシテ、昨年度計畫シタ數量ヲ
完全ニ日本ニ供給出來ルト云フ所マデ持ツ
テ行ツタト云フヤウナ狀況デアルノデアリ
マス

○宇佐美政府委員 數字ヲ申上ゲタイノデ
ゴザイマスガ、併シ實ハ此ノ數字ハ先程申
上ゲマシタヤウニ物動計畫ノ中ニ入ツテ居
リマスノデ、一寸此ノ席デ御説明申上ゲル
コトハ差控ヘタイト思ヒマスノデ、ソレデ
實ハワザト數字ヲ省イテ申上ゲタ次第デア
リマス、ドウゾ惡シカラズ御諒承願ヒタイ
マス、併シ祕密會ナラバ申上ゲテ宜

計畫ヲ以テ進メラレテ居ルカ、此ノニツガ
國策上重要ナ使命ヲ果ス役割ハ、鐵、石炭
ト同様ニ因縁付ケラレテ居ルト思フノデア
リマスガ、此ノ點ニ付テ御伺ヒシタイ
尙ホ北支交通會社ノ其ノ後ノ延長區域、
交通開發ノ新シイ部面等ニ付テ承ツテ置キ
タイト思ヒマス

○宇佐美政府委員 先づ鹽ト棉花ノ關係ノ
御尋ネデゴザイマスガ、此ノ兩物資モ御承
知ノ如ク日本ニ取リマシテハ極メテ重要な
モノデアリマスカラ、此ノ生産擴充ト云フ
コトニ付キマシテハ、吾々モ亦現地ニ於テ
ガアラカト思ヒマスガ、併シ何ト申シマ
シテモ、此ノ法律ニ定メラレテ居リマス仕
事ヲ中心ニヤツテ行クト云フ方針ニハ、變
リハナイト考ヘテ居ル次第アリマス

○世耕委員 棉花、鹽並ニ石炭、鐵鑛石ニ

關スル御説明ガアリマシタガ、抽象的デア

リマシテ、私ハ具體的ナ數字ヲ承リタイ

ノデス、若シ具體的ナ數字ヲ御持チデアリ

マセヌケレバ、大要デ宜シイカラ御説明ヲ

願ヒタイト云フコトト、モウ一ツハ此ノ通

信事業會社ノ通信網ノ狀況、並ニ交通ノ狀

況、是ハ北支開發竝ニ中支開發ノ所謂根幹

ヲ成スモノダト思ヒマスカラ、其ノ現況ニ

付テ、出來ルナラバ詳細ナル資料ヲ戴キタイ

ス思ヒマス、若シ今日ソレガ御説明ガ出來

ナケレバ、私ノ質問ハ此ノ程度ニシテ留保

致シマス

○宇佐美政府委員 數字ヲ申上ゲタイノデ

ゴザイマスガ、併シ實ハ此ノ數字ハ先程申

上ゲマシタヤウニ物動計畫ノ中ニ入ツテ居

リマスノデ、一寸此ノ席デ御説明申上ゲル

コトハ差控ヘタイト思ヒマスノデ、ソレデ

實ハワザト數字ヲ省イテ申上ゲタ次第デア

リマス、ドウゾ惡シカラズ御諒承願ヒタイ

マシテハ、總テ從來ノ會社ナリ、或ハ新シ

イ會社ナリヲ作リマシテ、手ヲ着ケテ居ル

ノデアリマスカラ、其ノ方面ニ於テ新シイ

事業ニ手ヲ着ケルコトハ、餘リナカラウト

思フノデアリマス、隨テ今後開發會社トシ

テ非常ニ新シイ仕事ニ手ヲ出スト云フヤウ

ナコトハ、先づ少カラウト思フノデアリマ

スガ、併シ此ノ度ノ此ノ改正ニ依リマシテ

自營事業ガ出來ルカドウカト云フコトハ、

是等ノ關係デ多少ハ新シイ仕事モヤル場合

ガアラカト思ヒマスガ、併シ何ト申シマ

シテモ、此ノ法律ニ定メラレテ居リマス仕

事ヲ中心ニヤツテ行クト云フ方針ニハ、變

リハナイト考ヘテ居ル次第アリマス

○世耕委員 棉花、鹽並ニ石炭、鐵鑛石ニ

關スル御説明ガアリマシタガ、抽象的デア

リマシテ、私ハ具體的ナ數字ヲ承リタイ

ノデス、若シ具體的ナ數字ヲ御持チデアリ

マセヌケレバ、大要デ宜シイカラ御説明ヲ

願ヒタイト云フコトト、モウ一ツハ此ノ通

信事業會社ノ通信網ノ狀況、並ニ交通ノ狀

況、是ハ北支開發竝ニ中支開發ノ所謂根幹

ヲ成スモノダト思ヒマスカラ、其ノ現況ニ

付テ、出來ルナラバ詳細ナル資料ヲ戴キタイ

ス思ヒマス、若シ今日ソレガ御説明ガ出來

ナケレバ、私ノ質問ハ此ノ程度ニシテ留保

致シマス

○宇佐美政府委員 數字ヲ申上ゲタイノデ

ゴザイマスガ、併シ實ハ此ノ數字ハ先程申

上ゲマシタヤウニ物動計畫ノ中ニ入ツテ居

リマスノデ、一寸此ノ席デ御説明申上ゲル

コトハ差控ヘタイト思ヒマスノデ、ソレデ

實ハワザト數字ヲ省イテ申上ゲタ次第デア

リマス、ドウゾ惡シカラズ御諒承願ヒタイ

マシテハ、總テ從來ノ會社ナリ、或ハ新シ

イ會社ナリヲ作リマシテ、手ヲ着ケテ居ル

ノデアリマスカラ、其ノ方面ニ於テ新シイ

事業ニ手ヲ着ケルコトハ、餘リナカラウト

思フノデアリマス、隨テ今後開發會社トシ

テ非常ニ新シイ仕事ニ手ヲ出スト云フヤウ

ナコトハ、先づ少カラウト思フノデアリマ

スガ、併シ此ノ度ノ此ノ改正ニ依リマシテ

自營事業ガ出來ルカドウカト云フコトハ、

是等ノ關係デ多少ハ新シイ仕事モヤル場合

ガアラカト思ヒマスガ、併シ何ト申シマ

シテモ、此ノ法律ニ定メラレテ居リマス仕

事ヲ中心ニヤツテ行クト云フ方針ニハ、變

リハナイト考ヘテ居ル次第アリマス

○世耕委員 棉花、鹽並ニ石炭、鐵鑛石ニ

關スル御説明ガアリマシタガ、抽象的デア

リマシテ、私ハ具體的ナ數字ヲ承リタイ

ノデス、若シ具體的ナ數字ヲ御持チデアリ

マセヌケレバ、大要デ宜シイカラ御説明ヲ

願ヒタイト云フコトト、モウ一ツハ此ノ通

信事業會社ノ通信網ノ狀況、並ニ交通ノ狀

況、是ハ北支開發竝ニ中支開發ノ所謂根幹

ヲ成スモノダト思ヒマスカラ、其ノ現況ニ

付テ、出來ルナラバ詳細ナル資料ヲ戴キタイ

ス思ヒマス、若シ今日ソレガ御説明ガ出來

ナケレバ、私ノ質問ハ此ノ程度ニシテ留保
致シマス

○宇佐美政府委員 數字ヲ申上ゲタイノデ

ゴザイマスガ、併シ實ハ此ノ數字ハ先程申

上ゲマシタヤウニ物動計畫ノ中ニ入ツテ居

リマスノデ、一寸此ノ席デ御説明申上ゲル

コトハ差控ヘタイト思ヒマスノデ、ソレデ

實ハワザト數字ヲ省イテ申上ゲタ次第デア

リマス、ドウゾ惡シカラズ御諒承願ヒタイ

マシテハ、總テ從來ノ會社ナリ、或ハ新シ

イ會社ナリヲ作リマシテ、手ヲ着ケテ居ル

ノデアリマスカラ、其ノ方面ニ於テ新シイ

事業ニ手ヲ着ケルコトハ、餘リナカラウト

思フノデアリマス、隨テ今後開發會社トシ

テ非常ニ新シイ仕事ニ手ヲ出スト云フヤウ

ナコトハ、先づ少カラウト思フノデアリマ

スガ、併シ此ノ度ノ此ノ改正ニ依リマシテ

自營事業ガ出來ルカドウカト云フコトハ、

是等ノ關係デ多少ハ新シイ仕事モヤル場合

ガアラカト思ヒマスガ、併シ何ト申シマ

シテモ、此ノ法律ニ定メラレテ居リマス仕

事ヲ中心ニヤツテ行クト云フ方針ニハ、變

リハナイト考ヘテ居ル次第アリマス

○世耕委員 棉花會社竝ニ工業鹽

ニ關スル會社ハ非常ナ成績ヲ舉ゲテ居リマ

スガ、今後此ノ棉花、鹽ニ關シテ居リマ

年ヤルトシマスレバ、十五年ト十年トヲ通算シマシテ、二十五年ノ文官恩給ヲヤルコトニナリマス、併給デナク通算スルト云フコトニナル譯デアリマス

○眞鍋(儀)委員
デ私ガ伺ヒタインノハ、武官ナラ武官、文官
ナラ文官ヲ退キマシタ後ニ、例ヘバ東京市
ナラ東京市ト云ツタヤウナ所デ又恩給ガ貰
ヘル譯ニアリマス、其ノ武官文官ノ恩給ヲ
受ケテ居ル者ニシテ、他ノ詣リ市町村其ノ
他カラ合ハサツテ恩給ヲ貰ツテ居ル者ニ付
テノ御調ベハ、政府ノ手デハ付カヌ譯ニア
リマセウカ

○平木政府委員 資料ハゴザイマセヌ
譯デハアリマセヌガ、現在ノ所サウ云ツタ
○眞鍋(儀)委員 實際問題ト致シマシテバ、
可ナリ私ハ多數ニ上ツテ居ルト思ヒマス、
詰リ恩給ヲ受ケテ居ル者ガ、官カラノ恩給
ヲ其ノ儘ニシテ置イテ、他ニ恩給ノ取レル
途ヲ見付ケテ、重ナツタ恩給生活ヲ致シテ
居ル者ガ相當私ハアル筈ダト思フ、併シ是
ハ官ニ關係ノナイ點ニ付テ御調べガ届カナ
イノハ無理モナイト思ヒマスガ、實際問題
トシテハ、マダ強壯ナ體格ヲ持ツテ、若冠
ニシテ恩給ニ與カツテ居ル者ガ相當アリ、
是等ノ者ハマダ國家ノ爲ニ御奉公シ得ルノ
デアリマスカラ、私ハ國家ノ恩給ヲ食ンデ
居ツテモ、尙ホ社會ノ爲ニ獻身努力スルコ
トニ、決シテ兎ヤ斯ウ言フ者デハナイガ、寧
ロ國家方與ヘテ居ル恩給以上ノ收入ヲ受ケ
ル職ニアリ付イテ居ル者ニ對シテ、其ノ年
度ノ間ニ於テ恩給ノ停止ト云フカ、進行ヲ
休止サセルト云フヤウナ考ヘ方ヲ持タレタ

○平木政府委員 只今ノ問題ハ多額所得者ノ恩給停止ノ問題ダト考ヘマスガ、御承知ノ通りニ、恩給千圓以上デ恩給外所得五千圓以上ノ者ニ對シテハ、現在モ其ノ收入ノ段階ニ應ジマシテ最低三割マデ停止シテ居ル譯デアリマス、只今ノ御質問ハ全額停止ノ意味カトモ思フノデスガ、或ハ之ヲ強化スルト云フ意味カトモ考ヘルノデアリマスガ、其ノ何レノ場合ニ致シマシテモ、是ハ今朝程モ御答ヘ申シマシタ通り、政府ト致シ善處スルト云フ風ナ閣議決定ノ要項ニナツテ居ルノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマ

ト云フモノニ對シテハ、根本的ニ一つ質剣ニ考ヘテ見テ戴ケレバ、私共ノ此ノ目的ガ貫徹シナインガラモ、ソレニ對シテ氣持ダケデモ宜クナツテ參リマスカラ、一ツ熱意ノアル御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス
次ニ法文ニ付テ一ツダケ御尋ネ致シマスガ、三十二條ハ、戰時ニ於テ航空部隊ニ屬シテ機乗員タルト否トヲ問ハズ、航空基地ニ勤イテ居レバ三箇月加算ヲサレル譯アリマスガ、第三十六條ハ、戰時デナクテチ機乗員デアレバ二箇月ノ加算ガ附ク譯アリマス、所ガ是ハ敵機襲來ト云フ場合ニ遭致シマスレバ、第三十六條ハ三十二條ノ遇致

シタル者ト申シマスノハ、是ハ所謂地上勤務員デアリマス、所ガ此ノ必要ガ起リマシタノハ、支那事變カラデアリマシテ、支那事變ノ時ニ、御承知ノヤウニ内地ノ基地カラ支那ヲ爆撃ニ行ク、斯ウ云フ問題ガ起リマシタ、此處ニハ機乗員ノコトヲ書イテアリマセヌガ、機乗員ハ毎日戰地ニ飛ンデ行キマスカラ、是ハ三箇月加算ガ附クノデス、所ガ地上勤務員ハ戰地ニ行カヌモノデスカラ附キマセヌ、サウスルト機乗員ト地ト員ト一體不可分ノ關係デ一緒ニ仕事ヲシテ居ルノミ、乘ツテ行ク者ハ三箇月ノ加算ガ附ク、殘ツテ居ル者ハ附カナイ、全ク縁ノ下

○眞鍋（儀）委員 政府ノ手ノ行亘ツテ居リ
マス所カラ給料ヲ受ケテ居リマス者ハ御調
ベノ筋ガ簡單ニ行クト思ヒマスガ、其ノ家
庭生活ノ内情ニ於テ高給ヲ食シデ居ルケレ
ドモ、正確ナ届出ヲ要スルヤウナ勤務状態
デナイ爲ニ、兩方カラ受ケテ裕福ナ生活ヲ
得テ居ルヤウナ者モ相當アルト思ヒマスガ、
是ハ社會政策上多額ノ收入ヲ得ラレルヤウ
ナ健康ナ狀態ニ於テハ、ヤハリ國家ハ之ヲ
睨合ハセテ暫クノ間休止ヲスルト云フヤウ
ナコトヲシテハドウグラウカト云フコトヲ
私ハ考ヘテ居ルモノニアリマス、特ニ今日
公務員ノ範圍ハ局限サレテ居リマスケレド
モ、擴張サレテモ尙且ツ限度ガアリマス、
先程カラ話ニ出マシタ徵用サレマシタヤウ
ナ者モ、或ハ國策會社ニ勤メテ居リマス者
モ、皆長キニ瓦ツテ國家ノ爲ニ御奉公スル
職域奉公ノ一念ニ差ハナイ者デアリマス、

方ニ賜ツテ三箇月ノ加算ニナルト云フ屬ニ
解釋ヲシテ宜シノニデゴザイマセウカ
○平木政府委員 初メノ問題ニアリマスル
ガ、恩給受給者ガ眞ニ國ガ恩給ヲ給スル精
神ヲ能ク理解シマシテ、恩給受給者トシニ
ノ行動ニ間違ヒガナイヤウニシタイト云
點ハ、全ク御話ノ通り私共今後出來マスル
限りサウ云フ方面ニ努力シタイト思ヒマス、
唯生活ガ相當裕福デアル者ニ恩給ノ停止ガ
及バナイヤウナコトハナイカト云フヤウ
ナ御質問ガアツタヤウニ思ヒマシタ、此
ノ恩給外ノ所得ト申シマスノハ私ノ方ニ調
査スルノデアリマセヌ、是ハ稅務署ノ方ニ
調査致シマス、其ノ稅務署ノ調査ニ基キマ
シテ私ノ方ニ幾ラ恩給ヲ減ラスト云フコト
ヲヤル譯デアリマス、隨ヒマシテ恩給外所
得ノ計算ニ付テハ大體間違ヒナイト思ヒマ
ス、又假ニ間違ヒガアリマシテモ稅務署以
上ニ調べルコトハ出來マセヌカラ、是ハ已

ノ力持テ、氣ノ毒テアルト云フコトテ期ウ
云フ風ニヤツタ譯デアリマス、ソレカラ三
十六條ノ問題ハ全ク御話ノ通リデアリマシ
テ、是ハ平常ノコトデアリマス、敵ノ飛行
機ガ日本ヲ空襲デモスルト云フヤウナ場合
ニハ、勿論三十二條ノ問題ニ入ツテ三箇月
ノ方ニナル譯デアリマス

○眞鍋(儀)委員 其ノ場合ニハ航空基地タ
ルノ條件ガ備ハツテ來ナケレバ完成シナイ
ノデハアリマセヌカ

○平木政府委員 其ノ點ハ今度ノ法律デ改
正スルコトニナリマシテ、戰地ト戰地外ト
云フ區別ヲ撤廢シマシテ、其ノ戰務ノ内客
ニ依ツテ、三箇月内ニ於テ、或ル者ニハ一
箇月、或ル者ニハ二箇月、或ル者ニハ三箇
月——三箇月附ケルト云フノハ非常ニ稀有
ナ場合デアリマスガ、サウ云フ風ニ致シテ
居リマス、今度ノ改正法デハ其ノ問題ハナ
イ譯デアリマス

國會議員ニ於キマシテモ、五十年間一日ノ如ク恩給モ年金モナシニ御奉公致シテ居リマス者モ居ルノデアリマスカラ、此ノ恩給

ムヲ得ナイト思ヒマス
ソレカラ航空機乗員ノ問題デアリマスガ、
戦地外デ航空基地ニ於テ特殊ナル職務ニ服

○真鍋(儀)委員 實例ヲ申上ゲテハ惡イノ
デアリマセウガ、霞ヶ浦デ勤務致シテ居リマ
スル機乗員ハ、二箇月マデハ加算サレル譯

定ノ建前ニナツテ居リマス、是ハ御承知ノ通り此ノ頃ノ戦争ハ日露戦争時代ト違ヒマシテ、開戦カラ休戦マデ同ジヤウナ戦闘状態ガ續クノデハナイト云フコトヲ支那事變以來吾吾經驗致シテ居リマス、ソレダカラ治安ガ良クナリ、戦闘行爲ガ少クナルト云フコトニナレバ自然加算モ減ラシテ行キタイ、ソレ等トノ均衡モ取リマシテ内地ノ防衛部隊ニ於テモ適當ニ附ケタイト云フ考ヘデアリマス

○眞鍋(儀)委員 私ハ三箇月附ケルコトガ良イトカ惡イトカ云フノデハアリマセヌ、

一箇月デモ宜イ、二箇月デモ宜イデスガ、

私ノ聽カントスルノハ東京附近ニ相當飛行

部隊モアルカト思ヒマスガ、其ノ中デ防衛

部隊ニ入ツテ居ナケレバイケナイノデス

カ、普通ノ飛行部隊ニハナツテ居ツテモ、防

衛部隊ニナツテ居ナイモノガ出テ來ルノデ

ハナイカト思ヒマス、隨テ東京ヲ中心トシ

タル此ノ附近ニ勤務シタ者ト同様ニ三箇月附

トサウデナインオノトノ兩方ガ出テ來ルノデスカ、出テ來ナidesカ、一律一體ニソレ

以下ノ恩典ヲ受ケルト云フコトニナルノデスカ
○平木政府委員 内地ガ敵ノ空襲ヲ受ケタ場合ニ、防衛部隊、或ハ其ノ他ノ部隊ガ是ト交戦ヲスル、空中戦ヲ交ヘル場合ニ加算

午後五時五分散會

(最上委員發言參照)

遺族關係者ヨリ最上委員宛ノ書翰

(前略)私ハ今支那事變ニ際シ陸軍ノ徵用ニ應ジ大陸ニ於テ公務中病戰死致シマシ

タ者ノ遺族ニ縁ヲ持ツ者デ御座イマス、

戦死者ハ長野縣更級郡鹽崎村大字長谷ノ出身者デ、宮本裕忠ト言ヒ、遺族ハ同人父

ハドウナルカト云フ問題デアリマスガ、防衛部隊ガ一體ヤルノカ、防衛部隊以外ノモノガサウ云フ場合ニ空中戦ヲヤルノカ、斯

ウ云フ問題ハ是ハ軍ノ關係ニナリマシテ、私カラ御答ヘスルノハ如何カト思ヒマスノ

デ、是ハ差控ヘマス、少クトモ恩給法デハスウ云フコトハ言ヘル、實際ニ戰闘ニ參加

スル、空中戦ナラ空中戦ニ參加スル者ハ、防衛部隊ニ屬シテ居ヤウト居マイト、ソレハ同ジヤウニ取扱フ譯デアリマス
○眞鍋(儀)委員 ソレデ私ノ先程申上ゲタノトハドウ達フカ、自分デモ分ラナクナツメテ居ル者ハ、斯ウ云フ空襲下ニ於テ護リニ就イテ居ル者ハ、一通りハ甲乙ナシニドノ加算カハ受ケルノダ、斯ウ私先程申上ゲタノデスガ、ソレト達ヒマス點ハドノ點デアリマスカ

○森田委員長 一寸速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○眞鍋(儀)委員 濟ミマシタカ

○森田委員長 速記ヲ開始シマス、眞鍋君

濟ミマシタカ

用ニ應召シ不幸幾何モナク惡性腸「チブス」ニ罹患シ、軍ノ手厚キ看護ニモ拘ラズ、中支那縣ニ於テ十月二十一日遂ニ死亡致シマシタ、軍ニ於テハコレヨリ先病篤キヲ思召サレ十月十日附ヲ以テ陸軍技手ニ任官シテ戴キマシタ、遺族ハ其ノ後萬般ノ手續ヲ滯リナク相濟マセ遺族扶助料ノ恩命ニ與リ度請求ノ手續ニ及ビマシタ處、恩給局ヨリ權利ナキモノトシテ棄却ノ報ニ接シマシテ御座イマス、左様ナワケデ六十五歳ニ達スル遺父ト五十六歳ヲ數ヘマス老母トハ、今残リノ一人ノ子モ應召入營致シマシタノデ、淋シク家ヲ守ル境遇ニオカレ誠ニ同情ノ念ニ堪ヘナイモノガ御座イマス(下略)

昭和十七年二月八日印刷

昭和十七年二月九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局